

自動車運送事業に係る交通事故対策検討会報告書(平成27年度)

[第1分冊]

事業用自動車の交通事故統計(平成 26 年版)

平成28年3月

国土交通省自動車局

自動車運送事業に係る交通事故対策検討会

平成27年度「自動車運送事業に係る交通事故対策検討会」委員名簿（順不同・敬称略）

委員	酒井 一博	公益財団法人大原記念労働科学研究所 所長
〃	堀野 定雄	神奈川大学 工学研究所 高安心超安全交通研究所 客員教授
〃	小野 古志郎	一般財団法人日本自動車研究所 技監・研究主幹
〃	下光 輝一	東京医科大学 名誉教授
〃	島崎 敢	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災研究領域 災害リスク研究ユニット 研究員
〃	中村 愛	早稲田大学 人間科学学術院 助手
〃	児島 亨	独立行政法人交通安全環境研究所 自動車安全研究領域 主席研究員
〃	西田 泰	公益財団法人交通事故総合分析センター 研究部研究第1課長
〃	小島 公平	独立行政法人自動車事故対策機構 理事（事故防止担当）
〃	石川 博敏	自動車安全運転センター 理事
〃	橋本 良之	損害保険料率算出機構自賠責損害調査センター 損害調査部長
〃	小林 覚	公益財団法人日弁連交通事故相談センター 常務理事
〃	相川 春雄	公益社団法人日本バス協会 安全輸送委員会委員
〃	山本 慎二	公益社団法人全日本トラック協会 交通対策委員会委員
〃	榎元 紀二郎	一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会 交通安全委員会委員
〃	橋本 昭朗	一般社団法人日本自動車整備振興会連合会 理事
〃	安宅 豊	一般社団法人日本自動車工業会 大型車部会長

ワザバー

〃	北島 洋樹	公益財団法人大原記念労働科学研究所 副所長
〃	山下 博	公益社団法人日本バス協会 技術安全部長
〃	永嶋 功	公益社団法人全日本トラック協会 審議役
〃	小菅 孝嗣	一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会 常務理事
〃	田中 勇彦	一般社団法人日本自動車工業会安全部会・交通事故分析分科会 副分科会長

行政：警察庁交通局

厚生労働省労働基準局

国土交通省大臣官房運輸安全監理官室、道路局環境安全課道路交通安全対策室、
自動車局技術政策課、旅客課、貨物課、安全政策課保障制度参事官室、
整備課、安全政策課（事務局）

背景

交通事故の多くは、見かけ上運転者の運転操作ミスや交通違反等の人的要因によって発生しているが、その背景には、運転操作を誤ったり、交通違反せざるを得なかったりすることに繋がる背景要因が潜んでいることが少なくない。特に、自動車運送事業にあつては、運行を管理しているのは雇い主等である自動車運送事業者であり、事業用自動車による事故防止を推進するために、事故の背景にある運行管理その他の要因の調査・分析することが重要である。

国土交通省では、産官学協働により平成25年度まで行ってきた「自動車運送事業に係る交通事故要因分析検討会」（以下「要因分析検討会」という。）をさらに発展させ、社会的に影響の大きな事業用自動車の重大事故については、事故の背景にある組織的・構造的問題の更なる解明を図るなど、より高度かつ複合的な事故要因の調査分析と、客観性がありより質の高い再発防止策の提言を得ることが求められていることから、平成26年6月、「交通事故総合分析センター」を事務局として、各分野の専門家から構成される「事業用自動車事故調査委員会」（以下「事故調査委員会」という。）を設置し、特定の事案に対する分析（マイクロ分析）を行うものとしている。

一方、要因分析検討会において行われてきた、近年の交通事故の傾向分析（マクロ分析）に関しては、引き続き「自動車運送事業に係る交通事故対策検討会」（以下「対策検討会」という。）において取り扱うこととし、これより得られた交通事故の傾向分析結果を踏まえて特定テーマを選定し、交通事故の未然防止のための有効な安全対策の検討を行うものである。

本報告書は、マクロ分析結果をまとめたものであり、安全対策立案のための基本資料となるものである。

今後、本対策検討会では、事故調査委員会より得られたマイクロ分析も有効活用し、マクロ分析と効果的に検証することを通して、交通事故の未然防止のための潜在的な発生要因を探り、有効な安全対策の検討を行うこととする。

なお、本報告書（平成26年版）で対象とした事故は、平成17年～26年までに発生した事故である。

※平成25年度まで行ってきた「自動車運送事業に係る交通事故要因分析検討会」

事業用自動車の事故について、事故の経過、運転者の状況、運行管理の状況、車両の状況等の情報を収集し、さらに、収集した事故情報を効果的に再発防止対策の立案に反映させるために、事故発生の要因及び背景を主に4つの要素（運転者面（Man）、車両面（Machine）、走行環境面（Media）、管理面（Management））の4M側面に整理し、科学的な究明・分析を行うことを目的として、平成11年度から一部の地域でモデル的に開始した「自動車事故対策パイロット事業」を足がかりに、平成13年度から「自動車運送事業に係る交通事故要因分析事業」として実施してきた。

< 目 次 >

1. 事故全体の傾向	1
1-1. 交通事故全体の推移	1
1-2. 自動車事故件数の推移	4
1-3. 自動車事故死者数の推移	8
1-4. 自動車死亡事故件数の推移	12
1-5. 飲酒運転による事業用自動車の交通事故の推移	16
1-6. 業態別運転者年齢層別の交通事故	18
1-7. 業態別の危険認知速度の交通事故	20
1-8. 業態別時間帯別の交通事故	22
1-9. 事故に関わる営業所の位置（都道府県）別の交通事故	24
2. バスの事故	26
2-1. 乗合バスの事故	28
2-2. 貸切バスの事故	44
3. タクシーの事故	56
4. トラックの事故	68
5. まとめ	88

附録. 事業用自動車の交通事故統計（平成26年版）

【凡 例】

1. 「交通事故」とは、道路交通法第2条第1項第1号に規定する道路において、車両等及び列車の事故によって起こされた事故で、人の死亡又は負傷を伴うもの（人身事故）をいう。物損事故については計上していない。
2. 「自動車事故」とは、交通事故のうち、自動車及び軽自動車の交通によって起された事故をいう。
3. 「自動車事故」は、「事業用自動車」の事故と、「自家用自動車」の事故に分けられる。うち、「自家用自動車」とは、乗用車（バス、マイクロ、普通乗用車、軽乗用車）及び、貨物車（大型貨物、中型貨物、普通貨物、軽貨物、トレーラー）を合わせたものをいう。
4. 「死亡」（「死者」）とは、交通事故によって、発生から24時間以内に亡くなった場合（人）をいう。
5. 「重傷」（「重傷者」）とは、交通事故によって負傷し、1ヶ月（30日）以上の治療を要する場合（人）をいう。
6. 「軽傷」（「軽傷者」）とは、交通事故によって負傷し、1ヶ月（30日）未満の治療を要する場合（人）をいう。
7. 「負傷」（「負傷者」）とは、「重傷」（「重傷者」）と「軽傷」（「軽傷者」）の合計をいう。
8. 「貨物自動車」の分類は道路交通法に基づくものとする。
大型：車両総重量11トン、または最大積載量6.5トン以上
中型：車両総重量5トン以上11トン未満、または最大積載量3トン以上6.5トン未満
普通：車両総重量5トン未満、または最大積載量3トン未満
軽：貨物自動車のうち、軽自動車であるもの

1. 事故全体の傾向

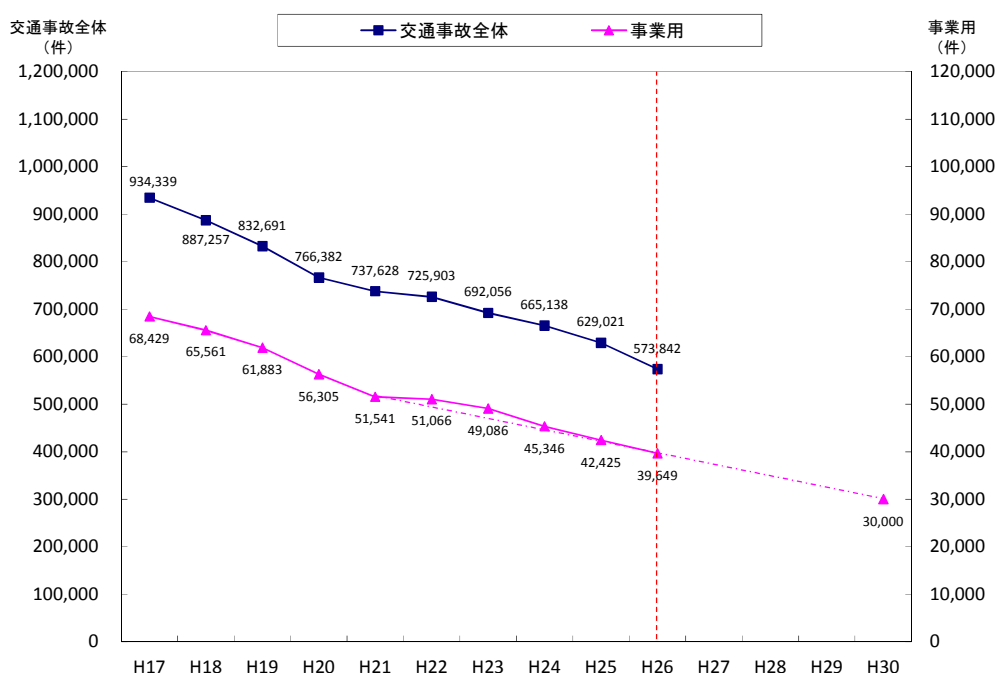
1-1. 交通事故全体の推移

自動車に加え、二輪車や自転車を含む「交通事故全体」と、「事業用自動車」の交通事故の推移を、「交通事故件数」、「交通事故死者数」、「交通死亡事故件数」の3つで比較した。

(1) 交通事故件数の推移

平成26年中に全国で発生した交通事故全体の件数は573,842件であり、そのうち、事業用自動車は39,649件となった。

なお、事業用自動車については、「事業用自動車総合安全プラン2009（平成21年3月）」において、平成30年までの10年間で人身事故件数を半減（3万件以下）、中間年である平成25年には4万3千件とする目標値が示されており、中間年の目標値を達成している。



出典：警察庁「交通統計」
 (公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図1 交通事故件数の推移

表1 交通事故件数の推移 (件)

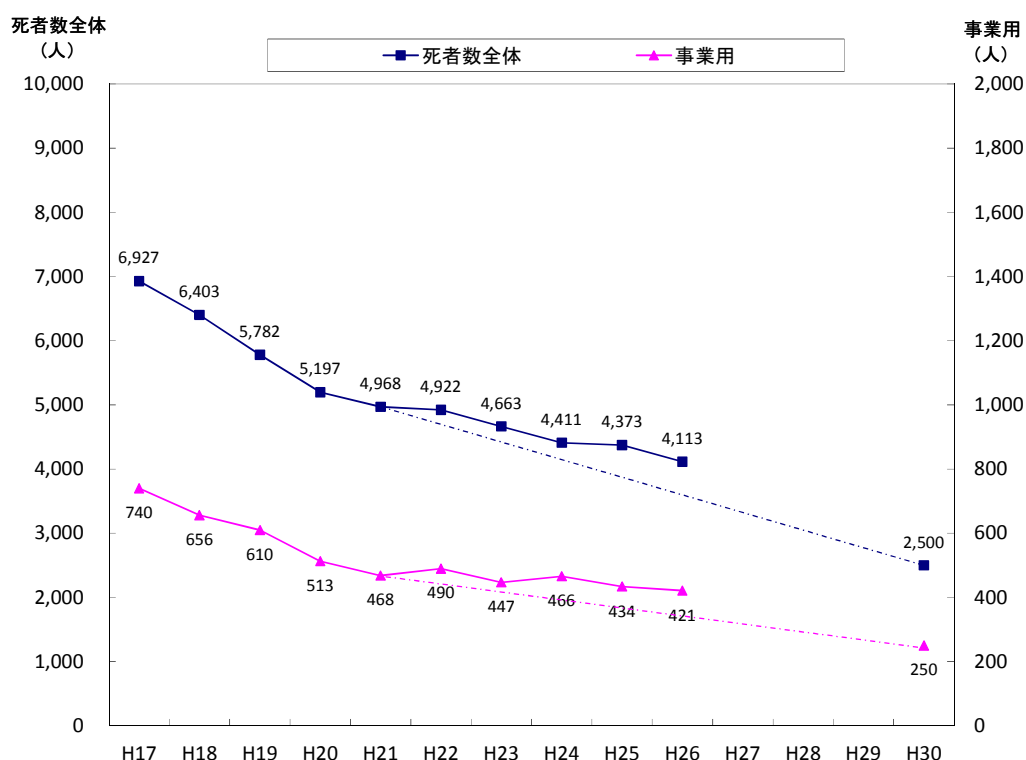
年	交通事故件数	
	交通事故全体	事業用
H17	934,339	68,429
H18	887,257	65,561
H19	832,691	61,883
H20	766,382	56,305
H21	737,628	51,541
H22	725,903	51,066
H23	692,056	49,086
H24	665,138	45,346
H25	629,021	42,425
H26	573,842	39,649

出典：警察庁「交通統計」
 (公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(2) 交通事故死者数の推移

平成26年中に全国で発生した交通事故全体における死者数は4,113人であり、そのうち、事業用自動車での交通事故死者数は421人となっている。

なお、平成21年1月に政府が掲げた、平成20年から平成30年の10年間に交通事故死者数を半減させ、2,500人以下とする目標値を受けて、「事業用自動車総合安全プラン2009」においても、同10年間で事業用自動車での交通事故死者数を半減させ、平成30年には250人以下とする目標値が示されているが、中間年の目標380人を達成していない。



出典：警察庁「交通統計」
(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図2 交通事故死者数の推移

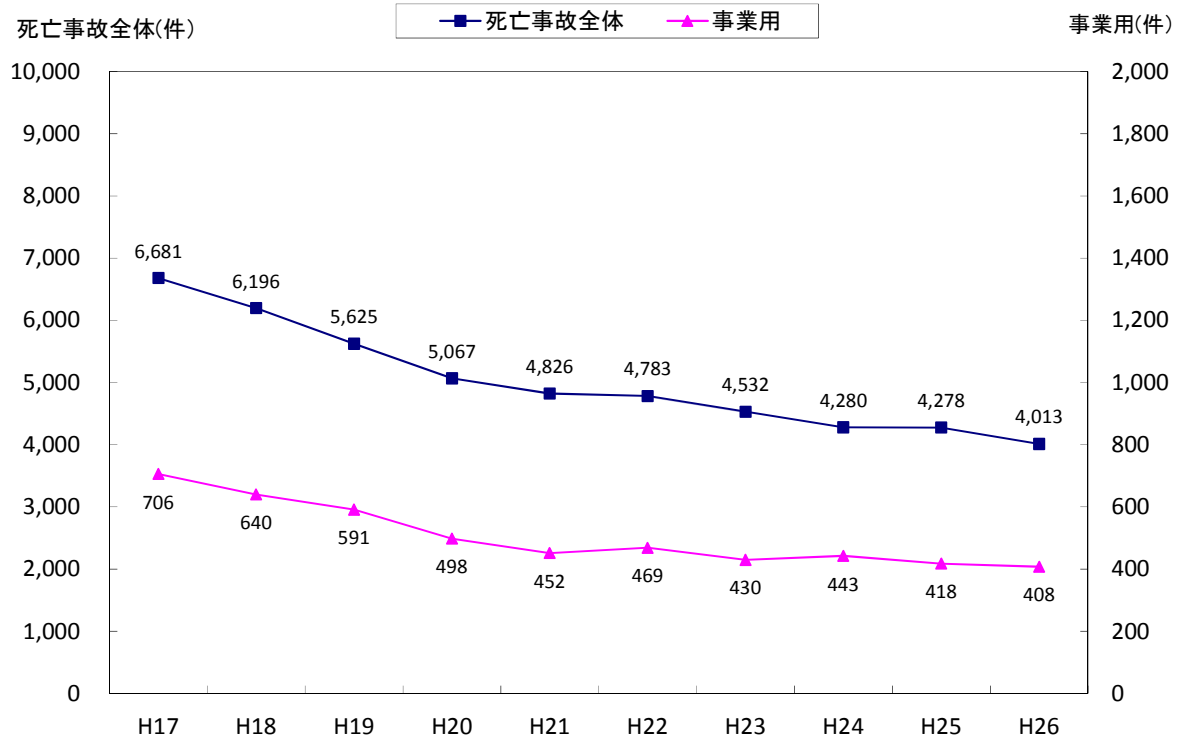
表2 交通事故死者数の推移 (人)

年	区分	死者数	
		死者数全体	事業用
H17		6,927	740
H18		6,403	656
H19		5,782	610
H20		5,197	513
H21		4,968	468
H22		4,922	490
H23		4,663	447
H24		4,411	466
H25		4,373	434
H26		4,113	421

出典：警察庁「交通統計」
(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(3) 交通死亡事故件数の推移

平成26年中に全国で発生した交通死亡事故全体の件数は4,013件であり、前年と比べて減少している。そのうち、事業用自動車は408件となっており、近年の推移をみると、平成17年に比べて平成21年は40.0%減少、その後、減少傾向は鈍ったが減少傾向である。



出典：警察庁「交通統計」

(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図3 交通死亡事故件数の推移

表3 交通死亡事故件数の推移(件)

年	区分	死亡事故件数	
		死亡事故全体	事業用
H17		6,681	706
H18		6,196	640
H19		5,625	591
H20		5,067	498
H21		4,826	452
H22		4,783	469
H23		4,532	430
H24		4,280	443
H25		4,278	418
H26		4,013	408

出典：警察庁「交通統計」

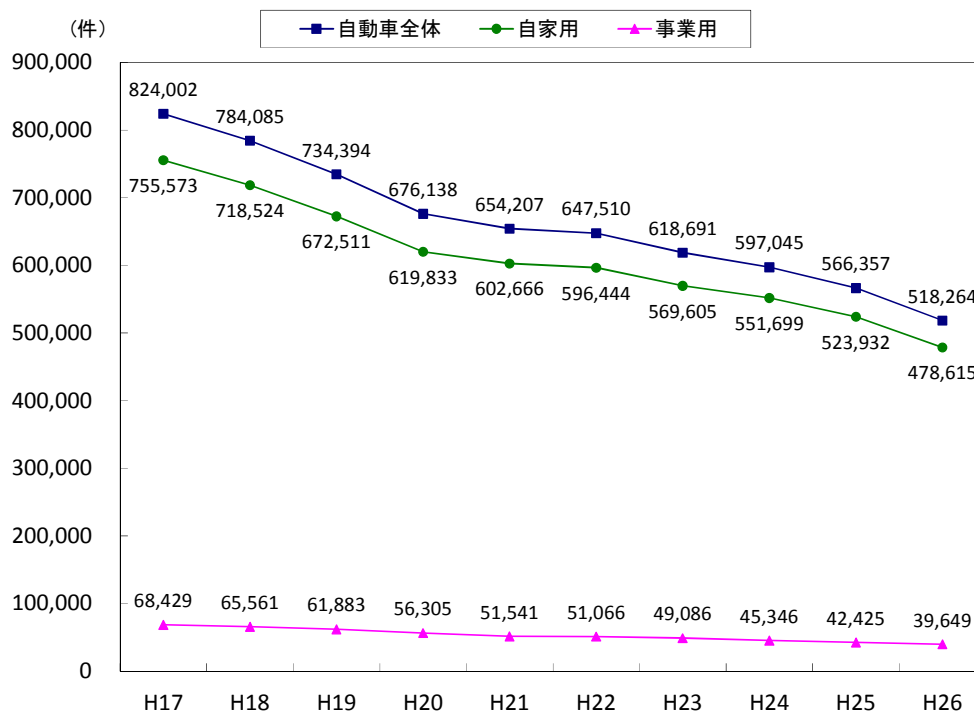
(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

1-2. 自動車事故件数の推移

「事業用自動車」・「自家用自動車」（自家用のバス、乗用車及びトラックをいう。以下同じ。）、及び「自動車全体」（事業用自動車と自家用自動車を合わせたものをいう。以下同じ。）について、「交通事故件数」、「交通事故死亡者数」、「交通死亡事故件数」の3つを比較した。

(1) 自動車事故件数の推移

平成26年中に全国で発生した自動車全体の交通事故件数は518,264件であり、そのうち、自家用自動車は478,615件、事業用自動車は39,649件となっている。



出典：警察庁「交通統計」
 (公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図4 自動車事故件数の推移

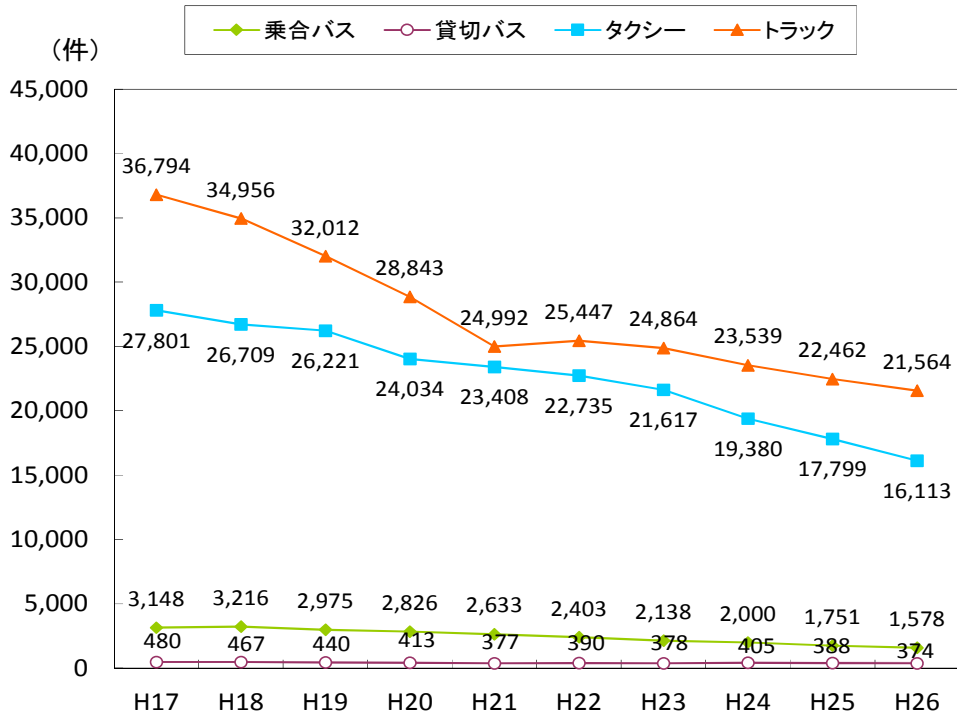
表4 自動車事故件数の推移 (件)

年	自動車全体	自家用	事業用
H17	824,002	755,573	68,429
H18	784,085	718,524	65,561
H19	734,394	672,511	61,883
H20	676,138	619,833	56,305
H21	654,207	602,666	51,541
H22	647,510	596,444	51,066
H23	618,691	569,605	49,086
H24	597,045	551,699	45,346
H25	566,357	523,932	42,425
H26	518,264	478,615	39,649

出典：警察庁「交通統計」
 (公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(2) 事業用自動車の業態別交通事故件数の推移

事業用自動車の交通事故件数を業態別に見ると、平成26年は、全業態ともに減少し、乗合バスとタクシーが前年に比べ約1割減少した。



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図5 事業用自動車の業態別交通事故件数の推移

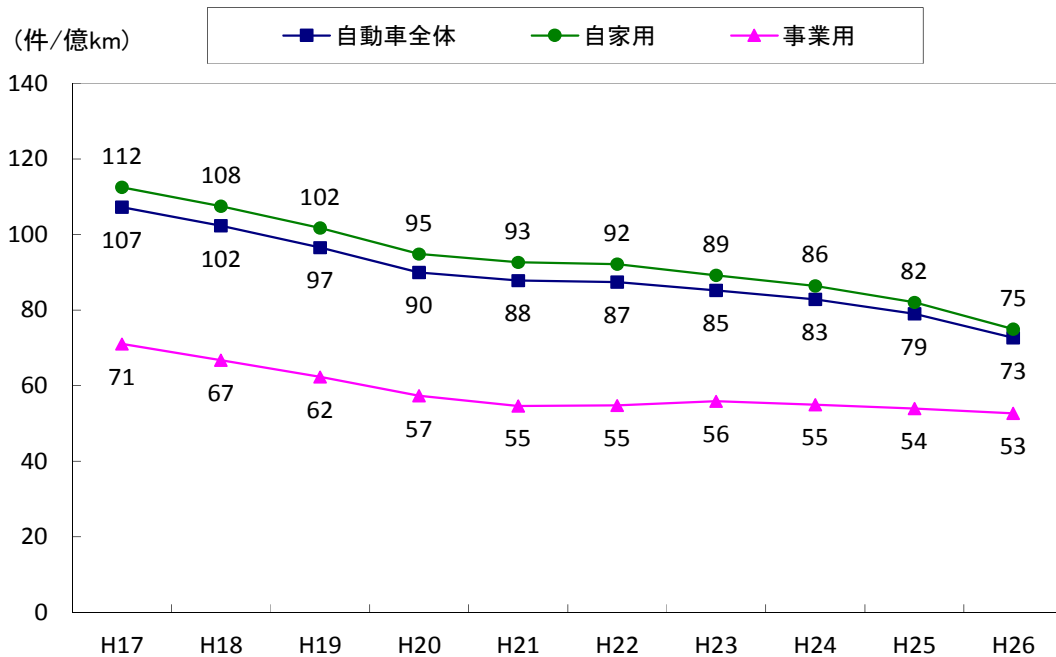
表5 事業用自動車の業態別交通事故件数の推移 (件)

年	区分	バス			タクシー	トラック	
		乗合バス	貸切バス	その他			
H17		3,834	3,148	480	206	27,801	36,794
H18		3,896	3,216	467	213	26,709	34,956
H19		3,650	2,975	440	235	26,221	32,012
H20		3,428	2,826	413	189	24,034	28,843
H21		3,139	2,633	377	129	23,408	24,992
H22		2,882	2,403	390	89	22,735	25,447
H23		2,605	2,138	378	89	21,617	24,864
H24		2,427	2,000	405	22	19,380	23,539
H25		2,164	1,751	388	25	17,799	22,462
H26		1,972	1,578	374	20	16,113	21,564

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(3) 走行距離1億キロあたり自動車事故件数の推移

自動車全体と自家用自動車は、平成17年以降減少し続けている。事業用自動車は、平成20年以降、53～57件/億kmで推移している。



出典：警察庁「交通統計」
 (公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
 国土交通省「自動車輸送統計調査」

図6 走行距離1億キロあたり自動車事故件数の推移

表6 走行距離と自動車事故件数の推移

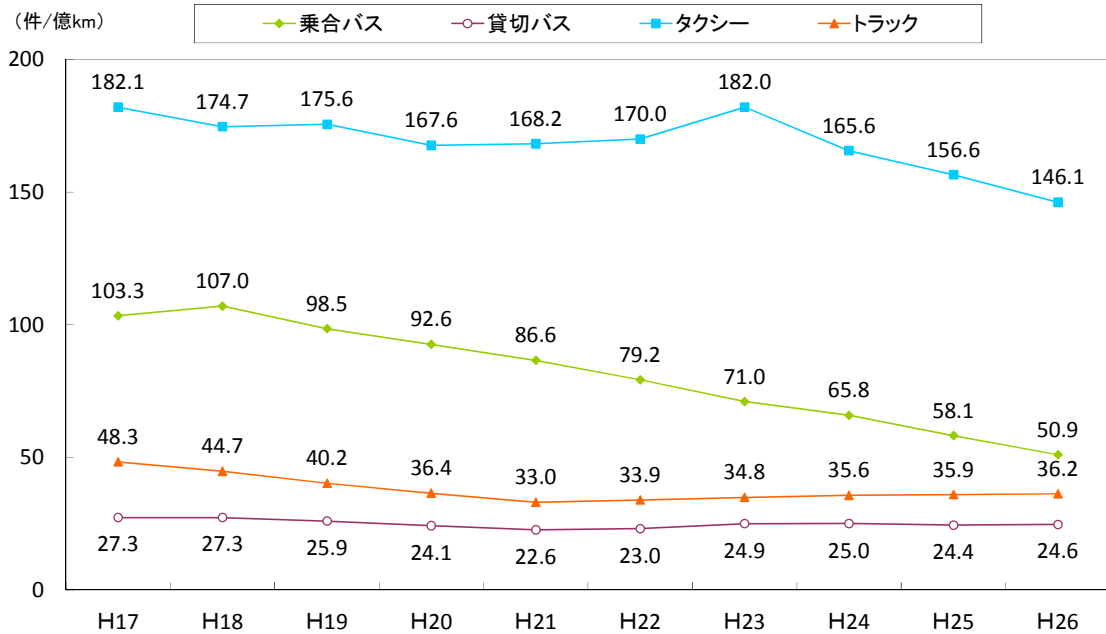
区分 年	事故件数(件)			走行距離(億km)		
	自動車全体	自家用	事業用	自動車全体	自家用	事業用
H17	824,002	755,573	68,429	7681.0	6717.7	963.3
H18	784,086	718,525	65,561	7666.4	6683.9	982.5
H19	734,394	672,511	61,883	7606.8	6613.2	993.6
H20	676,138	619,833	56,305	7519.2	6536.8	982.4
H21	654,207	602,668	51,539	7452.1	6508.9	943.2
H22	647,510	596,446	51,064	7405.1	6473.0	932.1
H23	618,693	569,607	49,086	7261.8	6383.5	878.3
H24	597,045	551,699	45,346	7208.5	6383.5	825.1
H25	566,357	523,932	42,425	7169.6	6383.5	786.1
H26	518,264	478,615	39,649	7136.0	6383.5	752.6

注：1. 走行距離（営業用バスを除く）の調査については、平成22年10月より、「自動車輸送統計調査」から「自動車燃料消費量調査」に移行している。
 2. 本表の平成22年10月以降は新統計数値となっているため、公表されている接続係数を使って、旧系列と比較可能な数値を作成した。（走行距離の作成方法については、以下同様）

出典：警察庁「交通統計」
 (公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
 国土交通省「自動車輸送統計調査」

(4) 走行距離1億キロあたり事業用自動車の業態別交通事故件数の推移

走行距離あたりの事故はタクシーが高い。前年と比べタクシーとトラックは減少し、乗合バスは平成19年より減少し続けており、貸切バスは、最近10年間は22.6～27.3件/億kmで推移、トラックは平成21年まで減少し、平成21年以降は33.0～36.2件/億kmで推移している。



出典：警察庁「交通統計」
 (公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
 国土交通省「自動車輸送統計調査」

図7 走行距離1億キロあたり事業用自動車の業態別交通事故件数の推移

表7 事業用自動車の業態別走行距離と交通事故件数の推移

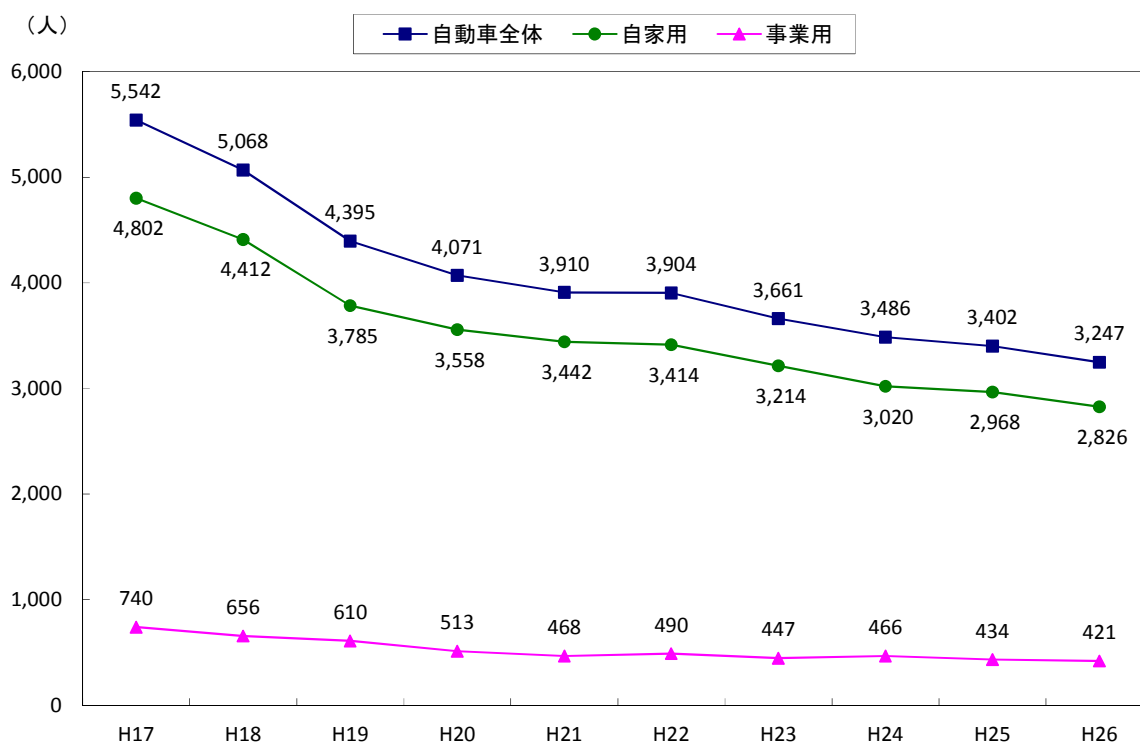
区分 年	事故件数(件)							走行距離(億km)					
	バス				タクシー	トラック	自動車全体	バス	乗合		貸切	タクシー	トラック
H17	3,834	3,148	480	206	27,801	36,794	824,002	48.1	30.5	17.6	152.7	762.6	7681.0
H18	3,896	3,216	467	213	26,709	34,956	784,085	47.2	30.1	17.1	152.9	782.4	7666.4
H19	3,650	2,975	440	235	26,221	32,012	734,394	47.2	30.2	17.0	149.3	797.1	7606.8
H20	3,428	2,826	413	189	24,034	28,843	676,138	47.6	30.5	17.1	143.4	791.4	7519.2
H21	3,139	2,633	377	129	23,408	24,994	654,207	47.1	30.4	16.7	139.2	756.9	7452.1
H22	2,882	2,403	390	89	22,735	25,449	647,510	47.3	30.3	16.9	133.7	751.1	7405.1
H23	2,605	2,138	378	89	21,617	24,864	618,691	45.3	30.1	15.2	118.7	714.3	7261.8
H24	2,427	2,000	405	22	19,380	23,539	597,045	46.6	30.4	16.2	117.0	661.5	7208.5
H25	2,164	1,751	388	25	17,799	22,462	566,357	46.0	30.1	15.9	113.7	626.4	7169.6
H26	1,972	1,578	374	20	16,113	21,564	518,264	46.2	31.0	15.2	110.3	596.1	7136.0

出典：警察庁「交通統計」
 (公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
 国土交通省「自動車輸送統計調査」

1-3. 自動車事故死者数の推移

(1) 自動車事故死者数の推移

平成26年中に全国で発生した自動車全体の交通事故死者数は3,247人であり、そのうち、事業用自動車は421人である。平成26年は前年より13人減少した。



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図8 自動車事故死者数の推移

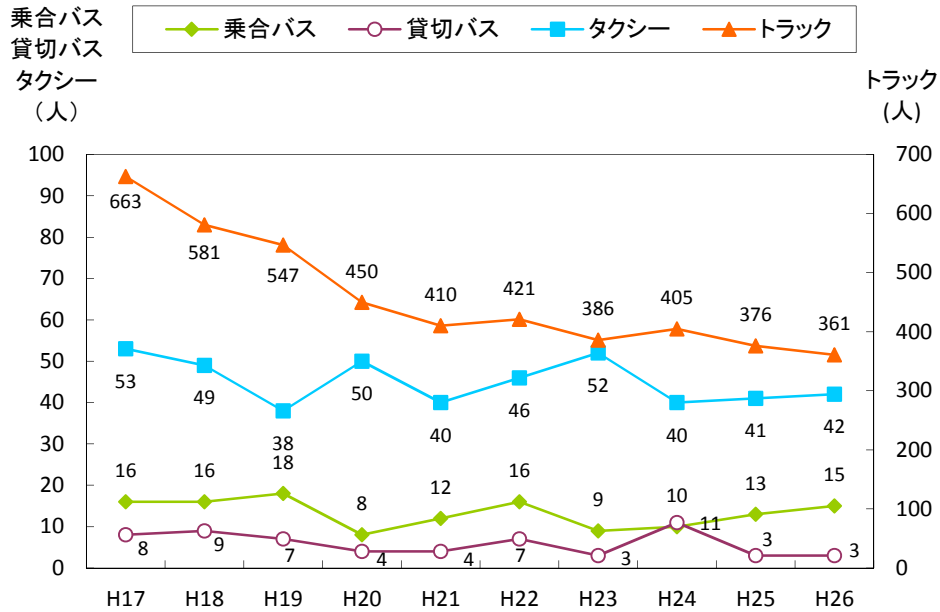
表8 自動車事故死者数の推移（人）

年	自動車全体	自家用	事業用
H17	5,542	4,802	740
H18	5,068	4,412	656
H19	4,395	3,785	610
H20	4,071	3,558	513
H21	3,910	3,442	468
H22	3,904	3,414	490
H23	3,661	3,214	447
H24	3,486	3,020	466
H25	3,402	2,968	434
H26	3,247	2,826	421

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(2) 事業用自動車の業態別交通事故死者数の推移

事業用自動車の交通事故死者数を業態別に見ると、トラックによる交通事故死者数が大半を占める。平成26年の交通事故死者数は、トラックが減少、乗合バスとタクシーは微増し、貸切バスは同程度である。



出典：警察庁「交通統計」
 (公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図9 事業用自動車の業態別交通事故死者数の推移

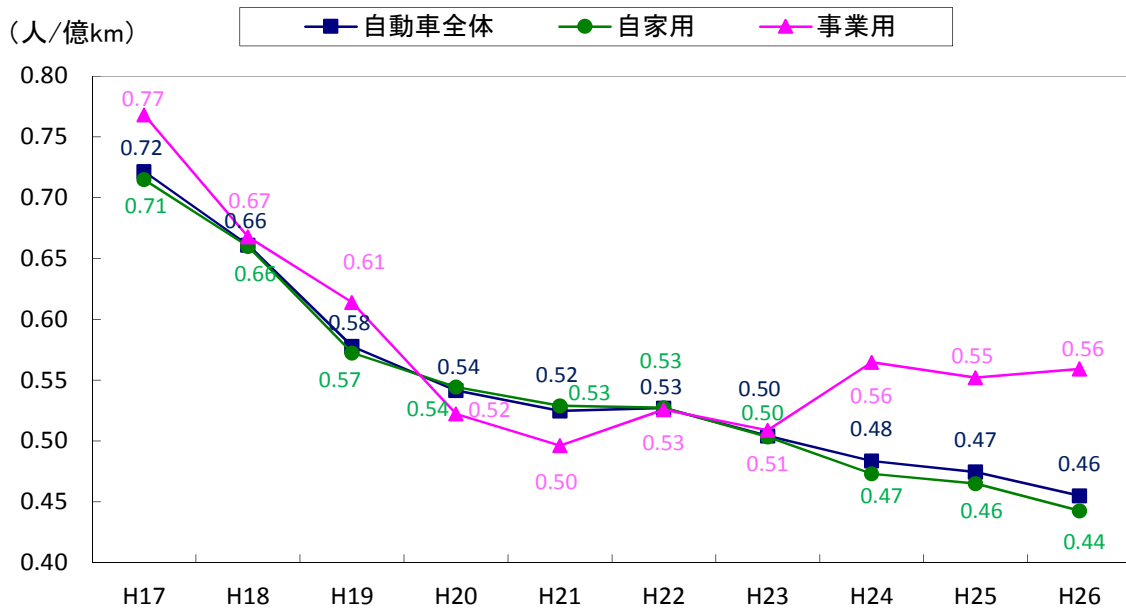
表9 事業用自動車の業態別交通事故死者数の推移 (人)

年	区分	バス			タクシー	トラック
		乗合バス	貸切バス	その他		
H17		16	8	1	53	663
H18		16	9	1	49	581
H19		18	7	0	38	547
H20		8	4	1	50	450
H21		12	4	2	40	410
H22		16	7	0	46	421
H23		9	3	0	52	386
H24		10	11	0	40	405
H25		13	3	1	41	376
H26		15	3	0	42	361

出典：警察庁「交通統計」
 (公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(3) 走行距離1億キロあたり自動車事故死者数の推移

走行距離あたりの自動車事故死者数は、自動車全体では減少傾向にある。事業用は平成24年以降同程度である。



出典：警察庁「交通統計」
 (公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
 国土交通省「自動車輸送統計調査」

図10 走行距離1億キロあたり自動車事故死者数の推移

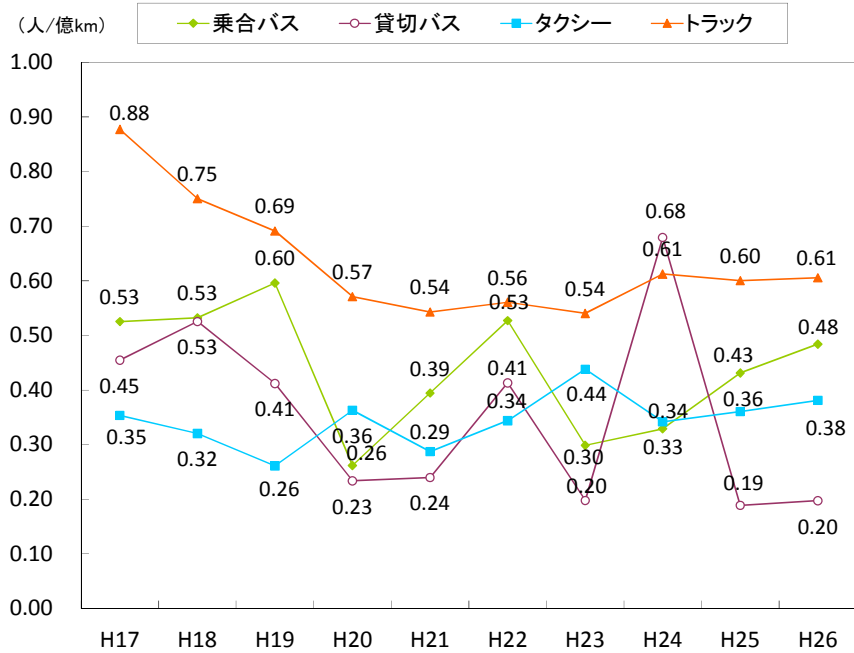
表10 走行距離と自動車事故死者数の推移

年	死者数(人)			走行距離(億km)		
	自動車全体	自家用	事業用	自動車全体	自家用	事業用
H17	5,542	4,802	740	7681.0	6717.7	963.3
H18	5,068	4,412	656	7666.4	6683.9	982.5
H19	4,395	3,785	610	7606.8	6613.2	993.6
H20	4,071	3,558	513	7519.2	6536.8	982.4
H21	3,910	3,442	468	7452.1	6508.9	943.2
H22	3,904	3,414	490	7405.1	6473.0	932.1
H23	3,661	3,214	447	7261.8	6383.5	878.3
H24	3,486	3,020	466	7208.5	6383.5	825.1
H25	3,402	2,968	434	7169.6	6383.5	786.1
H26	3,247	2,826	421	7136.0	6383.4	752.6

出典：警察庁「交通統計」
 (公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
 国土交通省「自動車輸送統計調査」

(4) 走行距離1億キロあたり事業用自動車の業態別交通事故死者数の推移

乗合バスは前年より増加し、貸切バス、タクシー、トラックは前年と同程度である。



出典：警察庁「交通統計」
 (公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
 国土交通省「自動車輸送統計調査」

図 11 走行距離1億キロあたり事業用自動車の業態別交通事故死者数の推移

表 11 事業用自動車の業態別走行距離と交通事故死者数の推移

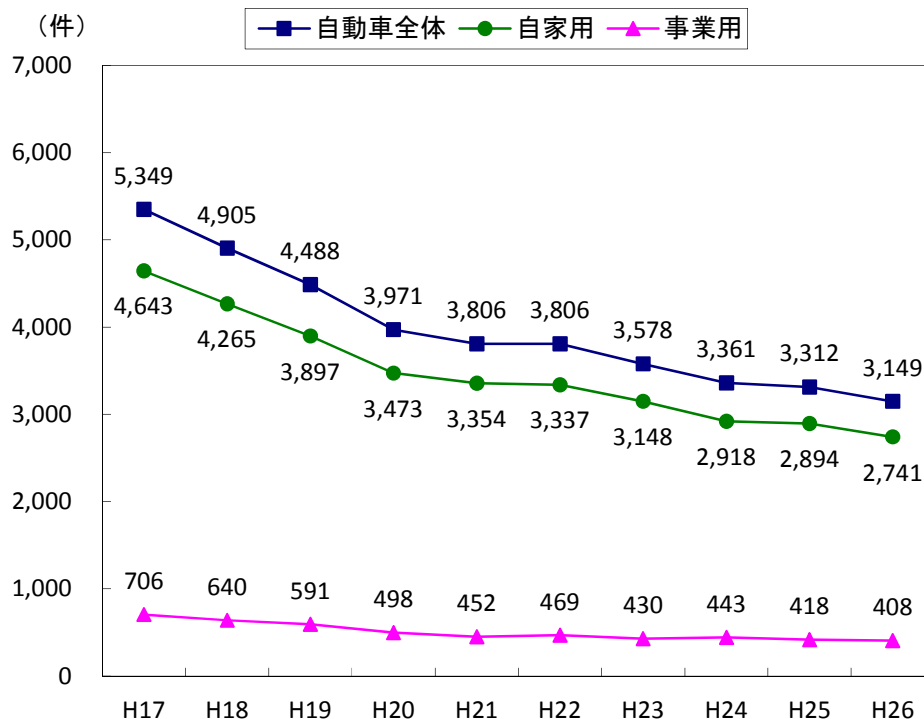
区分 年	死者数(人)							走行距離(億km)					
	バス	乗合	貸切	その他	タクシー	トラック	自動車全体	バス	乗合	貸切	タクシー	トラック	自動車全体
H17	25	16	8	1	54	669	5,542	48.1	30.5	17.6	152.7	762.6	7681.0
H18	26	16	9	1	49	587	5,068	47.2	30.1	17.1	152.9	782.4	7666.4
H19	25	18	7	0	39	551	4,395	47.2	30.2	17.0	149.3	797.1	7606.8
H20	13	8	4	1	52	452	4,071	47.6	30.5	17.1	143.4	791.4	7519.2
H21	18	12	4	2	40	411	3,910	47.1	30.4	16.7	139.2	756.9	7452.1
H22	23	16	7	0	46	421	3,904	47.3	30.3	16.9	133.7	751.1	7405.1
H23	12	9	3	0	52	386	3,661	45.3	30.1	15.2	118.7	714.3	7261.8
H24	21	10	11	0	40	405	3,486	46.6	30.4	16.2	117.0	661.5	7208.5
H25	17	13	3	1	41	376	3,402	46.0	30.1	15.9	113.7	626.4	7169.6
H26	18	15	3	0	42	361	3,247	46.2	31.0	15.2	110.3	596.1	7136.0

出典：警察庁「交通統計」
 (公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
 国土交通省「自動車輸送統計調査」

1-4. 自動車死亡事故件数の推移

(1) 自動車死亡事故件数の推移

平成26年中に全国で発生した自動車全体の交通死亡事故件数は3,149件であり、そのうち、自家用自動車は2,741件、事業用自動車は408件となっている。



出典：警察庁「交通統計」

(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 12 自動車死亡事故件数の推移

表 12 自動車死亡事故件数の推移 (件)

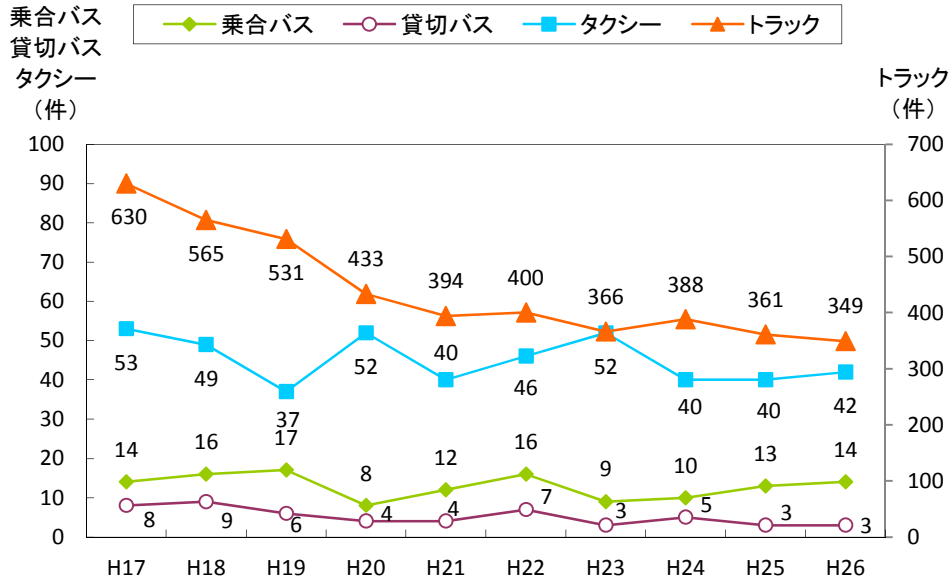
年	自動車全体	自家用	事業用
H17	5,349	4,643	706
H18	4,905	4,265	640
H19	4,488	3,897	591
H20	3,971	3,473	498
H21	3,806	3,354	452
H22	3,806	3,337	469
H23	3,578	3,148	430
H24	3,361	2,918	443
H25	3,312	2,894	418
H26	3,149	2,741	408

出典：警察庁「交通統計」

(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(2) 事業用自動車の業態別交通死亡事故件数の推移

事業用自動車の交通死亡事故件数を業態別に見ると、トラックによる死亡事故件数が大半を占める。トラックによる死亡事故件数は前年に比べ12件減少、乗合バス、貸切バス、タクシーは前年と同程度である。



出典：警察庁「交通統計」
 (公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 13 事業用自動車の業態別交通死亡事故件数の推移

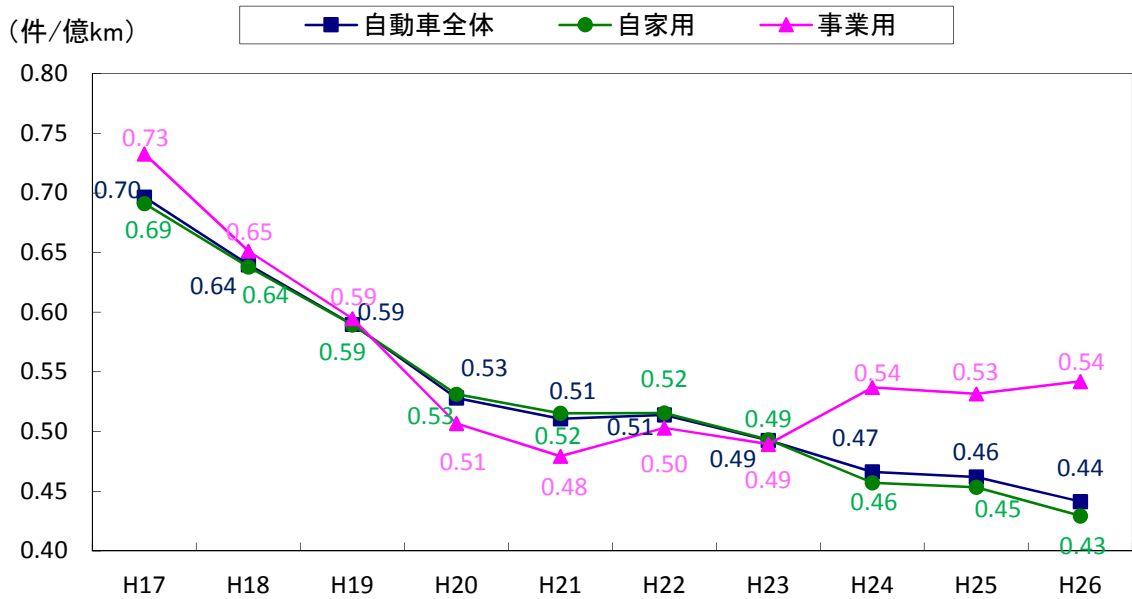
表 13 事業用自動車の業態別交通死亡事故件数の推移 (件)

年	区分	バス			タクシー	トラック
		乗合バス	貸切バス	その他		
H17		14	8	1	53	630
H18		16	9	1	49	565
H19		17	6	0	37	531
H20		8	4	1	52	433
H21		12	4	2	40	394
H22		16	7	0	46	400
H23		9	3	0	52	366
H24		10	5	0	40	388
H25		13	3	1	40	361
H26		14	3	0	42	349

出典：警察庁「交通統計」
 (公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(3) 走行距離1億キロあたり自動車死亡事故件数の推移

走行距離あたりの自動車死亡事故件数を見ると、自動車全体と自家用は減少傾向であるものの、事業用は平成24年に増加し、以降は同程度となっている。



出典：警察庁「交通統計」
 (公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
 国土交通省「自動車輸送統計調査」

図14 走行距離1億キロあたり自動車死亡事故件数の推移

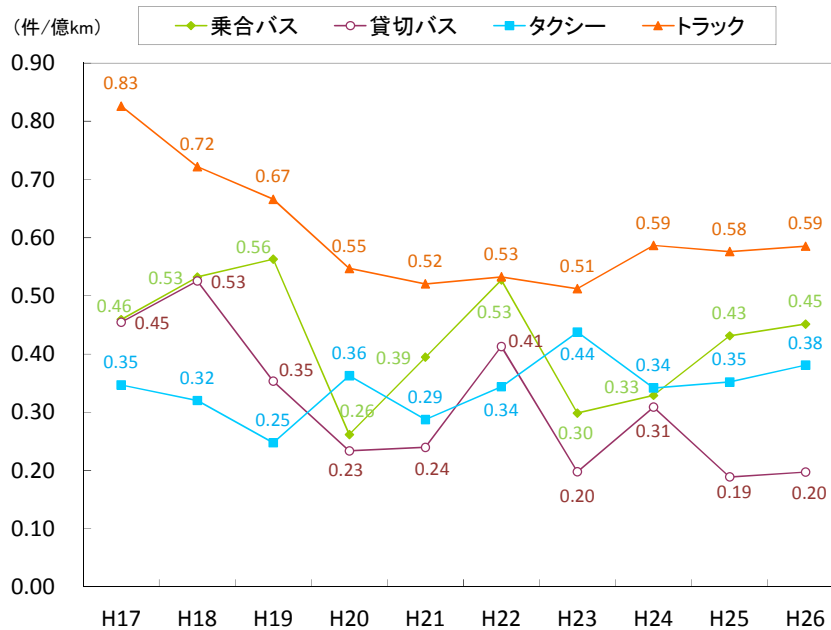
表14 走行距離と自動車死亡事故件数の推移

年	死亡事故件数(件)			走行距離(億km)		
	自動車全体	自家用	事業用	自動車全体	自家用	事業用
H17	5,349	4,643	706	7681.0	6717.7	963.3
H18	4,905	4,265	640	7666.4	6683.9	982.5
H19	4,488	3,897	591	7606.8	6613.2	993.6
H20	3,971	3,473	498	7519.2	6536.8	982.4
H21	3,806	3,354	452	7452.1	6508.9	943.2
H22	3,806	3,337	469	7405.1	6473.0	932.1
H23	3,578	3,148	430	7261.8	6383.5	878.3
H24	3,361	2,918	443	7208.5	6383.5	825.1
H25	3,312	2,894	418	7169.6	6383.5	786.1
H26	3,149	2,741	408	7136.0	6383.4	752.6

出典：警察庁「交通統計」
 (公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
 国土交通省「自動車輸送統計調査」

(4) 走行距離1億キロあたり事業用自動車の業態別交通死亡事故件数の推移

トラックは他の業態に比べ走行距離あたりの死亡事故件数が多い。全ての業態において、前年より微増している。



出典：警察庁「交通統計」
 (公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
 国土交通省「自動車輸送統計調査」

図 15 走行距離1億キロあたり事業用自動車の業態別交通死亡事故件数の推移

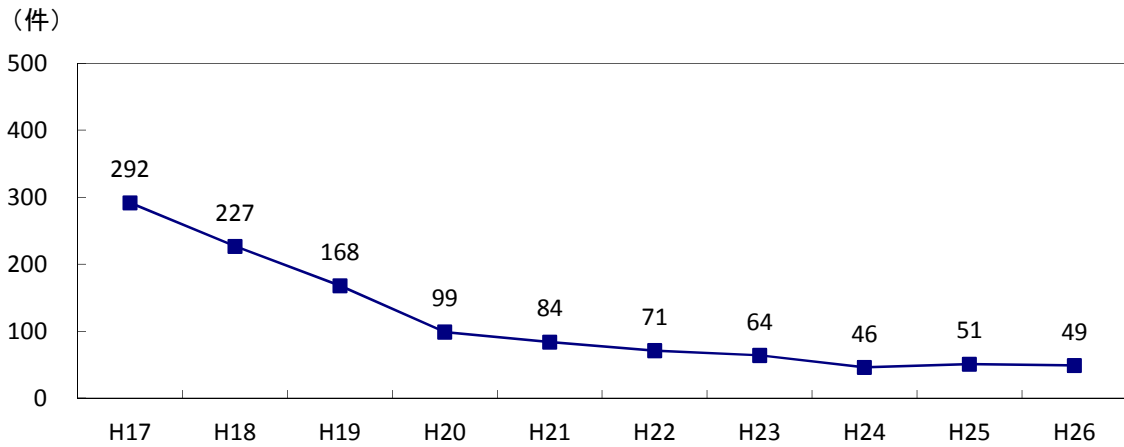
表 15 事業用自動車の業態別走行距離と交通死亡事故件数の推移

区分 年	死亡事故件数(件)							走行キロ(億km)					
	バス			タクシー	トラック	自動車 全体	バス			タクシー	トラック	自動車 全体	
乗合	貸切	その他	乗合				貸切						
H17	23	14	8	1	53	630	5,349	48.1	30.5	17.6	152.7	762.6	7681.0
H18	26	16	9	1	49	565	4,905	47.2	30.1	17.1	152.9	782.4	7666.4
H19	23	17	6	0	37	531	4,488	47.2	30.2	17.0	149.3	797.1	7606.8
H20	13	8	4	1	52	433	3,971	47.6	30.5	17.1	143.4	791.4	7519.2
H21	18	12	4	2	40	394	3,806	47.1	30.4	16.7	139.2	756.9	7452.1
H22	23	16	7	0	46	400	3,806	47.3	30.3	16.9	133.7	751.1	7405.1
H23	12	9	3	0	52	366	3,578	45.3	30.1	15.2	118.7	714.3	7261.8
H24	15	10	5	0	40	388	3,361	46.6	30.4	16.2	117.0	661.5	7208.5
H25	17	13	3	1	40	361	3,312	46.0	30.1	15.9	113.7	626.4	7169.6
H26	17	14	3	0	42	349	3,149	46.2	31.0	15.2	110.3	596.1	7136.0

出典：警察庁「交通統計」
 (公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
 国土交通省「自動車輸送統計調査」

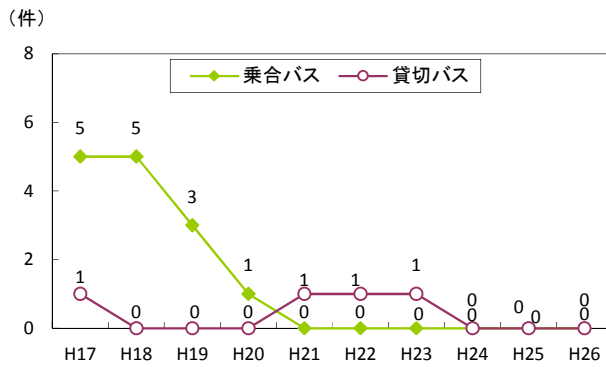
1-5. 飲酒運転による事業用自動車の交通事故

飲酒運転による事業用自動車の交通事故は、平成24年までは減少しており、それ以降は同程度である。業態別の内訳は、トラック42件、タクシー7件である。

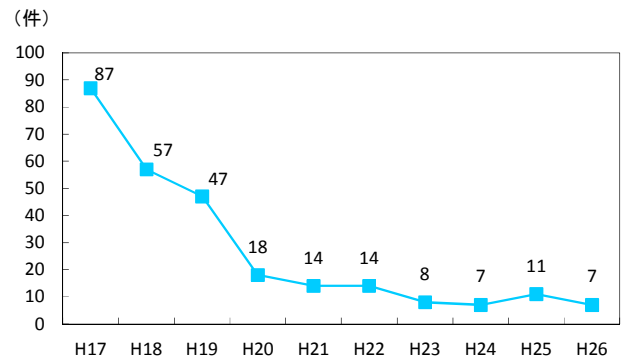


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

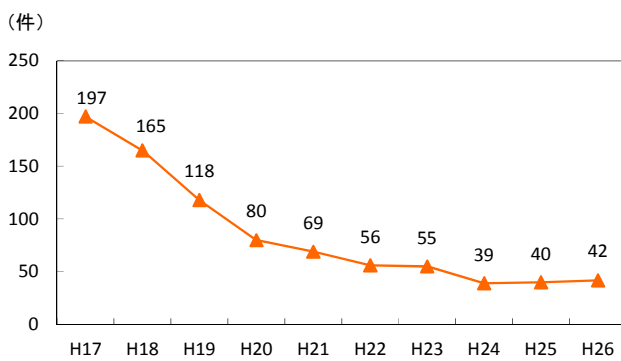
図16 飲酒運転による事業用自動車の交通事故件数の推移



飲酒運転による交通事故件数（バス）



飲酒運転による交通事故件数（タクシー）



飲酒運転による交通事故件数（トラック）

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図17 業態別飲酒運転による交通事故件数

表 16 業態別飲酒運転による交通事故件数の推移（件）

年	区分	交通事故件数						
		バス				タクシー	トラック	合計
			乗合	貸切	その他			
H17		8	5	1	2	87	197	292
H18		5	5	0	0	57	165	227
H19		3	3	0	0	47	118	168
H20		1	1	0	0	18	80	99
H21		1	0	1	0	14	69	84
H22		1	0	1	0	14	56	71
H23		1	0	1	0	8	55	64
H24		0	0	0	0	7	39	46
H25		0	0	0	0	11	40	51
H26		0	0	0	0	7	42	49

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

表 17 業態別飲酒運転による交通死亡事故件数の推移（件）

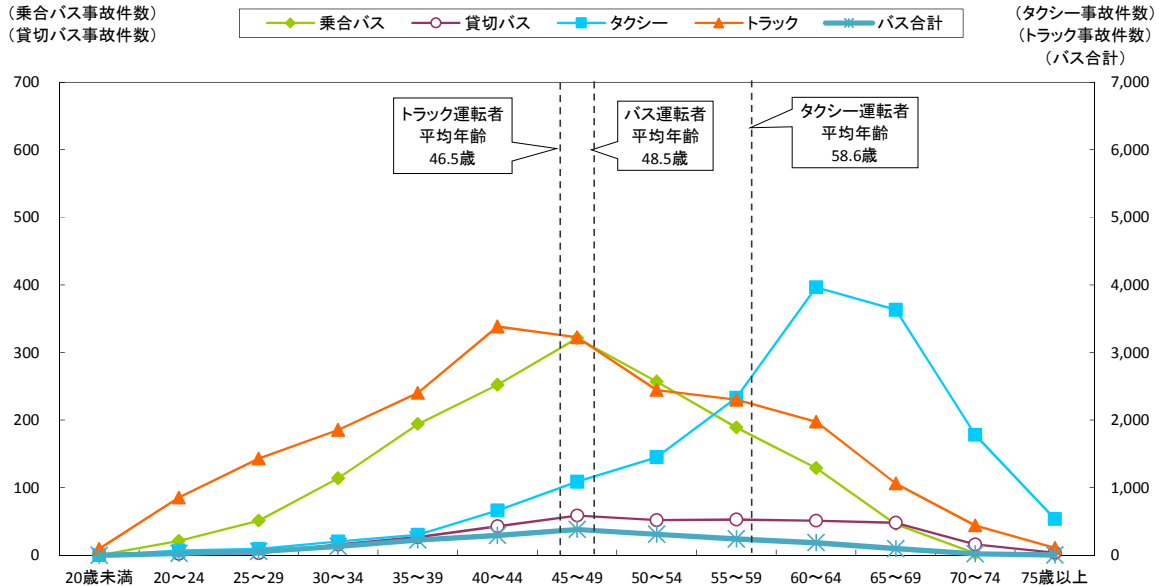
年	区分	交通死亡事故件数						
		バス				タクシー	トラック	合計
			乗合	貸切	その他			
H17		0	0	0	0	0	13	13
H18		0	0	0	0	0	9	9
H19		0	0	0	0	0	12	12
H20		0	0	0	0	0	1	1
H21		0	0	0	0	0	2	2
H22		0	0	0	0	0	3	3
H23		0	0	0	0	0	4	4
H24		0	0	0	0	0	6	6
H25		0	0	0	0	0	6	6
H26		0	0	0	0	1	5	6

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

1-6. 業態別運転者年齢層別の交通事故

(1) 業態別運転者年齢層別交通事故件数

業態別の交通事故第1当事者の平均年齢と運転者の平均年齢を見ると、タクシーは若干高く、バスとトラックは同程度である。



業態	バス	タクシー	トラック
平均年齢 (運転者全体)	48.5	58.6	46.5
平均年齢 (事故あり)	48.5	60.5	46.5

※ 交通事故第1当事者の平均年齢は、年齢層毎の年齢の加重平均により算出

出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
厚生労働省「平成26年賃金構造基本統計調査(全国)」

図 18 業態別運転者年齢層別交通事故件数 (平成26年)

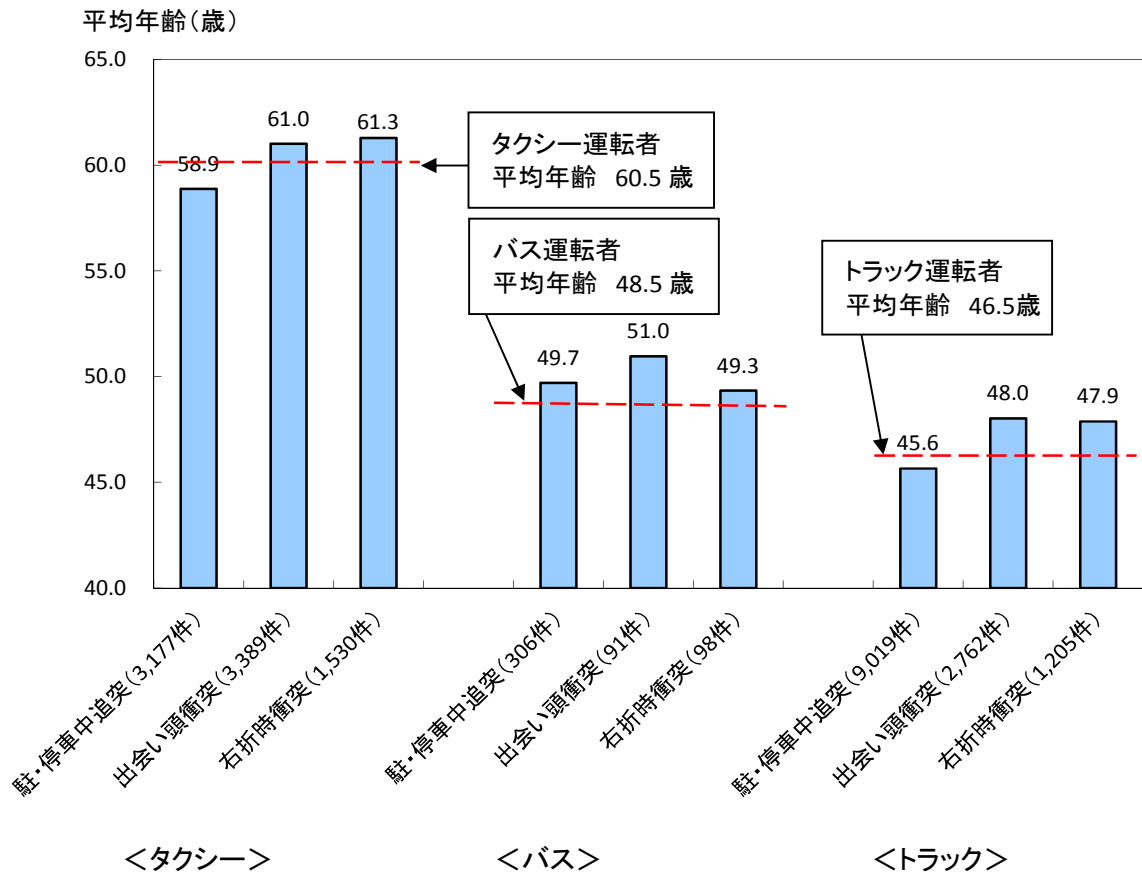
表 18 業態別運転者年齢層別交通事故件数 (件) (平成26年)

		20歳未満	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75歳以上	合計
バス	乗合	0	21	51	114	194	252	321	257	189	129	46	3	1	1,578
	貸切	0	2	3	16	27	43	59	52	53	51	48	16	4	374
	その他	0	1	0	0	2	1	3	1	1	4	5	2	0	20
	小計	0	24	54	130	223	296	383	310	243	184	99	21	5	1,972
ハイタク	法人	0	58	82	194	278	627	1,033	1,375	2,202	3,673	3,309	1,567	394	14,792
	個人	0	3	3	1	8	21	44	59	116	276	303	211	138	1,183
その他乗用		1	8	9	9	16	13	11	16	14	16	19	3	3	138
小計		1	69	94	204	302	661	1,088	1,450	2,332	3,965	3,631	1,781	535	16,113
貨物自動車	大型	0	97	337	511	909	1,346	1,236	936	763	566	225	47	12	6,985
	中型	0	246	626	848	954	1,322	1,255	918	870	682	293	100	16	8,130
	普通	58	303	254	275	269	350	339	232	231	209	116	39	11	2,686
	軽	39	206	211	219	267	365	395	357	436	518	428	254	68	3,763
	小計	97	852	1,428	1,853	2,399	3,383	3,225	2,443	2,300	1,975	1,062	440	107	21,564
合計		98	945	1,576	2,187	2,924	4,340	4,696	4,203	4,875	6,124	4,792	2,242	647	39,649
トレーラ (トラックの内数)		1	13	61	109	176	262	258	179	143	95	45	7	2	1,351

出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(2) 業態別事故類型別事故第1当事者平均年齢

事故第1当事者の平均年齢を、運転者全体の平均年齢と比べると、出会い頭衝突、右折時衝突は業態問わず、平均より高い年齢となっていることがわかる。



注：() 内は事故件数

※ 事故第1当事者の運転者の平均年齢は、年齢層毎の年齢の加重平均により算出

※ 上記事故類型は「車両との事故」の事故類型から事故件数の多い3つを抽出

出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
厚生労働省「平成26年賃金構造基本統計調査(全国)」

図19 業態別事故類型別事故第1当事者の運転者平均年齢(車両との事故)(平成26年)

1-7. 業態別危険認知速度別交通事故

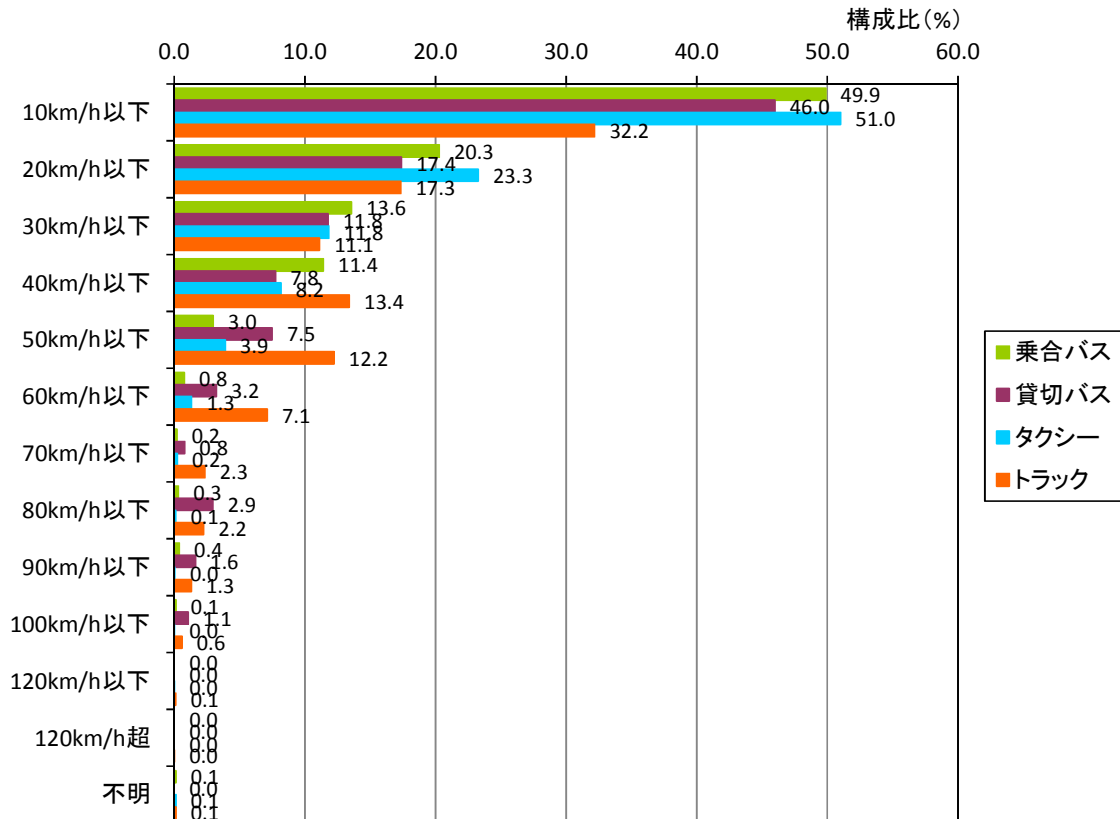
(1) 業態別危険認知速度別交通事故件数

業態別の危険認知速度別事故件数を見ると、いずれの業態も10km/h以下が最も多くなっている。表19に認知速度別交通事故件数を、図20に業態別の構成比を示す。

表 19 業態別危険認知速度別交通事故件数（件）（平成26年）

速度	交通事故件数						
	バス	乗合	貸切	その他	タクシー	トラック	合計
10km/h以下	972	787	172	13	8,220	6,939	16,131
20km/h以下	388	320	65	3	3,749	3,737	7,874
30km/h以下	259	214	44	1	1,907	2,394	4,560
40km/h以下	212	180	29	3	1,315	2,888	4,415
50km/h以下	75	47	28	0	628	2,634	3,337
60km/h以下	24	12	12	0	213	1,532	1,769
70km/h以下	6	3	3	0	36	504	546
80km/h以下	16	5	11	0	16	483	515
90km/h以下	12	6	6	0	7	277	296
100km/h以下	6	2	4	0	2	125	133
120km/h以下	0	0	0	0	1	23	24
120km/h超	0	0	0	0	0	2	2
不明	2	2	0	0	19	26	47
合計	1,972	1,578	374	20	16,113	21,564	39,649

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 20 業態別危険認知速度別交通事故件数の構成比（平成26年）

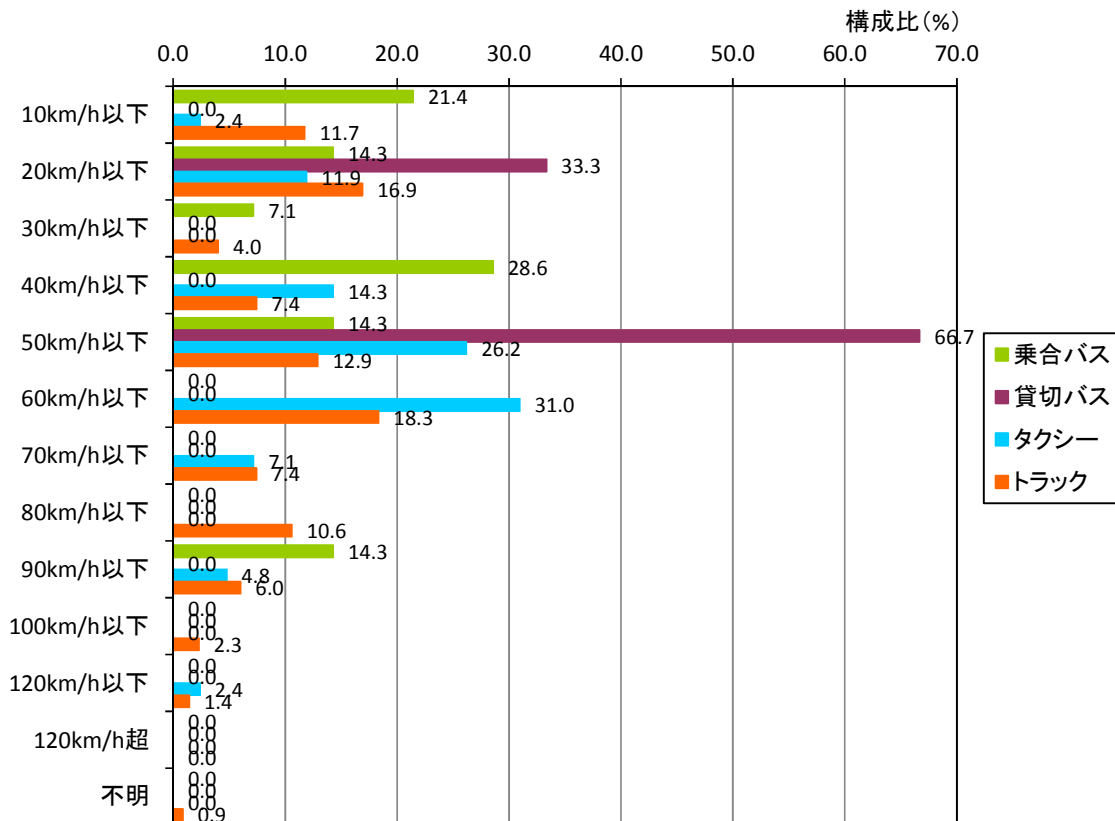
(2) 業態別危険認知速度別交通死亡事故件数

業態別の危険認知速度別死亡事故件数を見ると、バスは40～50km/h以下、タクシーとトラックは50～60km/h以下が最も多くなっている。表20に危険認知速度別交通事故死亡事故件数を、図21に業態別の構成比を示す。

表 20 業態別危険認知速度別交通死亡事故件数 (件) (平成26年)

速度	交通死亡事故件数						
	バス	乗合	貸切	その他	タクシー	トラック	合計
10km/h以下	3	3	0	0	1	41	45
20km/h以下	3	2	1	0	5	59	67
30km/h以下	1	1	0	0	0	14	15
40km/h以下	4	4	0	0	6	26	36
50km/h以下	4	2	2	0	11	45	60
60km/h以下	0	0	0	0	13	64	77
70km/h以下	0	0	0	0	3	26	29
80km/h以下	0	0	0	0	0	37	37
90km/h以下	2	2	0	0	2	21	25
100km/h以下	0	0	0	0	0	8	8
120km/h以下	0	0	0	0	1	5	6
120km/h超	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	3	3
合計	17	14	3	0	42	349	408

出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」



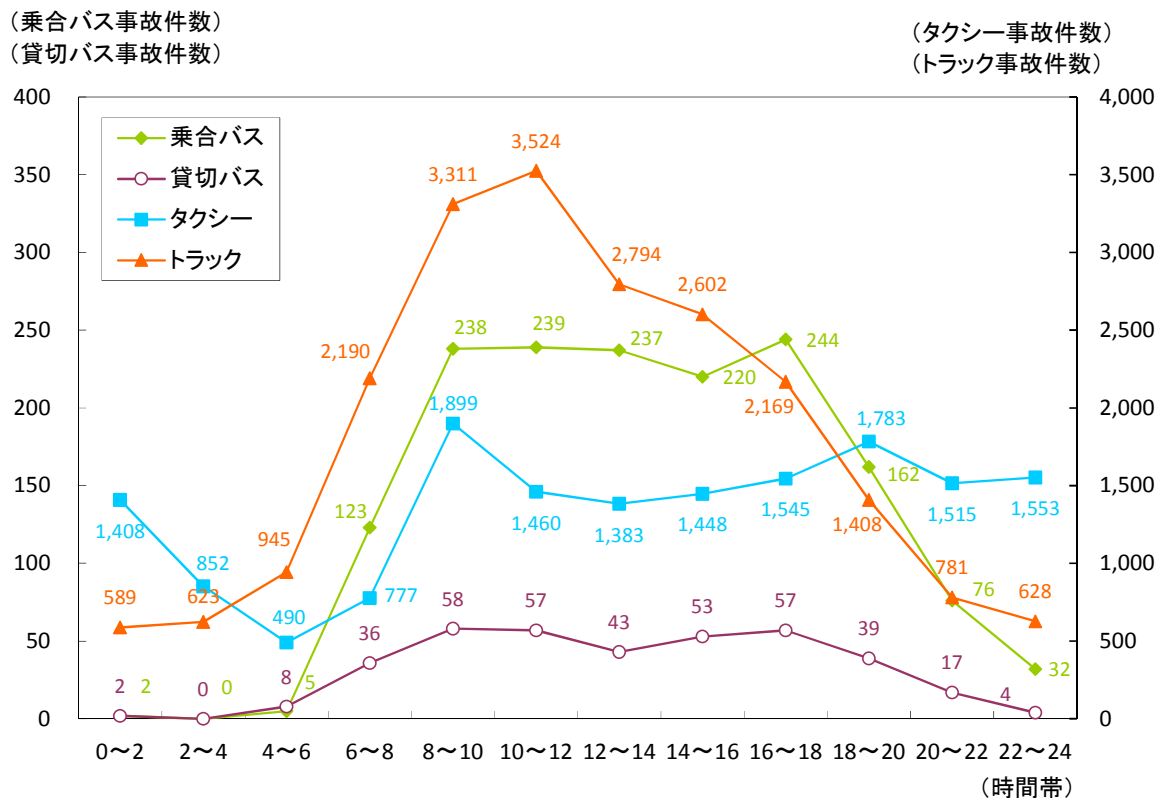
出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 21 業態別危険認知速度別交通死亡事故件数の構成比 (平成26年)

1-8. 業態別時間帯別の交通事故

(1) 業態別時間帯別交通事故件数

業態別の時間帯別事故件数を見ると、バスは16～17時台、タクシーは8～9時台、トラックは10～11時台が最も多い。



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 22 業態別時間帯別交通事故件数（平成26年）

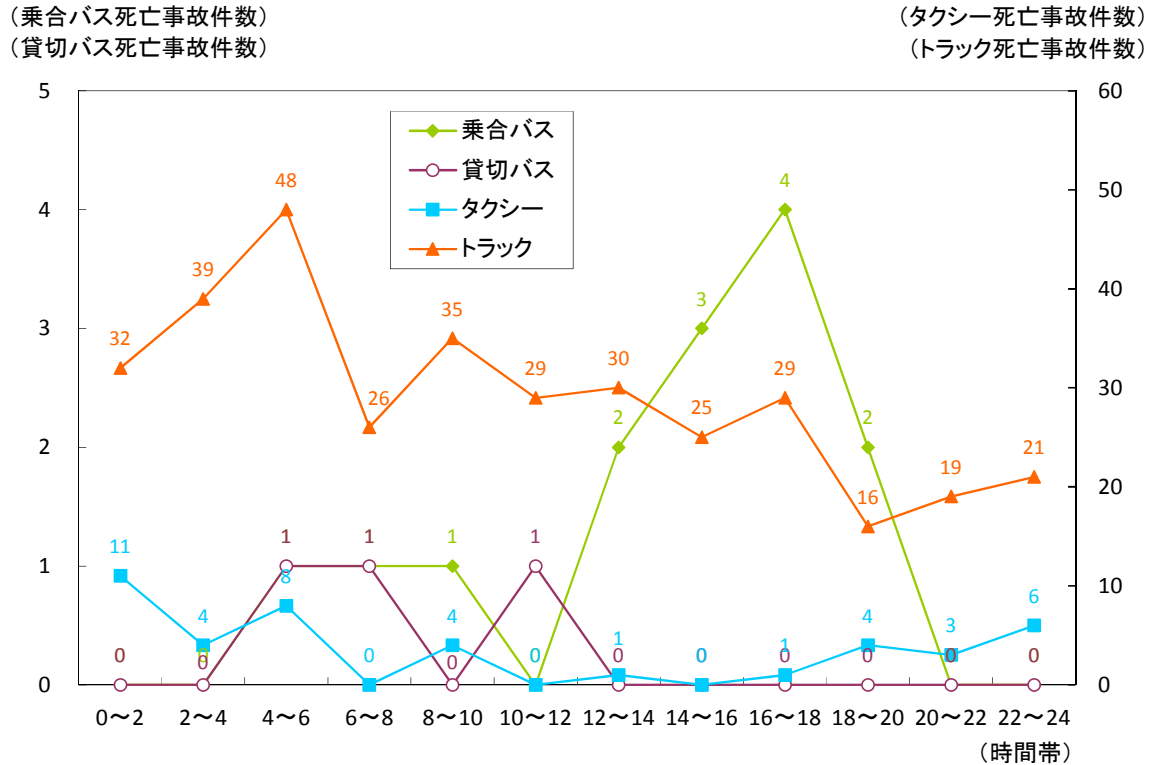
表 21 業態別時間帯別交通事故件数（件）（平成26年）

区分	時間帯	時間帯												合計
		0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	
バス	乗合	2	0	5	123	238	239	237	220	244	162	76	32	1,578
	貸切	2	0	8	36	58	57	43	53	57	39	17	4	374
	その他	0	0	0	4	2	0	3	3	4	2	1	1	20
	小計	4	0	13	163	298	296	283	276	305	203	94	37	1,972
タクシー	法人	1,256	780	463	718	1,742	1,354	1,288	1,345	1,422	1,646	1,370	1,408	14,792
	個人	147	72	26	52	130	82	75	83	109	128	138	141	1,183
	その他乗用	5	0	1	7	27	24	20	20	14	9	7	4	138
小計	1,408	852	490	777	1,899	1,460	1,383	1,448	1,545	1,783	1,515	1,553	16,113	
トラック	大型	267	276	390	744	968	1,137	905	753	651	366	250	278	6,985
	中型	249	271	422	980	1,400	1,255	1,009	946	686	417	262	233	8,130
	普通	38	48	81	228	429	490	389	393	310	172	69	39	2,686
	軽	35	28	52	238	514	642	491	510	522	453	200	78	3,763
	小計	589	623	945	2,190	3,311	3,524	2,794	2,602	2,169	1,408	781	628	21,564
合計		2,001	1,475	1,448	3,130	5,508	5,280	4,460	4,326	4,019	3,394	2,390	2,218	39,649

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(2) 業態別時間帯別交通死亡事故件数

業態別の時間帯別死亡事故件数を見ると、バスは16～17時台、タクシーは0～1時台、トラックは4～5時台の死亡事故件数が最も多い。



出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 23 業態別時間帯別交通死亡事故件数 (平成26年)

表 22 業態別時間帯別交通死亡事故件数 (件) (平成26年)

区分	時間帯	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合計
	バス	乗合	0	0	1	1	1	0	2	3	4	2	0	
	貸切	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	2	2	1	1	2	3	4	2	0	0	17
タクシー	法人	11	4	6	0	4	0	1	0	0	4	3	6	39
	個人	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	その他乗用	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	小計	11	4	8	0	4	0	1	0	1	4	3	6	42
トラック	大型	16	27	23	18	17	19	21	12	15	4	10	12	194
	中型	12	8	20	4	14	7	6	9	8	7	9	9	113
	普通	3	2	4	2	2	1	1	2	2	4	0	0	23
	軽	1	2	1	2	2	2	2	2	4	1	0	0	19
	小計	32	39	48	26	35	29	30	25	29	16	19	21	349
合計		43	43	58	28	40	30	33	28	34	22	22	27	408

出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

1-9. 事故に関わる営業所の位置（都道府県）別の交通事故

(1) 事故に関わる営業所の位置（都道府県）別の交通事故件数

表 23 事故に関わる営業所の位置（都道府県）別の交通事故件数（件）（平成26年）

都道府県	事業の種類				タクシー	トラック	計
	バス	乗合	貸切	その他			
北海道	61 (10)	46 (9)	15 (6)	0 (9)	711 (5)	519 (11)	1,291 (10)
青森県	28 (17)	23 (16)	5 (21)	0 (9)	76 (26)	117 (38)	221 (36)
岩手県	6 (43)	4 (42)	2 (35)	0 (9)	38 (39)	105 (40)	149 (42)
宮城県	13 (25)	10 (24)	3 (28)	0 (9)	194 (15)	278 (18)	485 (16)
秋田県	4 (45)	4 (42)	0 (44)	0 (9)	13 (46)	49 (45)	66 (46)
山形県	7 (42)	7 (30)	0 (44)	0 (9)	45 (37)	128 (37)	180 (38)
福島県	13 (25)	6 (34)	7 (14)	0 (9)	99 (22)	253 (20)	365 (24)
茨城県	20 (21)	11 (22)	7 (14)	2 (3)	65 (30)	551 (10)	636 (13)
栃木県	11 (30)	6 (34)	4 (25)	1 (6)	32 (41)	234 (23)	277 (31)
群馬県	14 (24)	9 (26)	5 (21)	0 (9)	77 (25)	454 (14)	545 (14)
埼玉県	63 (9)	36 (14)	21 (5)	6 (1)	474 (9)	1,728 (3)	2,265 (6)
千葉県	107 (7)	80 (8)	27 (4)	0 (9)	338 (13)	1,008 (7)	1,453 (8)
東京都	199 (1)	160 (1)	35 (2)	4 (2)	4,063 (1)	1,943 (2)	6,205 (1)
神奈川県	153 (5)	138 (5)	13 (9)	2 (3)	1,218 (4)	1,394 (5)	2,765 (4)
新潟県	12 (28)	7 (30)	4 (25)	1 (6)	73 (28)	179 (29)	264 (32)
富山県	10 (32)	6 (34)	4 (25)	0 (9)	22 (43)	136 (35)	168 (39)
石川県	22 (20)	19 (20)	3 (28)	0 (9)	48 (35)	155 (32)	225 (35)
福井県	4 (45)	4 (42)	0 (44)	0 (9)	16 (45)	92 (42)	112 (44)
山梨県	9 (35)	2 (47)	7 (14)	0 (9)	31 (42)	114 (39)	154 (41)
長野県	28 (17)	21 (19)	7 (14)	0 (9)	76 (26)	277 (19)	381 (22)
岐阜県	13 (25)	8 (28)	5 (21)	0 (9)	51 (34)	302 (17)	366 (23)
静岡県	54 (11)	42 (12)	12 (11)	0 (9)	393 (10)	877 (9)	1,324 (9)
愛知県	98 (8)	83 (7)	15 (6)	0 (9)	709 (6)	1,468 (4)	2,275 (5)
三重県	12 (28)	7 (30)	5 (21)	0 (9)	33 (40)	348 (16)	393 (21)
滋賀県	8 (40)	5 (40)	3 (28)	0 (9)	44 (38)	189 (28)	241 (33)
京都府	118 (6)	105 (6)	13 (9)	0 (9)	578 (8)	481 (12)	1,177 (11)
大阪府	193 (2)	147 (2)	44 (1)	2 (3)	2,083 (2)	2,447 (1)	4,723 (2)
兵庫県	159 (4)	145 (3)	14 (8)	0 (9)	667 (7)	979 (8)	1,805 (7)
奈良県	11 (30)	10 (24)	1 (41)	0 (9)	46 (36)	235 (22)	292 (28)
和歌山県	8 (40)	6 (34)	2 (35)	0 (9)	55 (32)	149 (33)	212 (37)
鳥取県	5 (44)	4 (42)	1 (41)	0 (9)	22 (43)	43 (47)	70 (45)
島根県	3 (47)	3 (46)	0 (44)	0 (9)	11 (47)	50 (44)	64 (47)
岡山県	17 (22)	11 (22)	6 (18)	0 (9)	124 (19)	364 (15)	505 (15)
広島県	49 (13)	38 (13)	11 (12)	0 (9)	357 (12)	468 (13)	874 (12)
山口県	31 (15)	25 (15)	6 (18)	0 (9)	107 (20)	171 (30)	309 (27)
徳島県	10 (32)	8 (28)	2 (35)	0 (9)	56 (31)	102 (41)	168 (39)
香川県	9 (35)	5 (40)	3 (28)	1 (6)	107 (20)	238 (21)	354 (25)
愛媛県	10 (32)	9 (26)	1 (41)	0 (9)	84 (24)	190 (27)	284 (29)
高知県	9 (35)	7 (30)	2 (35)	0 (9)	53 (33)	60 (43)	122 (43)
福岡県	171 (3)	141 (4)	30 (3)	0 (9)	1,505 (3)	1,204 (6)	2,880 (3)
佐賀県	9 (35)	6 (34)	3 (28)	0 (9)	66 (29)	208 (26)	283 (30)
長崎県	48 (14)	45 (10)	3 (28)	0 (9)	222 (14)	139 (34)	409 (20)
熊本県	29 (16)	23 (16)	6 (18)	0 (9)	158 (16)	228 (25)	415 (19)
大分県	9 (35)	6 (34)	3 (28)	0 (9)	98 (23)	131 (36)	238 (34)
宮崎県	16 (23)	14 (21)	2 (35)	0 (9)	143 (18)	157 (31)	316 (26)
鹿児島県	54 (11)	45 (10)	9 (13)	0 (9)	153 (17)	234 (23)	441 (17)
沖縄県	25 (19)	23 (16)	2 (35)	0 (9)	367 (11)	49 (45)	441 (17)
計	1,972	1,578	374	20	16,113	21,564	39,649

注1：数値横のカッコ内は順位

注2：都道府県合計には、不明を含む

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(2) 事故に関わる営業所の位置（都道府県）別の交通死亡事故件数

表 24 事故に関わる営業所の位置（都道府県）別の交通死亡事故件数（件）（平成26年）

都道府県	事業の種類				タクシー	トラック	計
	バス	乗合	貸切	その他			
北海道	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	1 (9)	13 (9)	14 (10)
青森県	1 (5)	0 (10)	1 (1)	0 (1)	0 (19)	3 (34)	4 (28)
岩手県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	0 (19)	4 (25)	4 (28)
宮城県	1 (5)	1 (5)	0 (4)	0 (1)	0 (19)	7 (18)	8 (16)
秋田県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	0 (19)	0 (46)	0 (47)
山形県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	0 (19)	4 (25)	4 (28)
福島県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	0 (19)	9 (12)	9 (13)
茨城県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	0 (19)	8 (15)	8 (16)
栃木県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	0 (19)	4 (25)	4 (28)
群馬県	1 (5)	0 (10)	1 (1)	0 (1)	0 (19)	8 (15)	9 (13)
埼玉県	1 (5)	1 (5)	0 (4)	0 (1)	2 (7)	27 (1)	30 (1)
千葉県	2 (2)	2 (2)	0 (4)	0 (1)	1 (9)	21 (3)	24 (4)
東京都	3 (1)	3 (1)	0 (4)	0 (1)	6 (1)	15 (6)	24 (4)
神奈川県	2 (2)	2 (2)	0 (4)	0 (1)	6 (1)	19 (4)	27 (3)
新潟県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	0 (19)	8 (15)	8 (16)
富山県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	0 (19)	4 (25)	4 (28)
石川県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	0 (19)	5 (24)	5 (25)
福井県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	0 (19)	3 (34)	3 (39)
山梨県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	0 (19)	4 (25)	4 (28)
長野県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	0 (19)	6 (20)	6 (22)
岐阜県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	0 (19)	4 (25)	4 (28)
静岡県	1 (5)	1 (5)	0 (4)	0 (1)	1 (9)	11 (11)	13 (11)
愛知県	1 (5)	1 (5)	0 (4)	0 (1)	0 (19)	18 (5)	19 (6)
三重県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	0 (19)	9 (12)	9 (13)
滋賀県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	0 (19)	3 (34)	3 (39)
京都府	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	1 (9)	9 (12)	10 (12)
大阪府	1 (5)	0 (10)	1 (1)	0 (1)	4 (3)	24 (2)	29 (2)
兵庫県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	1 (9)	14 (8)	15 (8)
奈良県	1 (5)	1 (5)	0 (4)	0 (1)	0 (19)	4 (25)	5 (25)
和歌山県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	0 (19)	4 (25)	4 (28)
鳥取県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	1 (9)	3 (34)	4 (28)
島根県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	0 (19)	1 (42)	1 (43)
岡山県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	0 (19)	6 (20)	6 (22)
広島県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	3 (5)	12 (10)	15 (8)
山口県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	3 (5)	3 (34)	6 (22)
徳島県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	0 (19)	3 (34)	3 (39)
香川県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	0 (19)	7 (18)	7 (19)
愛媛県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	1 (9)	6 (20)	7 (19)
高知県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	1 (9)	1 (42)	2 (42)
福岡県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	4 (3)	15 (6)	19 (6)
佐賀県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	1 (9)	6 (20)	7 (19)
長崎県	2 (2)	2 (2)	0 (4)	0 (1)	0 (19)	3 (34)	5 (25)
熊本県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	0 (19)	1 (42)	1 (43)
大分県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	1 (9)	0 (46)	1 (43)
宮崎県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	2 (7)	2 (41)	4 (28)
鹿児島県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	0 (19)	4 (25)	4 (28)
沖縄県	0 (13)	0 (10)	0 (4)	0 (1)	0 (19)	1 (42)	1 (43)
計	17	14	3	0	42	349	408

注 1：数値横のカッコ内は順位

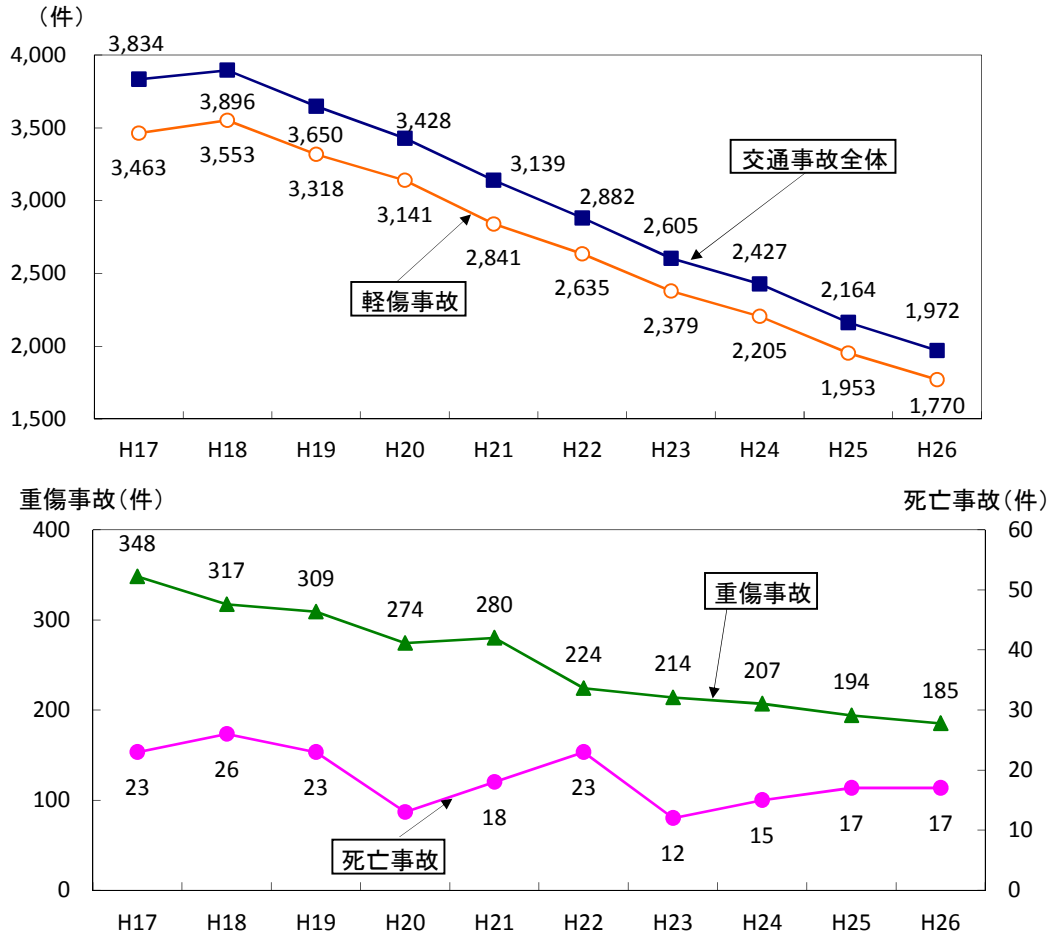
注 2：都道府県合計には、不明を含む

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

2. バスの事故

(1) バスの事故件数、死傷事故件数の推移

バスによる事故は、平成 18 年まで増加傾向にあったが、それ以降は減少している。重傷事故件数は平成 22 年以降減少、軽傷事故件数は平成 19 年以降減少しているが、死亡事故件数は 12～26 件の間で推移しており、減少傾向は見られない。



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 24 バスの全事故及び死傷事故件数の推移

表 25 バスの事故件数の推移（件）

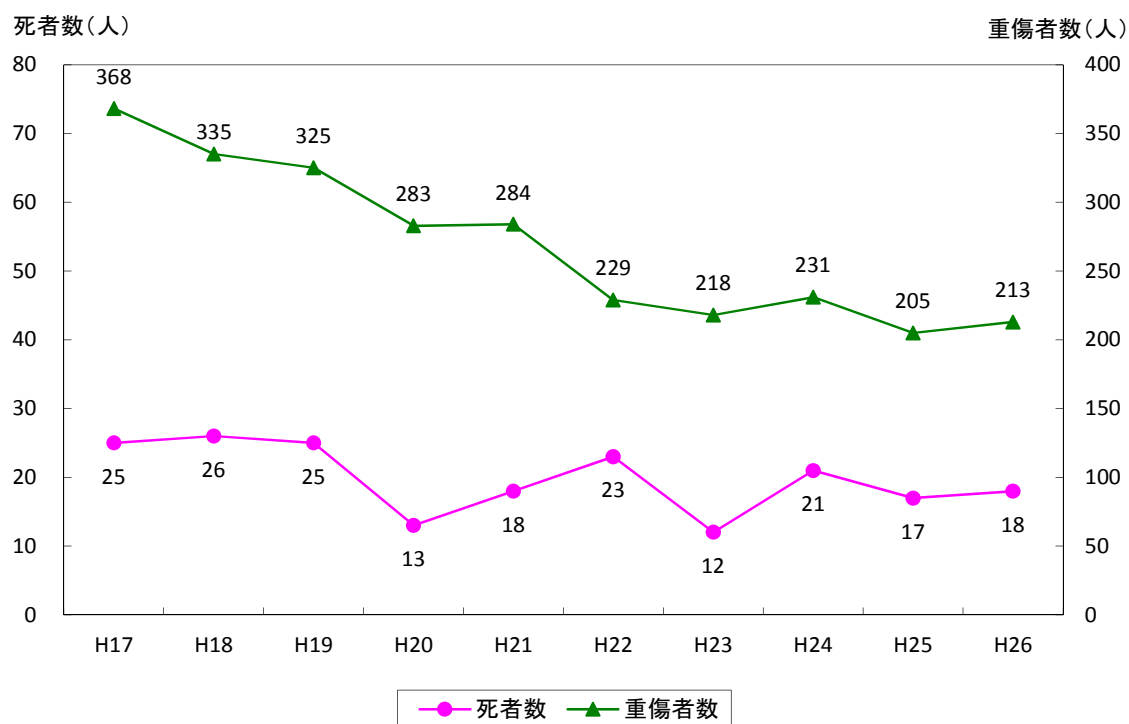
年	死亡事故	重傷事故	軽傷事故	交通事故全体
H17	23	348	3,463	3,834
H18	26	317	3,553	3,896
H19	23	309	3,318	3,650
H20	13	274	3,141	3,428
H21	18	280	2,841	3,139
H22	23	224	2,635	2,882
H23	12	214	2,379	2,605
H24	15	207	2,205	2,427
H25	17	194	1,953	2,164
H26	17	185	1,770	1,972

（バス種別区分の乗合、貸切、その他の合計値を示す。）

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(2) バス事故の死傷者数の推移

バスの事故による死者数は、12～26件で推移している。重傷者数は、最近10年間では約4割減少した。



出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 25 バス事故の死傷者数の推移

表 26 バスの死傷者数の推移(人)

年 \ 区分	死者数	重傷者数	軽傷者数	死傷者合計
H17	25	368	4,412	4,805
H18	26	335	4,689	5,050
H19	25	325	4,256	4,606
H20	13	283	3,951	4,247
H21	18	284	3,517	3,819
H22	23	229	3,300	3,552
H23	12	218	3,090	3,320
H24	21	231	2,831	3,083
H25	17	205	2,650	2,872
H26	18	213	2,355	2,586

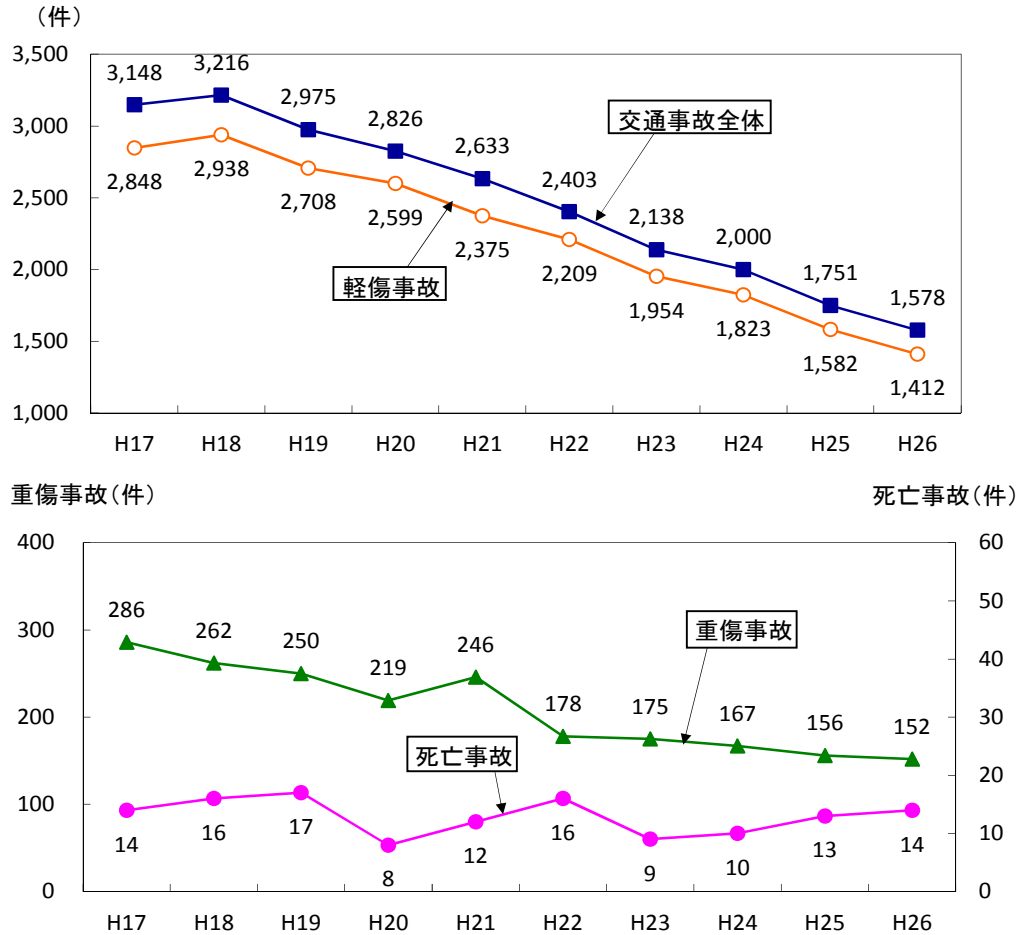
(バス種別区分の乗合、貸切、その他の合計値を示す。)

出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

2-1. 乗合バスの事故

(1) 乗合バスの事故件数、死傷事故件数の推移

乗合バスによる事故は、平成 19 年以降は減少傾向にあり、重傷事故件数は平成 23 年以降、対前年の減少幅が縮小、死亡事故件数は 8～17 件の間で推移しており、大きな変化はない。



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 26 乗合バスの全事故及び死傷事故件数の推移

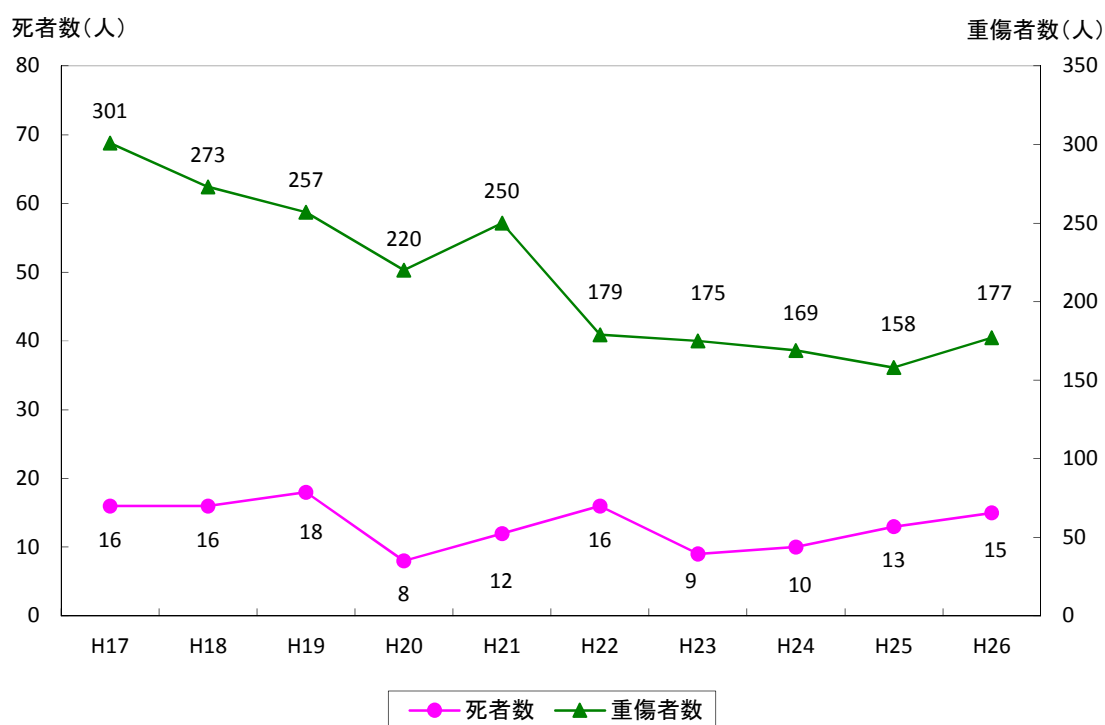
表 27 乗合バスの事故件数の推移（件）

年	死亡事故	重傷事故	軽傷事故	交通事故全体
H17	14	286	2,848	3,148
H18	16	262	2,938	3,216
H19	17	250	2,708	2,975
H20	8	219	2,599	2,826
H21	12	246	2,375	2,633
H22	16	178	2,209	2,403
H23	9	175	1,954	2,138
H24	10	167	1,823	2,000
H25	13	156	1,582	1,751
H26	14	152	1,412	1,578

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(2) 乗合バス事故の死傷者数の推移

平成26年の乗合バスの事故のうち重傷者数は前年より増加、死者数は平成24年以降増加している。



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 27 乗合バス事故の死傷者数の推移

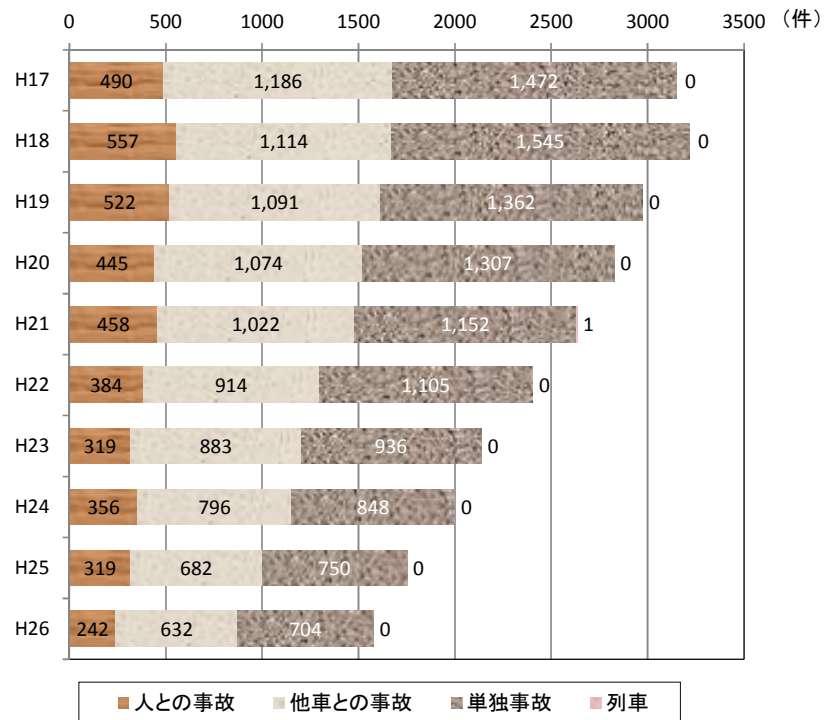
表 28 乗合バス事故の死傷者数の推移（人）

年	区分	死者数	重傷者数	軽傷者数	死傷者合計
H17		16	301	3,419	3,736
H18		16	273	3,562	3,851
H19		18	257	3,188	3,463
H20		8	220	3,043	3,271
H21		12	250	2,821	3,083
H22		16	179	2,653	2,848
H23		9	175	2,326	2,510
H24		10	169	2,139	2,318
H25		13	158	1,895	2,066
H26		15	177	1,741	1,933

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

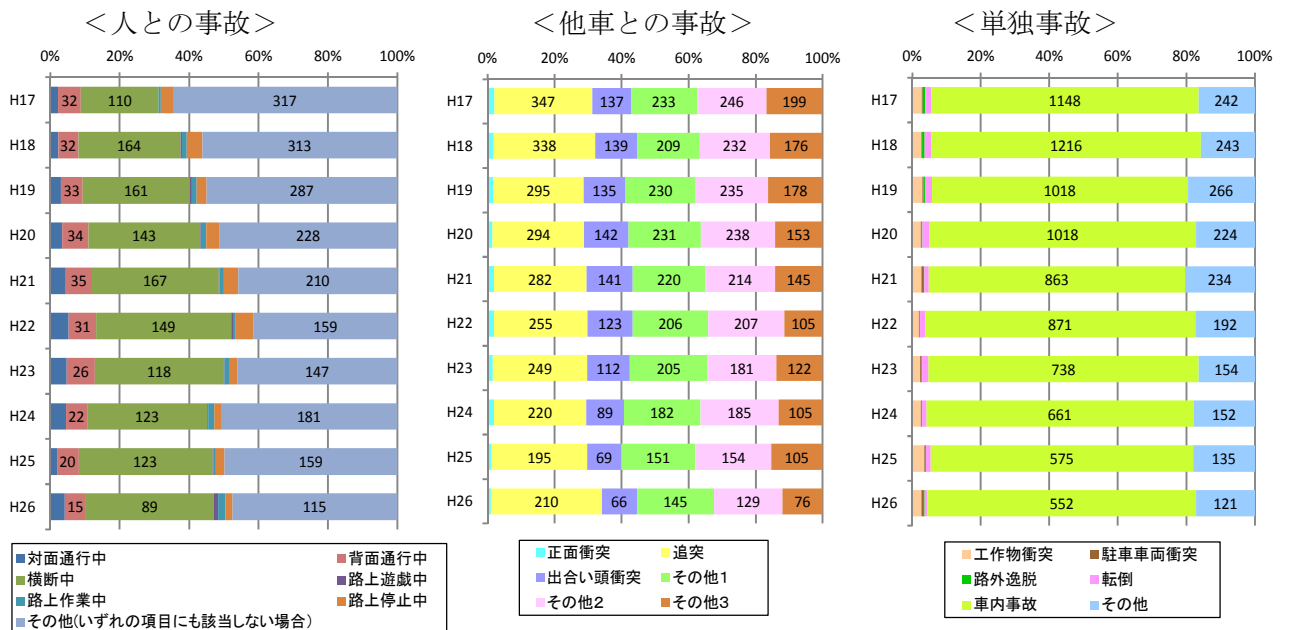
(3) 乗合バスの事故類型別事故件数

乗合バスは単独事故が最も多く、そのうち車内事故が大半を占めている。次いで他車との事故が多い。



出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 28 乗合バスの事故類型別事故件数



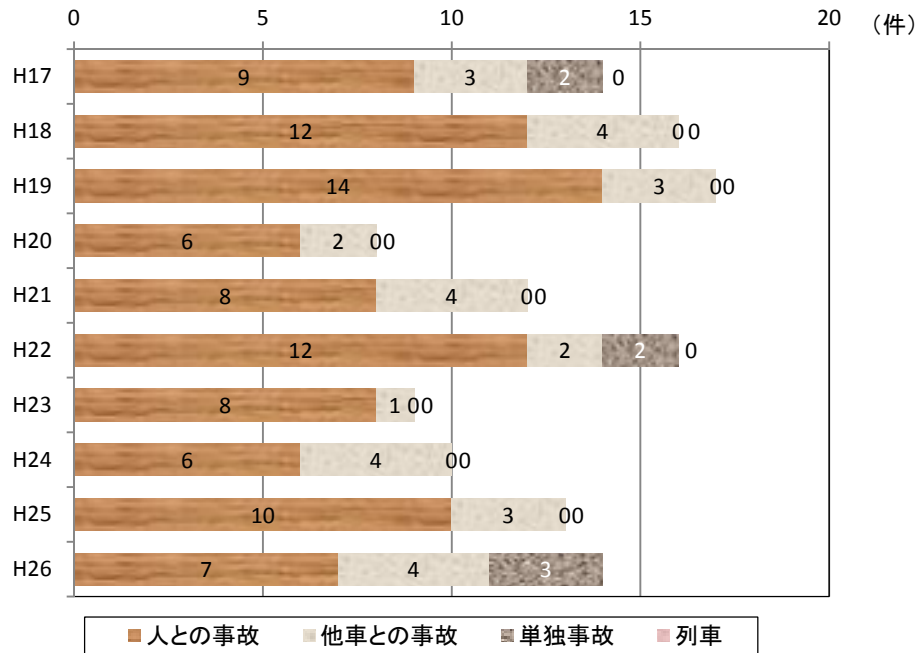
その他1・・・追越・追抜時衝突、進路変更時衝突
 その他2・・・すれ違い時衝突、左折衝突、右折時衝突
 その他3・・・横断時衝突、転回時衝突、後退時衝突、その他

出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故」

図 29 乗合バスの事故類型別事故件数の内訳

(4) 乗合バスの事故類型別死亡事故件数

事故類型別死亡事故件数は、人との事故が最も多く、次いで他車との事故が多い。

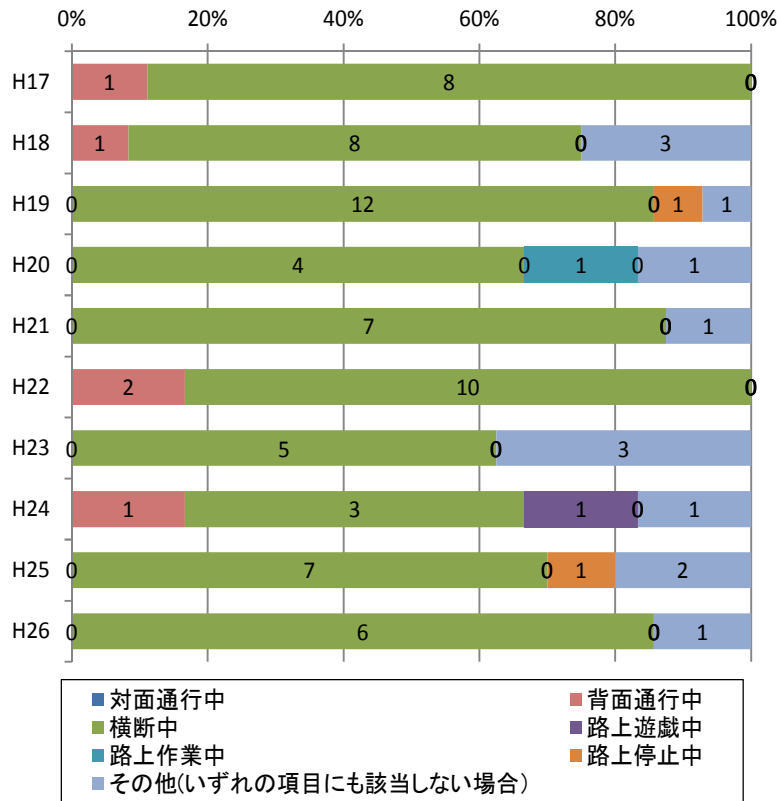


出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 30 乗合バスの事故類型別死亡事故件数

(5) 乗合バスの事故類型別死亡事故件数の内訳 (人との事故)

人との死亡事故は、歩行者が横断中に発生する件数が多い。



出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 31 乗合バスの事故類型別死亡事故件数の内訳 (人との事故)

(6) 乗合バスの事故類型別死亡事故件数の内訳（他車との事故）

他車との死亡事故は、平成 17 年以降は死亡事故件数 2～4 件にとどまっている。

表 29 乗合バスの事故類型別死亡事故件数の内訳（件）（他車との事故）

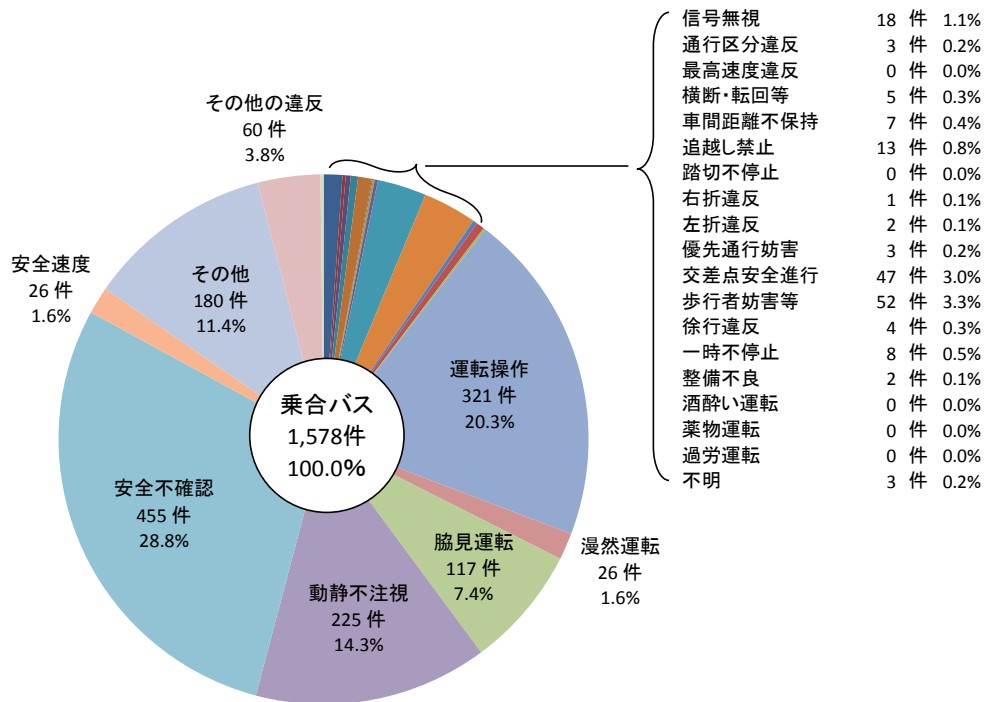
年	区分	正面衝突	追突	出合い頭衝突	その他1	その他2	その他3
H17		0	0	0	0	2	1
H18		0	0	0	1	1	2
H19		0	0	0	1	0	2
H20		0	0	0	1	1	0
H21		0	0	1	2	0	1
H22		0	0	0	1	1	0
H23		0	0	1	0	0	0
H24		1	0	2	0	1	0
H25		0	0	1	0	2	0
H26		0	1	1	0	2	0

その他1・・・追越・追抜時衝突、進路変更時衝突
 その他2・・・すれ違い時衝突、左折衝突、右折時衝突
 その他3・・・横断時衝突、転回時衝突、後退時衝突、その他

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故」

(7) 乗合バスの事故の法令違反別の事故件数の割合

乗合バスでは、「安全不確認」（28.8%）、「運転操作」（20.3%）、「動静不注視」（14.3%）といった法令違反の事故が多い。「運転操作」は車内事故発生の要因の一つと考えられる。

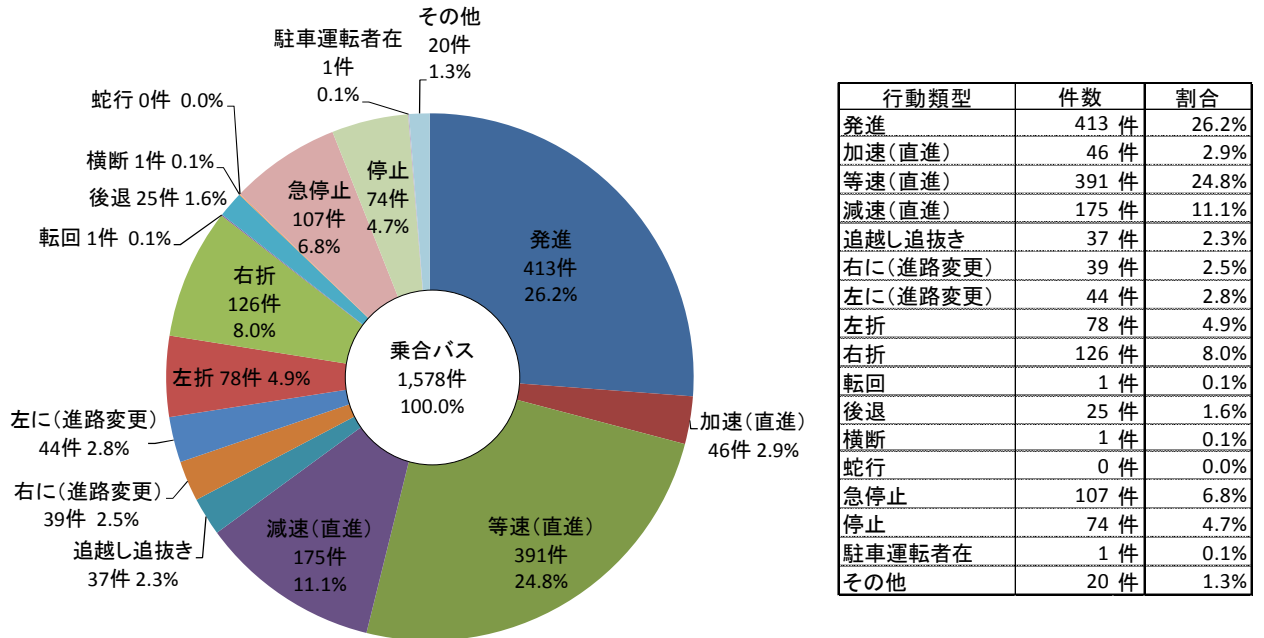


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 32 乗合バスの事故の法令違反別の事故件数の割合（平成26年）

(8) 乗合バスの行動類型別事故件数の割合

乗合バスの行動類型別事故の割合は、発進時(26.2%)が最も多く、次いで等速(24.8%)となっている。



出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 33 乗合バスの行動類型別事故件数の割合 (平成26年)

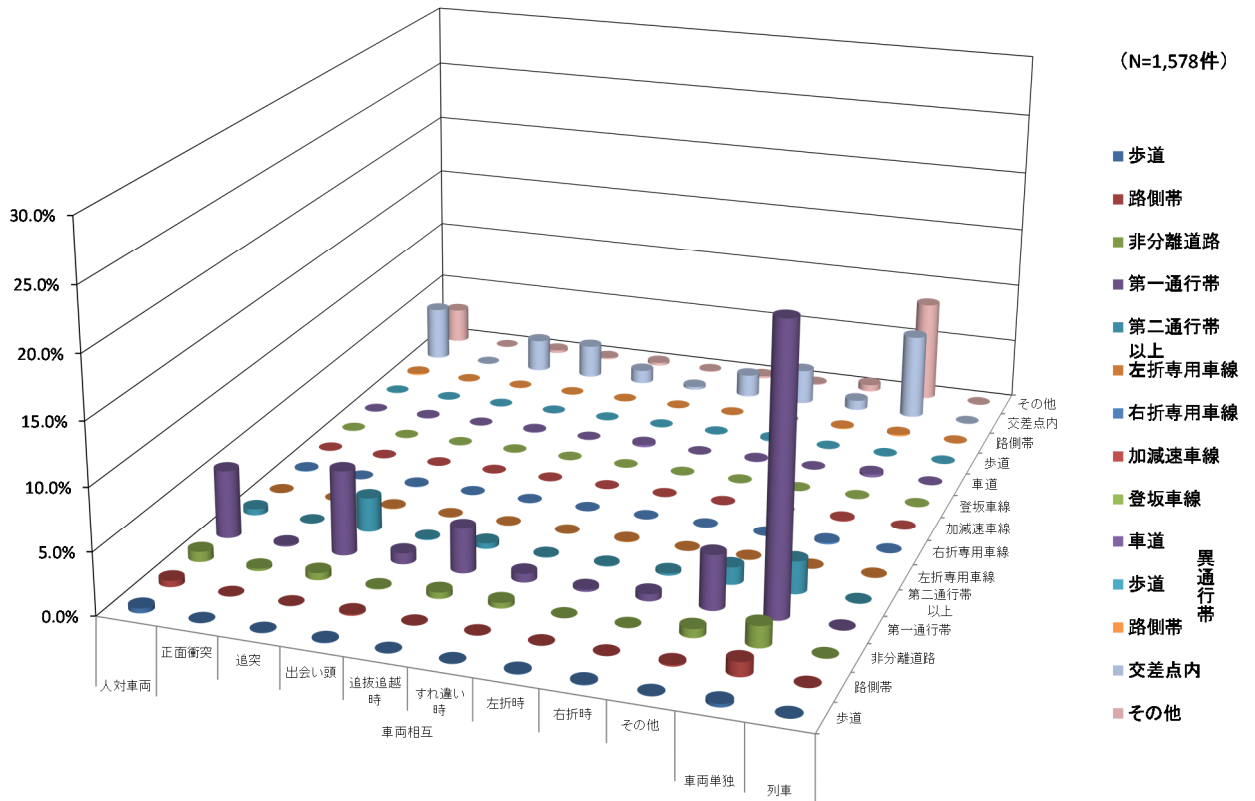
(9) 乗合バスの事故類型別、衝突地点別事故件数

乗合バスの事故類型別、衝突地点別事故件数を表30に、死亡事故件数を表31に示す。

表 30 乗合バスの事故類型別、衝突地点別事故件数 (件) (平成26年)

		バス											合計	
		乗合												
		人対車両	車両相互								車両単独	列車		
正面衝突	追突		出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他						
単路 (交差点付近を含む)	歩道	6	0	0	1	0	0	1	1	0	4	0	13	
	路側帯	8	0	0	2	0	0	0	0	2	18	0	30	
	非分離道路	13	3	9	1	8	7	0	0	11	27	0	79	
	第一通行帯	87	2	108	14	57	11	3	9	69	360	0	720	
	第二通行帯以上	8	0	44	1	7	1	1	3	22	41	0	128	
	左折専用車線	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	
	右折専用車線	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	4	
	加減速車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
	登坂車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	異通行帯	車道	0	1	0	1	0	3	0	1	0	4	0	10
		歩道	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
		路側帯	2	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	5
交差点内		71	0	43	44	18	4	30	46	13	112	0	381	
その他		46	0	4	2	4	1	3	1	9	133	0	203	
合計		242	6	210	66	94	27	39	63	127	704	0	1,578	

出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」



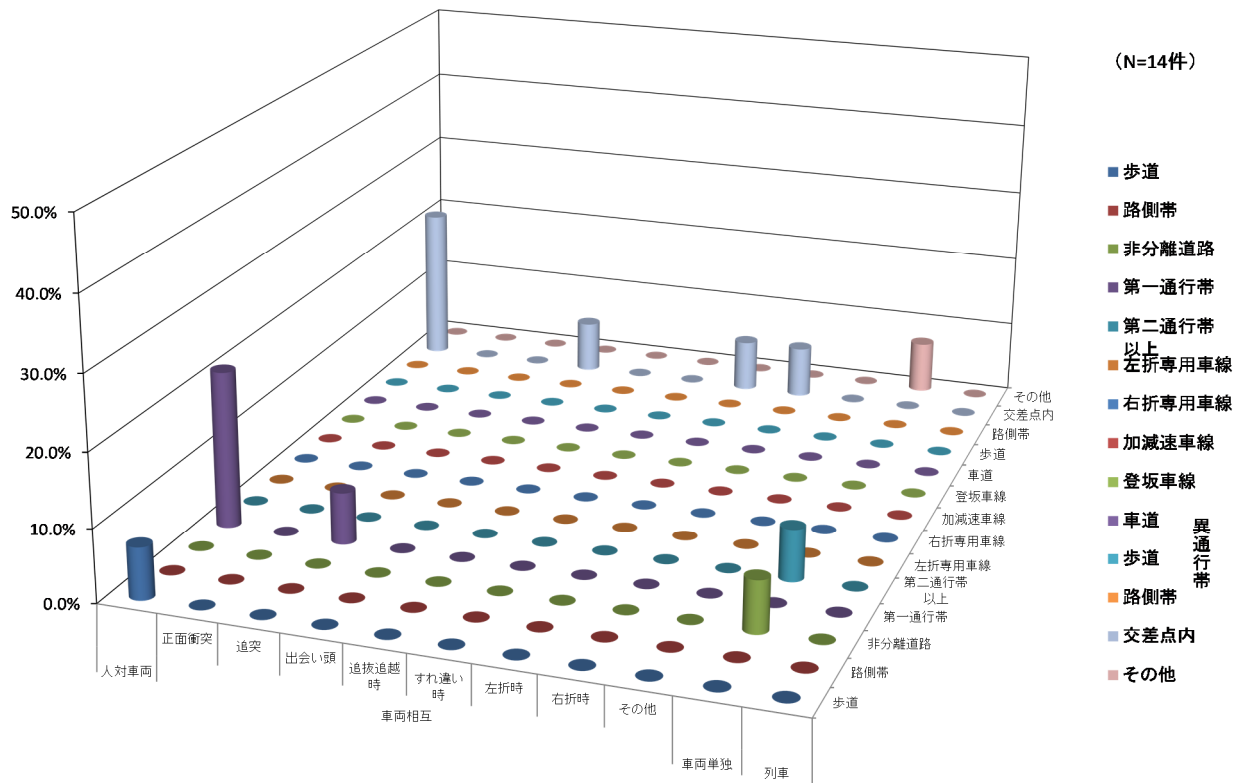
出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 34 乗合バスの事故類型別、衝突地点別事故件数の構成比 (%) (平成26年)

表 31 乗合バスの事故類型別、衝突地点別死亡事故件数（件）（平成26年）

		バス											合計		
		乗合													
		人対車両	車両相互								車両単独	列車			
正面衝突	追突		出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他							
単路 (交差点付近を含む)	歩道	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	路側帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	非分離道路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
	第一通行帯	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	第二通行帯以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
	左折専用車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	右折専用車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	加減速車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	登坂車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	異通行帯	車道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		歩道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		路側帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	交差点内		3	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	6
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
合計		7	0	1	1	0	0	1	1	0	3	0	0	14	

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 35 乗合バスの事故類型別、衝突地点別死亡事故件数の構成比（%）（平成26年）

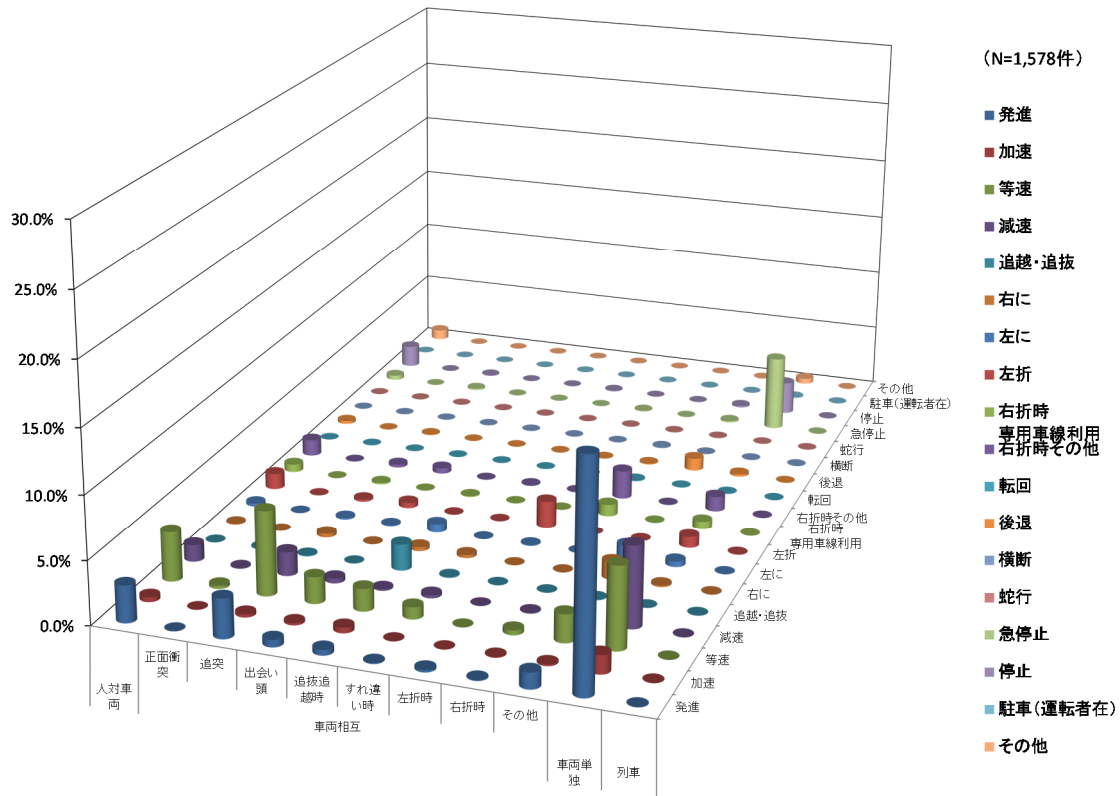
(10) 乗合バスの事故類型別、行動類型別事故件数

乗合バスの事故類型別、行動類型別事故件数を表32に、死亡事故件数を表33に示す。

表 32 乗合バスの事故類型別、行動類型別事故件数（件）（平成26年）

		バス											合計
		乗合											
		人対車両	車両相互								車両単独	列車	
正面衝突	追突		出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他					
発進		46	0	49	9	7	1	3	1	20	277	0	413
直進	加速	6	0	4	3	7	0	0	1	2	23	0	46
	等速	62	4	106	33	28	15	0	6	35	102	0	391
	減速	21	1	30	6	2	4	0	1	9	101	0	175
追越・追抜		0	1	1	0	33	1	0	0	1	0	0	37
進路変更	右に	1	0	5	0	5	4	0	0	22	2	0	39
	左に	4	0	2	1	11	0	1	0	18	7	0	44
左折		20	0	3	7	0	0	34	0	0	14	0	78
右折時	専用車線利用	10	0	2	0	1	0	0	15	0	10	0	38
	その他	21	0	4	7	0	1	0	36	0	19	0	88
転回		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
後退		4	0	1	0	0	0	0	1	16	3	0	25
横断		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
蛇行		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急停止		6	0	2	0	0	0	1	0	2	96	0	107
停止		28	0	1	0	0	1	0	0	2	42	0	74
駐車(運転者在)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
その他		13	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	20
合計		242	6	210	66	94	27	39	63	127	704	0	1,578

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」



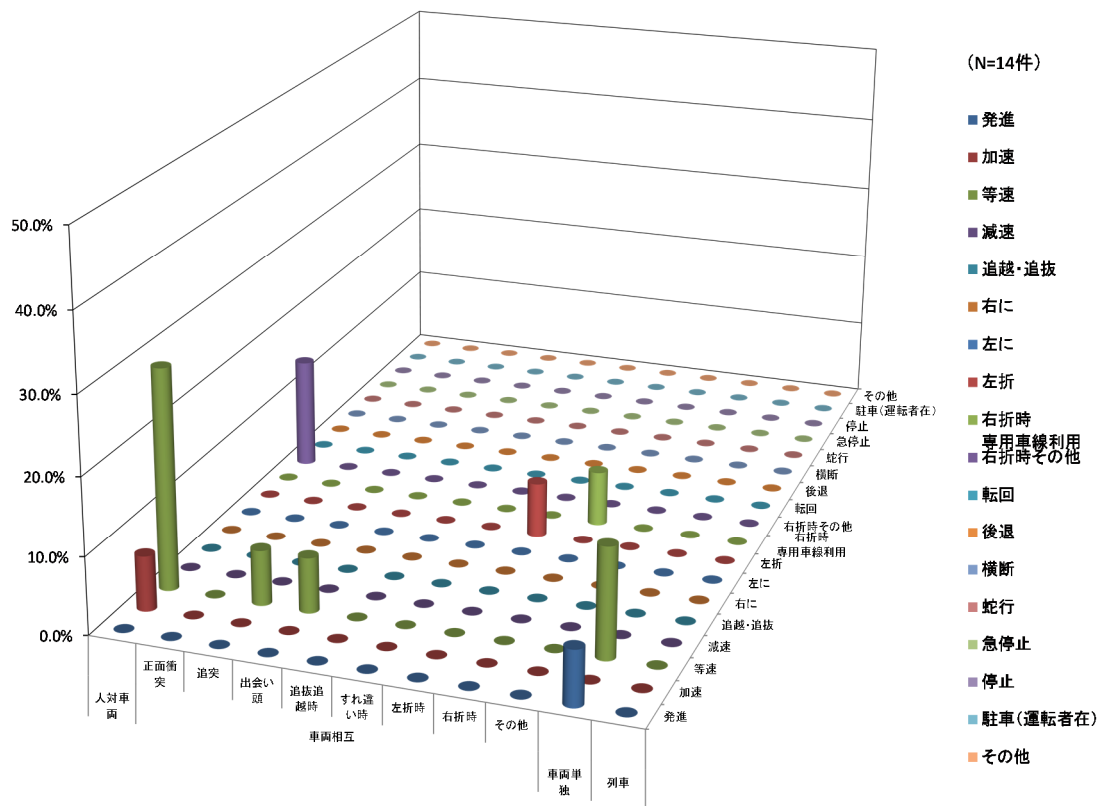
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 36 乗合バスの事故類型別、行動類型別事故件数の構成比（%）（平成26年）

表 33 乗合バスの事故類型別、行動類型別死亡事故件数（件）（平成26年）

		バス											
		乗合											
		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
正面衝突	追突		出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他					
発進		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
直進	加速	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	等速	4	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	8
	減速	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
追越・追抜		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
進路変更	右に	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	左に	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
左折		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
右折時	専用車線利用	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	その他	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
転回		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
後退		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横断		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
蛇行		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急停止		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
停止		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
駐車（運転者在）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		7	0	1	1	0	0	1	1	0	3	0	14

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 37 乗合バスの事故類型別、行動類型別死亡事故件数の構成比（%）（平成26年）

(11) 乗合バスの行動類型別、車内事故件数の推移

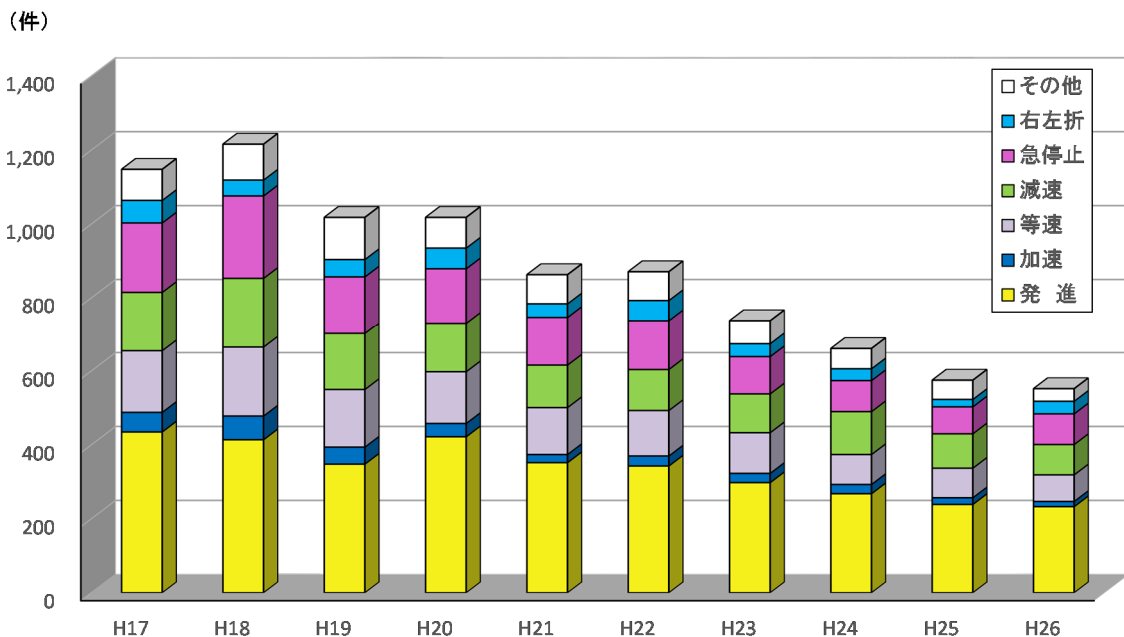
乗合バスの車内事故は、平成18年まで増加傾向にあったが、平成22年を除いて、それ以降は減少しており、平成26年は前年と比べて23件減少し、552件となり、ピーク時の平成18年から8年間で半数以下となったが、事故件数は依然深刻な事態であることを示している。

また、平成26年に発生した車内事故552件のうち、行動類型別にみると、発進時が最も多く233件（42.2%）となっており、次いで急停止時83件（15.0%）、減速時82件（14.8%）となっている。

表 34 乗合バスの行動類型別、車内事故件数の推移（件）

年		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
区分	発進	435	414	348	422	352	343	298	268	239	233
直進	加速	53	64	46	36	22	27	25	25	18	14
	等速	167	187	156	140	127	123	110	81	80	72
	減速	160	188	152	133	115	111	105	116	93	82
	急停止	188	223	155	148	131	134	101	84	73	83
	右左折	61	43	47	56	37	55	35	32	20	34
	その他	84	97	114	83	79	78	64	55	52	34
	合計	1,148	1,216	1,018	1,018	863	871	738	661	575	552

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 38 乗合バスの行動類型別、車内事故件数の推移

(12) 乗合バスの車内事故による重傷者数の推移

乗合バスの車内事故による重傷者数は、平成26年は前年と比べ増加している。

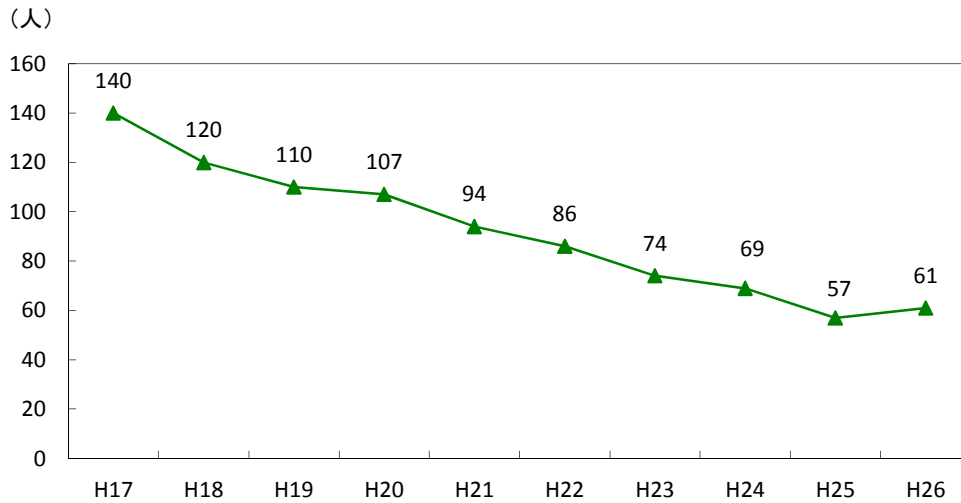
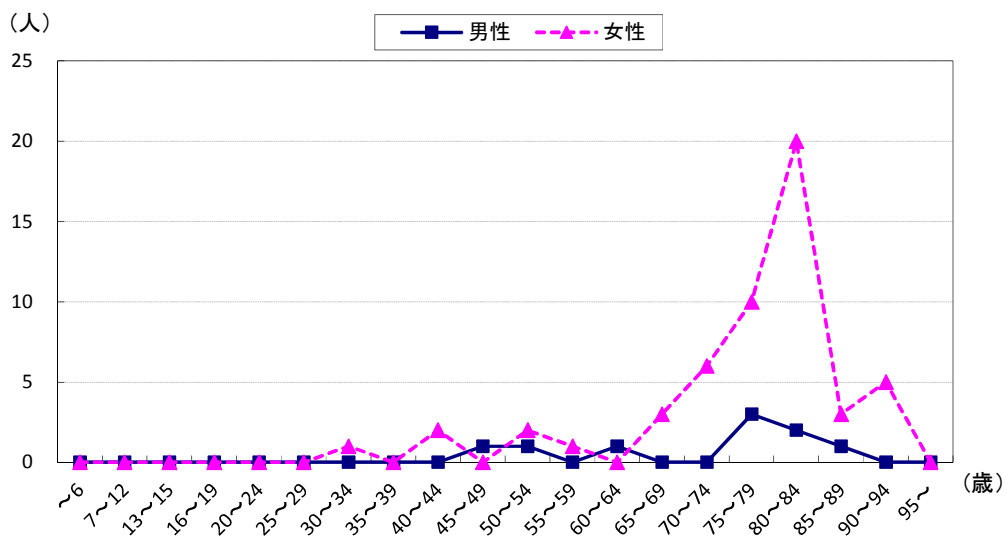


図 39 乗合バスの車内事故による重傷者数の推移

(13) 乗合バスの車内事故による重傷者数の男女別年齢分布

乗合バスの車内事故による重傷者を性・年齢別にみると、女性の80～84歳が20人と特に多くなっている。

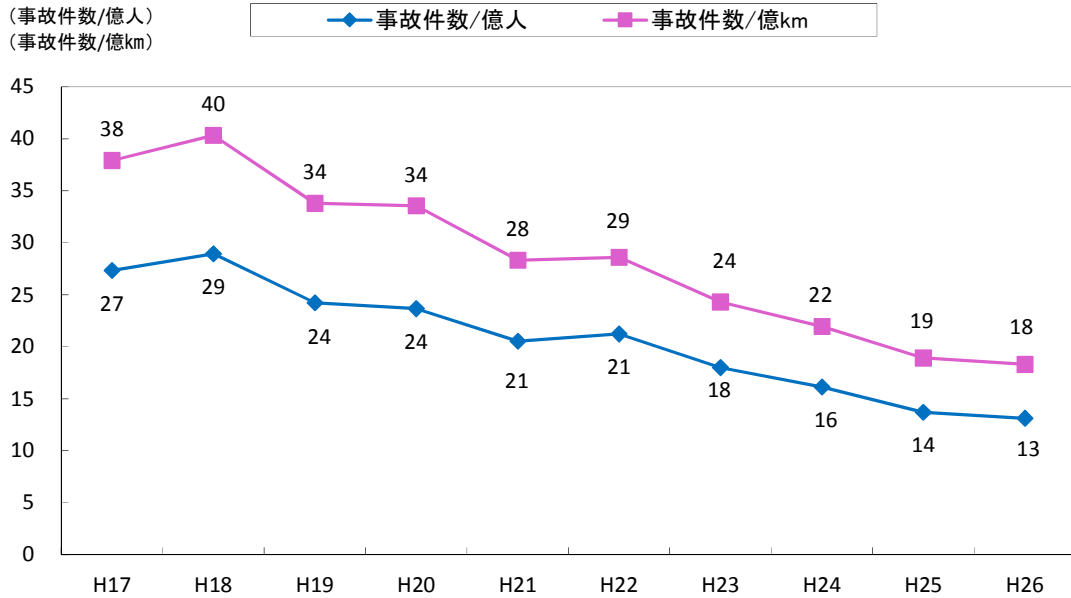


出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 40 乗合バスの車内事故による重傷者数の男女別年齢分布 (平成26年)

(14) 乗合バスの 輸送人員 1 億人あたり及び走行距離 1 億キロあたり車内事故件数

輸送人員 1 億人あたり及び走行距離 1 億キロあたり乗合バスの車内事故件数を見ると、乗合バスの輸送人員は平成18年までは増加傾向にあったが、それ以降は減少傾向である。走行距離は変化がないことから、車内事故件数と同等の傾向を示している。



出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

図 41 乗合バスの輸送人員 1 億人あたり及び走行距離 1 億キロあたり車内事故件数

表 35 乗合バスの車内事故件数、輸送人員及び走行距離の推移

	事故件数(件)	輸送人員(億人)	走行距離(億km)
H17	1,148	42	30
H18	1,216	42	30
H19	1,018	42	30
H20	1,018	43	30
H21	863	42	30
H22	871	41	30
H23	738	41	30
H24	661	41	30
H25	575	42	30
H26	552	42	30

出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

(15) 乗合バス車内事故件数の事故種類別時間帯分布

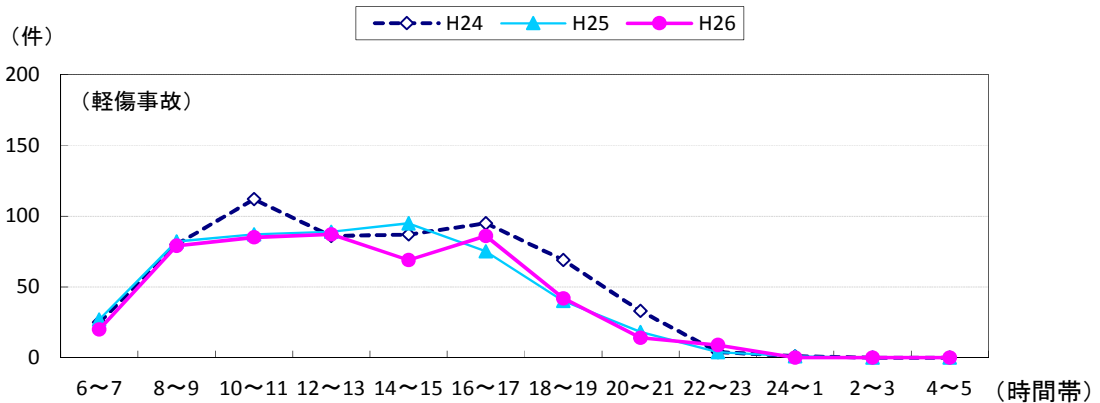
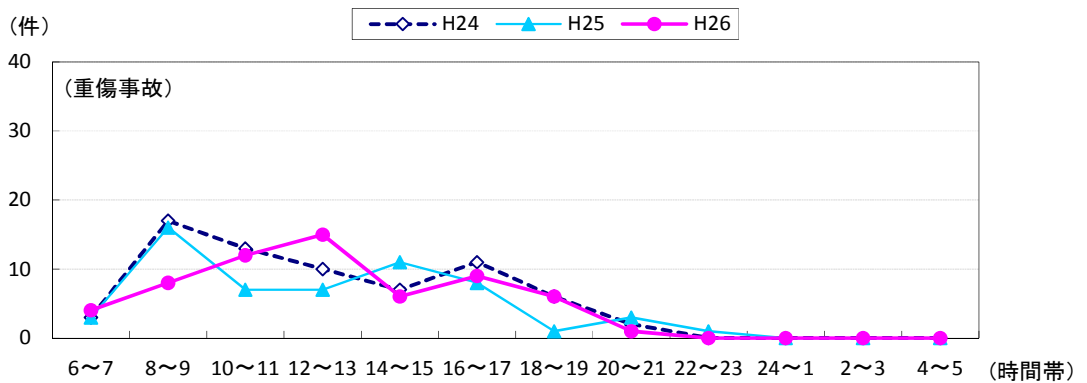
乗合バスの車内事故を時間帯別にみると、8時～17時台の日中の時間帯に多く発生している。

表 36 乗合バス車内事故件数の事故種類別時間帯分布（平成26年）

時間帯	重傷事故	軽傷事故	負傷事故計
6～7	4	20	24
8～9	8	79	87
10～11	12	85	97
12～13	15	87	102
14～15	6	69	75
16～17	9	86	95
18～19	6	42	48
20～21	1	14	15
22～23	0	9	9
24～1	0	0	0
2～3	0	0	0
4～5	0	0	0
合計	61	491	552

※運転者が負傷した事故を含む。

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 42 乗合バス車内事故件数の事故種類別時間帯分布

(16) 乗合バスの車内事故による事故種類別負傷者数の年齢分布

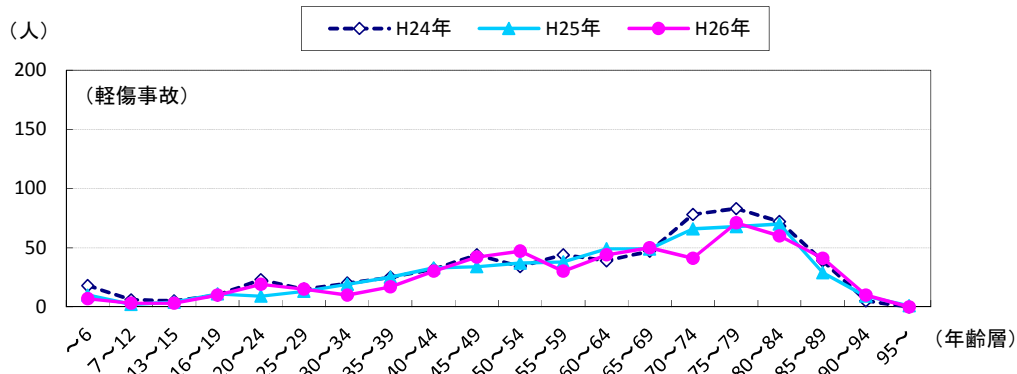
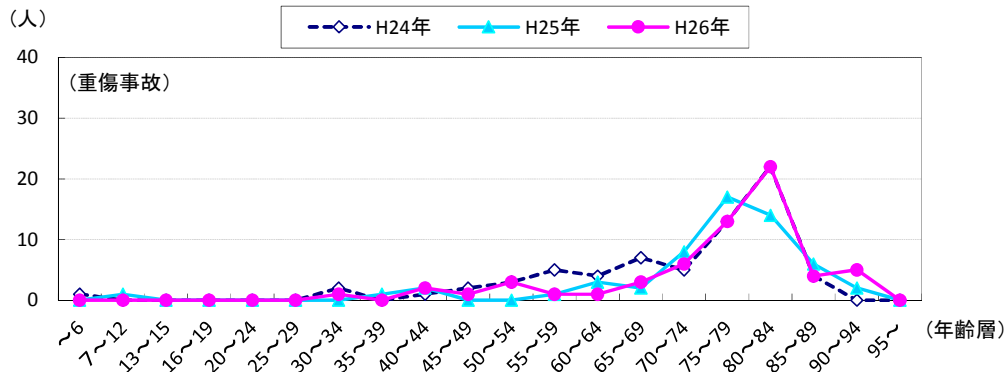
乗合バスの車内事故による負傷者を年齢層別にみると、75～79歳が最も多く、かつ、65歳以上が326人（53%）と高齢者が過半数を占めている。

さらに、重傷者では、60歳以上が62人中54人（87%）と高齢者の占める割合が顕著となっている。

表 37 乗合バスの車内事故による事故種類別負傷者数の年齢分布（人）（平成26年）

年齢層	重傷者数	軽傷者数	負傷者計
～ 6	0	7	7
7～12	0	3	3
13～15	0	3	3
16～19	0	10	10
20～24	0	19	19
25～29	0	15	15
30～34	1	10	11
35～39	0	17	17
40～44	2	30	32
45～49	1	42	43
50～54	3	47	50
55～59	1	30	31
60～64	1	44	45
65～69	3	50	53
70～74	6	41	47
75～79	13	71	84
80～84	22	60	82
85～89	4	41	45
90～94	5	10	15
95～	0	0	0
合計	62	550	612

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」



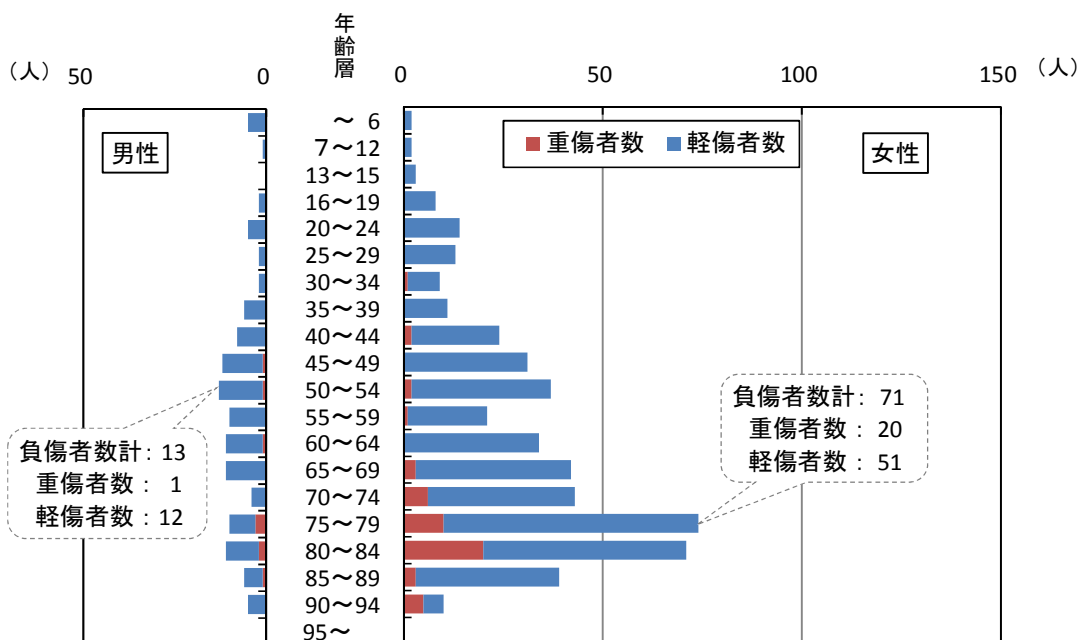
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 43 乗合バスの車内事故による事故種類別負傷者数の年齢分布

乗合バスの車内事故による負傷者を男女年齢層別に見ると男性は50～54歳が多く、65歳以上が47人（37.9%）と高齢者が多い傾向にある。

また、女性では75～79歳が最も多く（うち重傷者は10人）、65歳以上が279人（57.2%）と高齢者が過半数を占めている。

さらに、男性と女性を比べてみると、女性が男性の約4倍となっている。



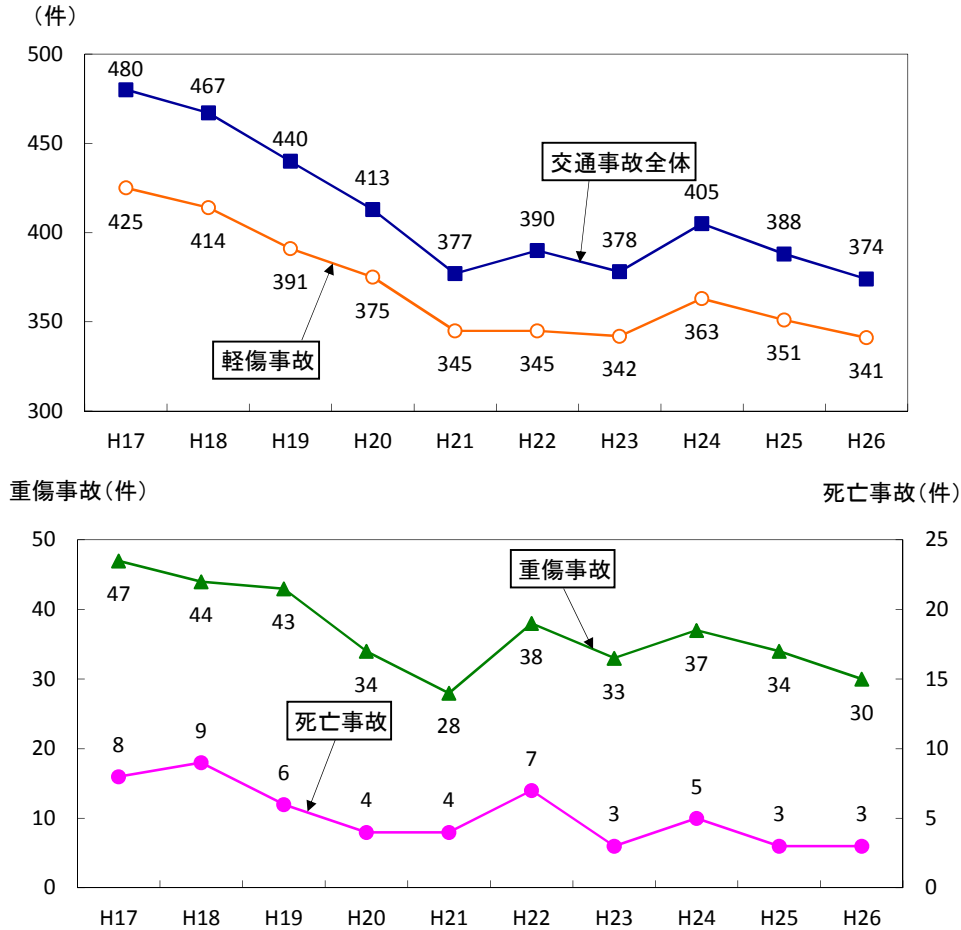
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 44 乗合バスの車内事故による男女別年齢層別負傷者数（平成26年）

2-2. 貸切バスの事故

(1) 貸切バスの事故件数、死傷事故件数の推移

平成21年以降の貸切バスによる事故は、平成24年を除いて374件～390件で推移している。重傷事故、死亡事故ともに平成21年以降、大きな変化はない。



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 45 貸切バスの全事故及び死傷事故件数の推移

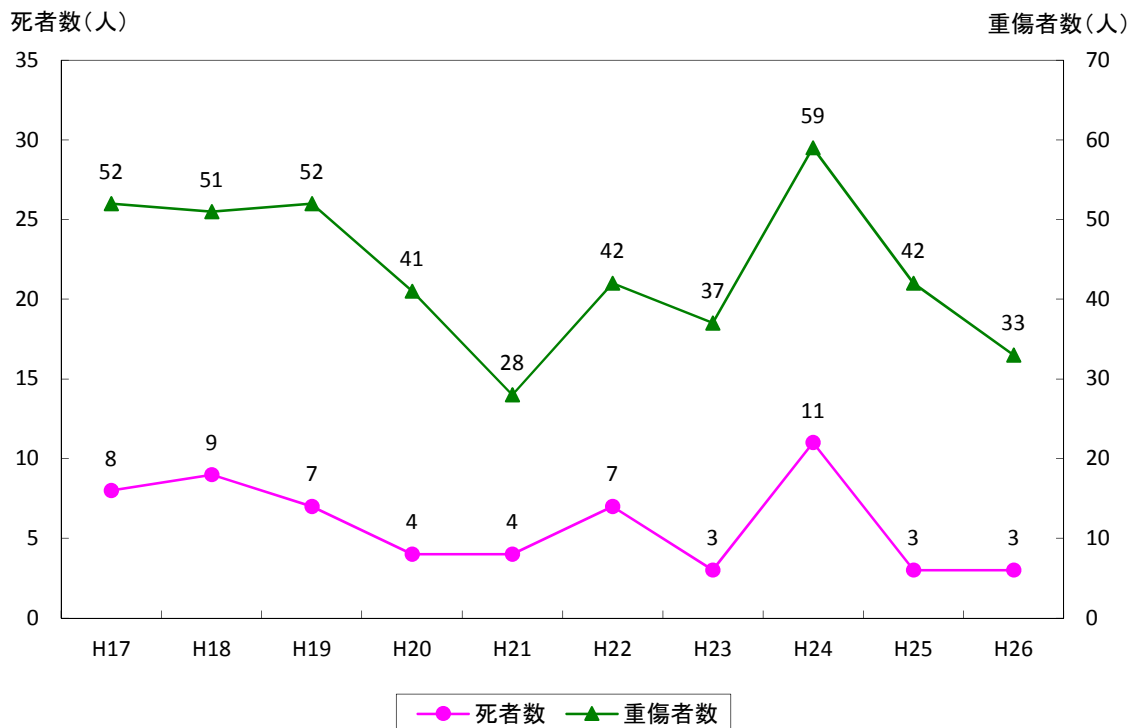
表 38 貸切バスの事故件数の推移（件）

年	区分	死亡事故	重傷事故	軽傷事故	交通事故全体
H17		8	47	425	480
H18		9	44	414	467
H19		6	43	391	440
H20		4	34	375	413
H21		4	28	345	377
H22		7	38	345	390
H23		3	33	342	378
H24		5	37	363	405
H25		3	34	351	388
H26		3	30	341	374

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(2) 貸切バス事故の死傷者数の推移

貸切バスの死傷者数は、平成24年に増加したが、平成26年の死者数は平成23年並みに、同重傷者数も平成23年並みに減少した。



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 46 貸切バス事故の死傷者数の推移

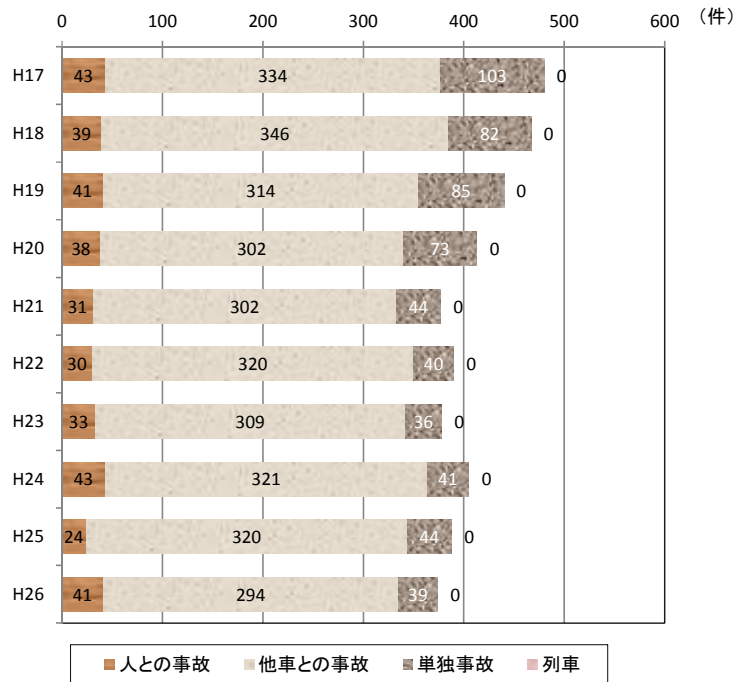
表 39 貸切バス事故の死傷者数の推移（人）

年	区分	死者数	重傷者数	軽傷者数	死傷者合計
H17		8	52	771	831
H18		9	51	852	912
H19		7	52	798	857
H20		4	41	698	743
H21		4	28	545	577
H22		7	42	555	604
H23		3	37	633	673
H24		11	59	655	725
H25		3	42	700	745
H26		3	33	587	623

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

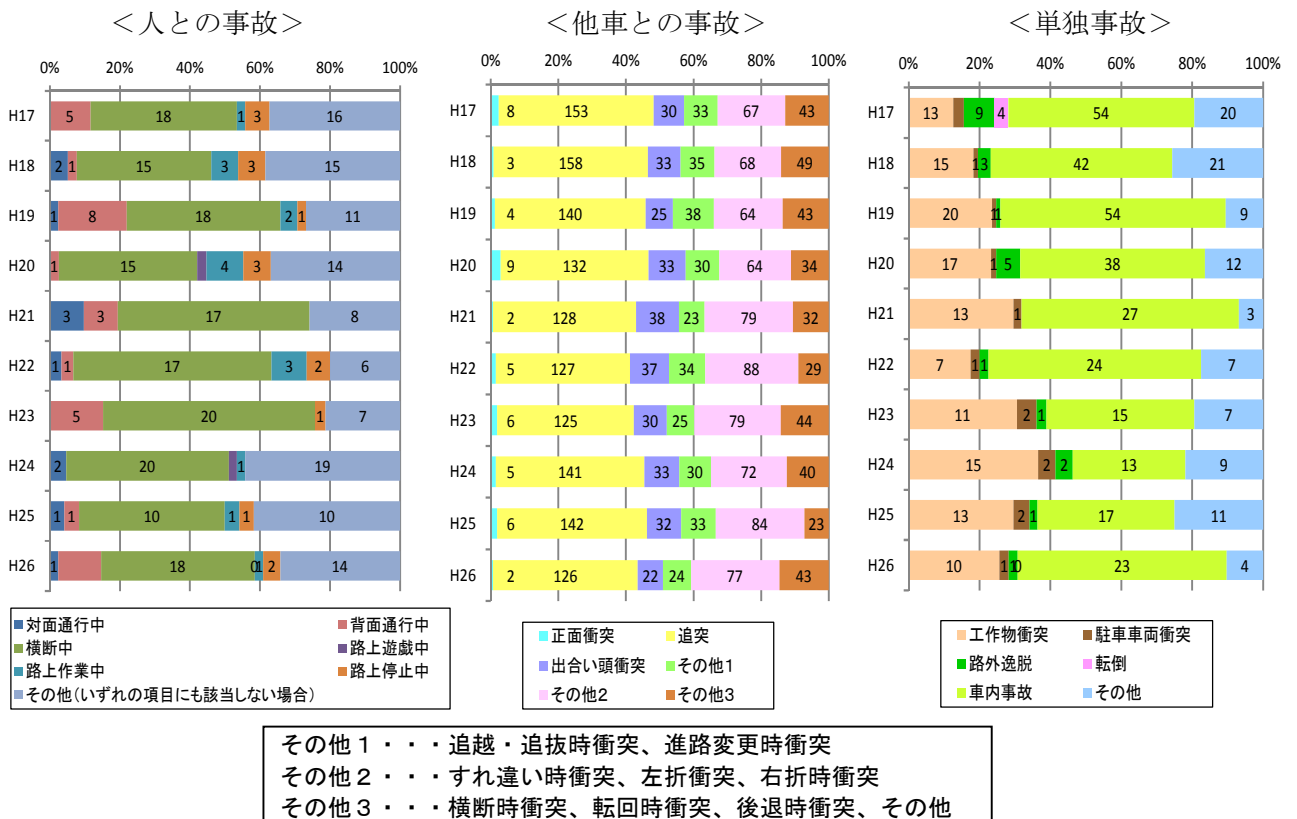
(3) 貸切バスの事故類型別事故件数

貸切バスは他車との事故が他の事故と比べ圧倒的に多く、そのうち追突事故が4割を超えている。



出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 47 貸切バスの事故類型別事故件数

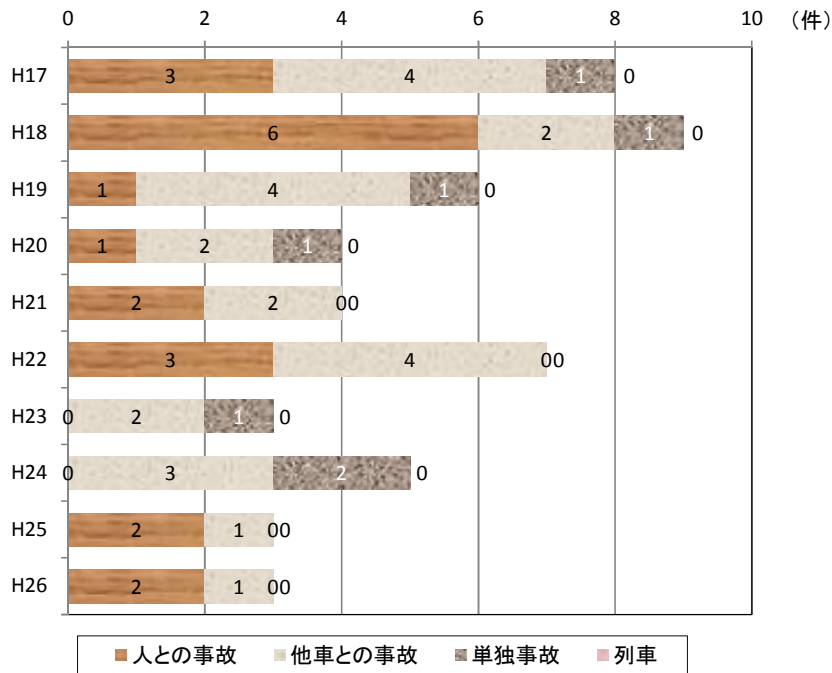


出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 48 貸切バスの事故類型別事故件数の内訳

(4) 貸切バスの事故類型別死亡事故件数

事故類型別死亡事故件数は、人との事故が2件、他車との事故が1件である。



出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 49 貸切バスの事故類型別死亡事故件数

(5) 貸切バスの事故類型別死亡事故件数の内訳（他車との事故）

他車との事故を事故類型別に内訳を見ると顕著な傾向はみられない。

表 40 貸切バスの事故類型別死亡事故件数の内訳（件）（他車との事故）

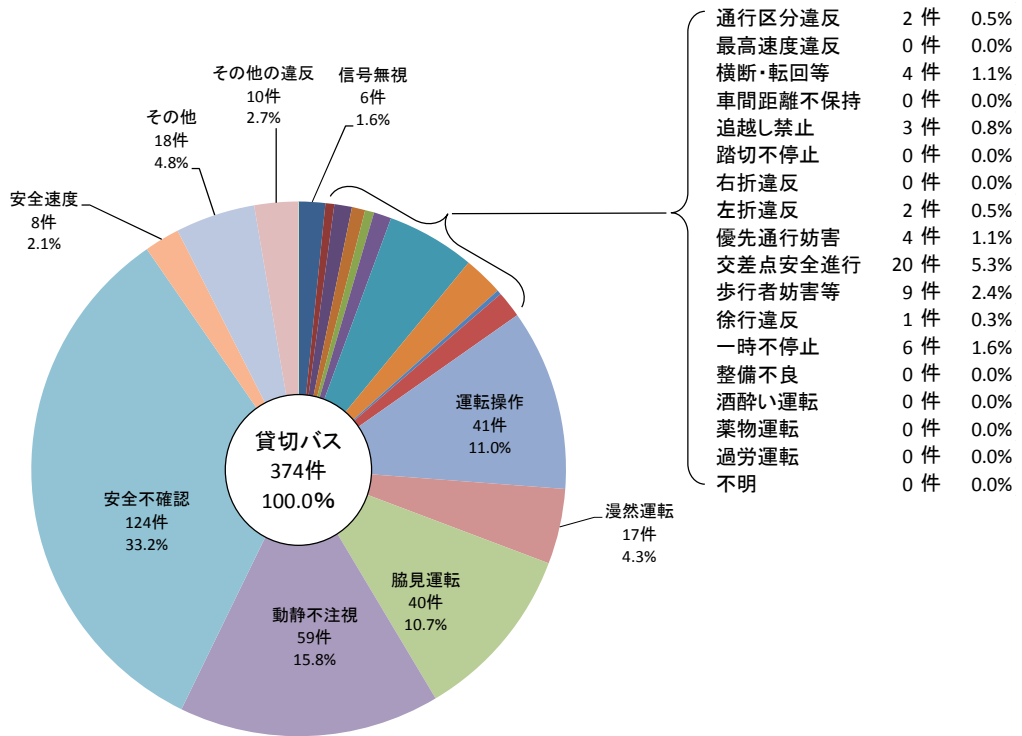
区分年	正面衝突	追突	出合い頭衝突	その他1	その他2	その他3
H17	1	1	1	1	0	0
H18	1	0	0	0	0	1
H19	0	1	1	2	0	0
H20	1	0	0	0	1	0
H21	0	0	1	0	1	0
H22	1	0	2	1	0	0
H23	0	1	1	0	0	0
H24	0	1	0	0	1	1
H25	0	1	0	0	0	0
H26	0	0	1	0	0	0

その他1・・・追越・追抜時衝突、進路変更時衝突
 その他2・・・すれ違い時衝突、左折衝突、右折時衝突
 その他3・・・横断時衝突、転回時衝突、後退時衝突、その他

出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(6) 貸切バスの事故の法令違反別の事故件数の割合

貸切バスでは、「安全不確認」(33.2%)、「動静不注視」(15.8%)、「運転操作」(11.0%)
といった法令違反の事故が多い。

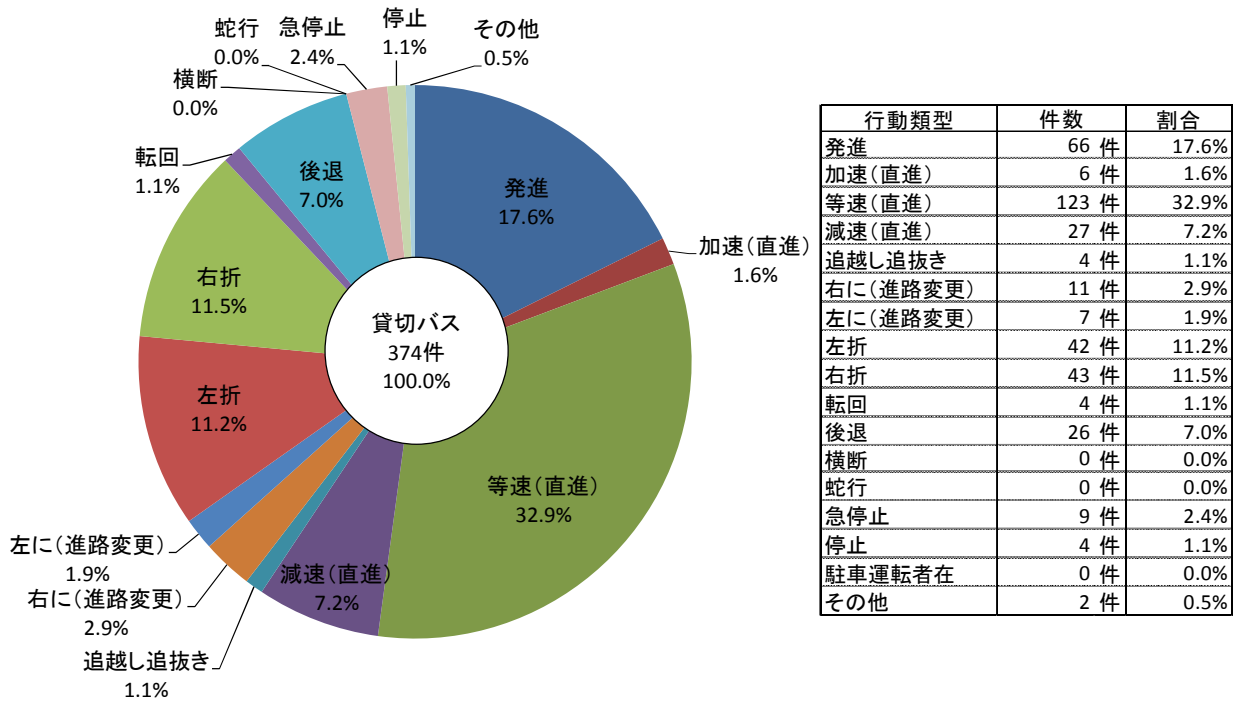


出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 50 貸切バスの事故の法令違反別の事故件数の割合 (平成26年)

(7) 貸切バスの行動類型別事故件数の割合

貸切バスの行動類型別事故の割合は、等速時（32.9%）が最も多い。



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 51 貸切バスの行動類型別事故件数の割合（平成26年）

(8) 貸切バスの事故類型別、衝突地点別事故件数

貸切バスの事故類型別、衝突地点別事故件数を表41に、死亡事故件数を表42に示す。

表 41 貸切バスの事故類型別、衝突地点別事故件数 (件) (平成26年)

		バス											合計	
		貸切												
		人対車両	車両相互								車両単独	列車		
正面衝突	追突		出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他						
単路 (交差点付近を含む)	歩道	1	0	0	0	0	0	4	0	0	1	0	6	
	路側帯	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4	
	非分離道路	4	0	2	0	0	3	0	0	2	0	0	11	
	第一通行帯	7	0	61	1	7	2	2	2	13	12	0	107	
	第二通行帯以上	2	0	37	0	3	0	0	0	10	3	0	55	
	左折専用車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	右折専用車線	0	0	4	0	0	0	0	1	0	0	0	5	
	加減速車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	登坂車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	異通行帯	車道	0	1	0	0	0	3	0	0	2	0	0	6
		歩道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		路側帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交差点内		15	1	18	21	1	3	22	29	13	7	0	130	
その他		10	0	4	0	1	4	2	0	15	14	0	50	
合計		41	2	126	22	12	15	30	32	55	39	0	374	

出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

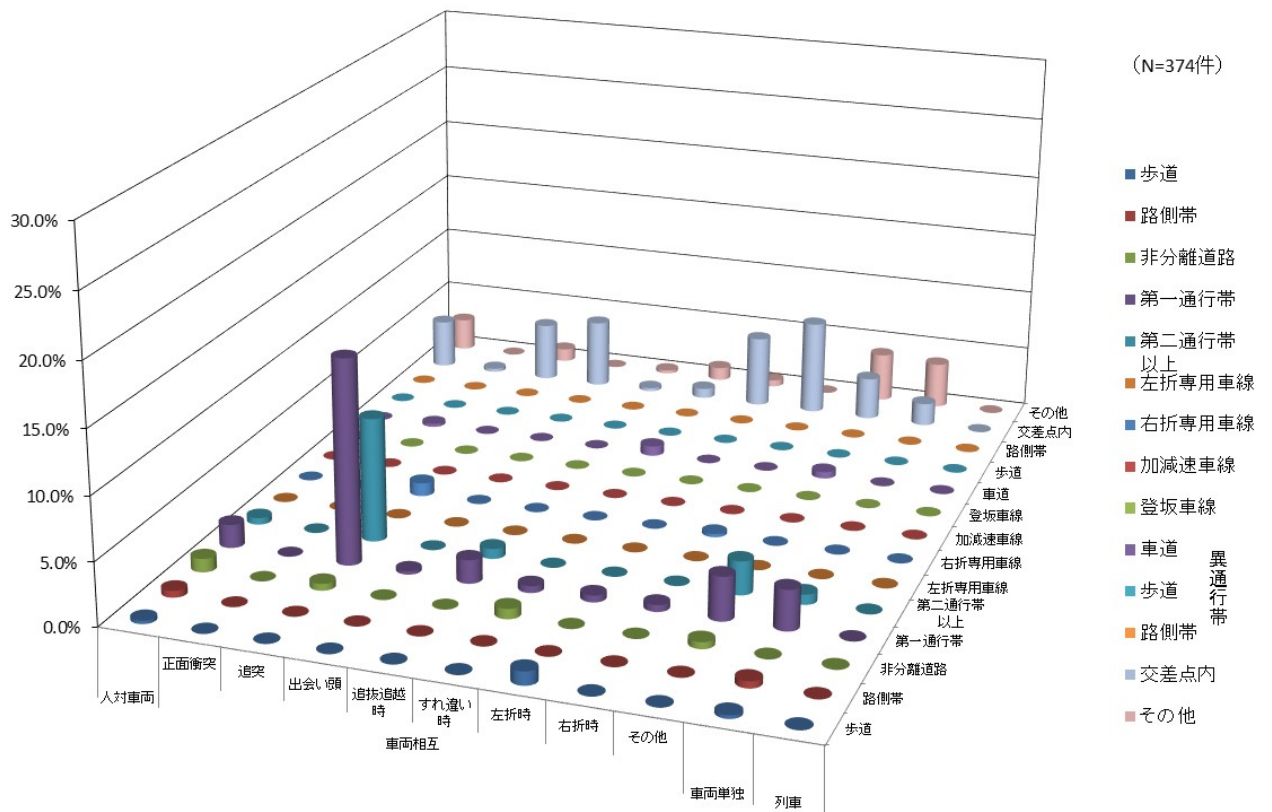
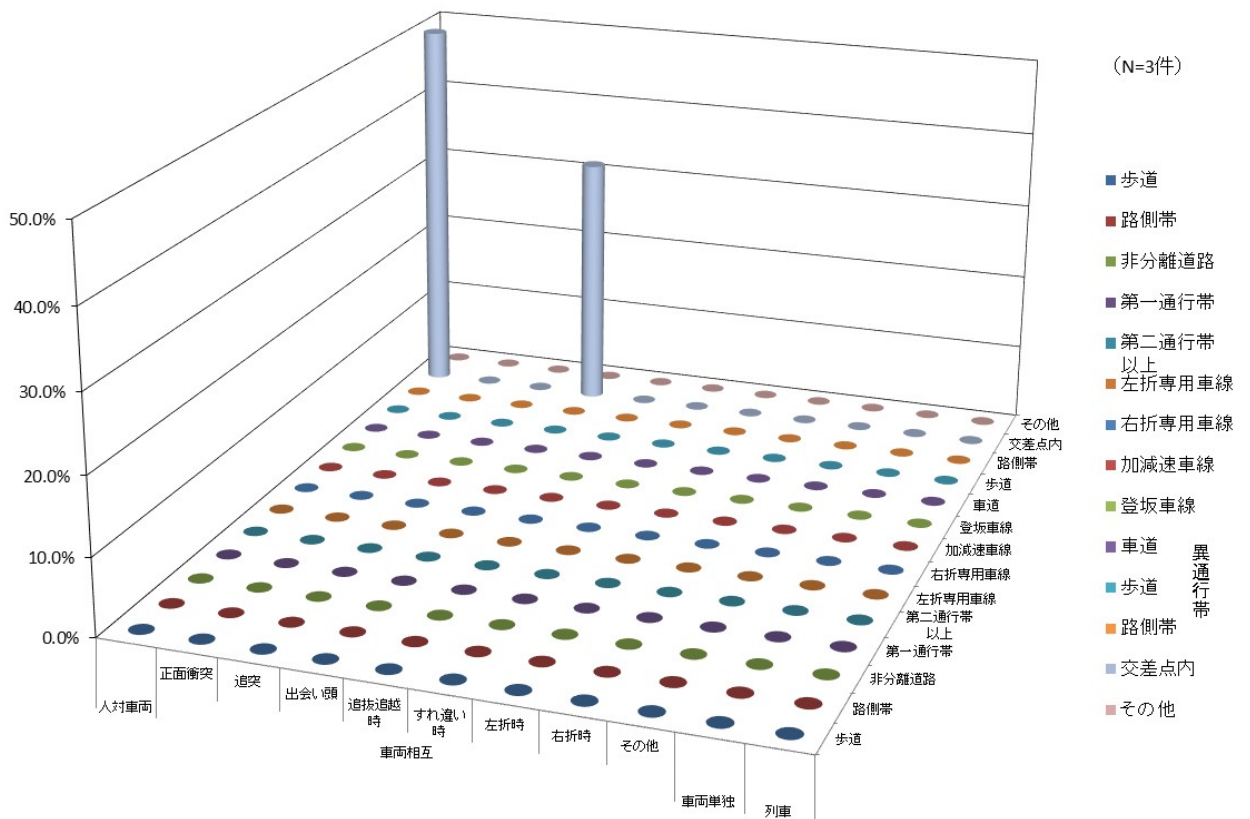


図 52 貸切バスの事故類型別、衝突地点別事故件数の構成比 (%) (平成26年)

表 42 貸切バスの事故類型別、衝突地点別死亡事故件数（件）（平成26年）

		バス												
		貸切												
		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計	
正面衝突	追突		出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他						
単路 (交差点付近を含む)	歩道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	路側帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	非分離道路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	第一通行帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	第二通行帯以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	左折専用車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	右折専用車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	加減速車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	登坂車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	異通行帯	車道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		歩道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		路側帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	交差点内		2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 53 貸切バスの事故類型別、衝突地点別死亡事故件数の構成比（%）（平成26年）

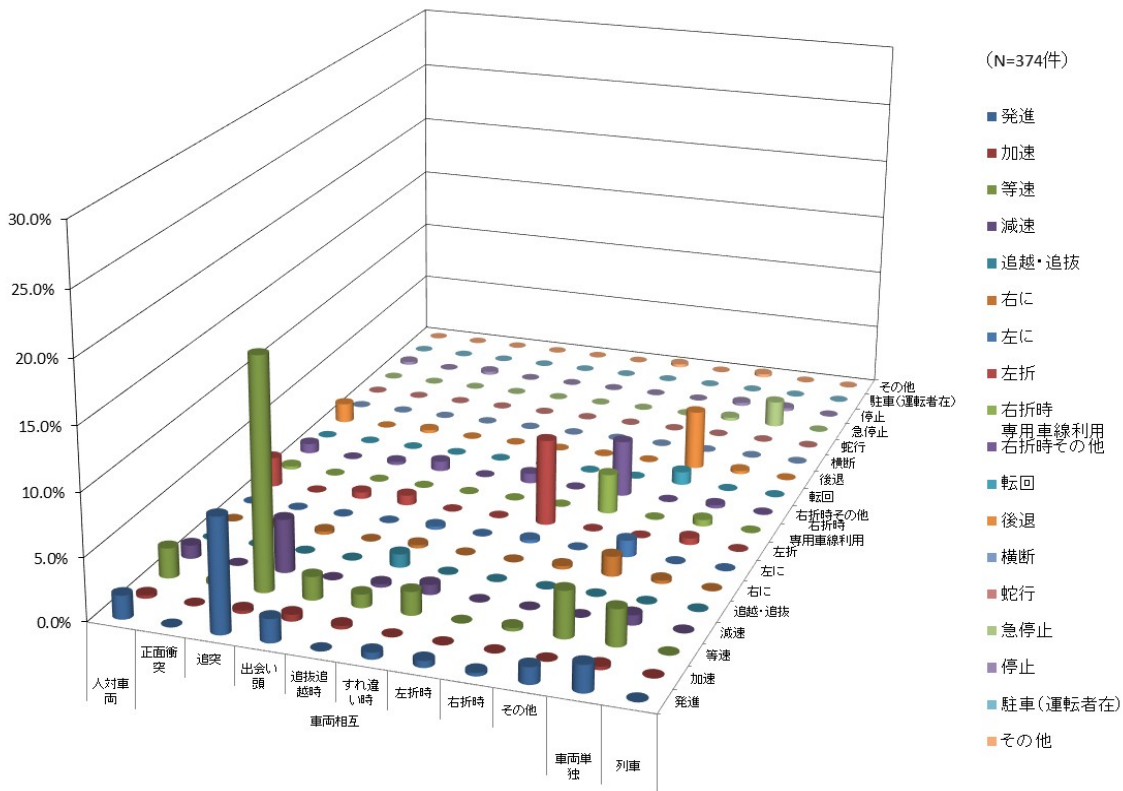
(9) 貸切バスの事故類型別、行動類型別事故件数

貸切バスの事故類型別、行動類型別事故件数を表43に、死亡事故件数を表44に示す。

表 43 貸切バスの事故類型別、行動類型事故件数 (件) (平成26年)

	貸切											
	人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
		正面衝突	追突	出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他			
発進	7	0	34	7	0	2	2	1	5	8	0	66
直進	加速	1	0	1	2	1	0	0	0	1	0	6
	等速	9	1	69	7	4	7	0	14	11	0	123
	減速	4	0	16	0	1	3	0	0	3	0	27
追越・追抜	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4
進路変更	右に	0	1	1	0	1	0	0	6	1	0	11
	左に	0	0	0	0	1	0	1	5	0	0	7
左折	9	0	2	3	0	0	26	0	0	2	0	42
右折時	専用車線利用	1	0	0	0	0	0	0	12	2	0	15
	その他	3	0	1	3	0	3	0	17	1	0	28
転回	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
後退	6	0	1	0	0	0	0	0	18	1	0	26
横断	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
蛇行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急停止	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	0	9
停止	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	4
駐車(運転者在)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
合計	41	2	126	22	12	15	30	32	55	39	0	374

出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」



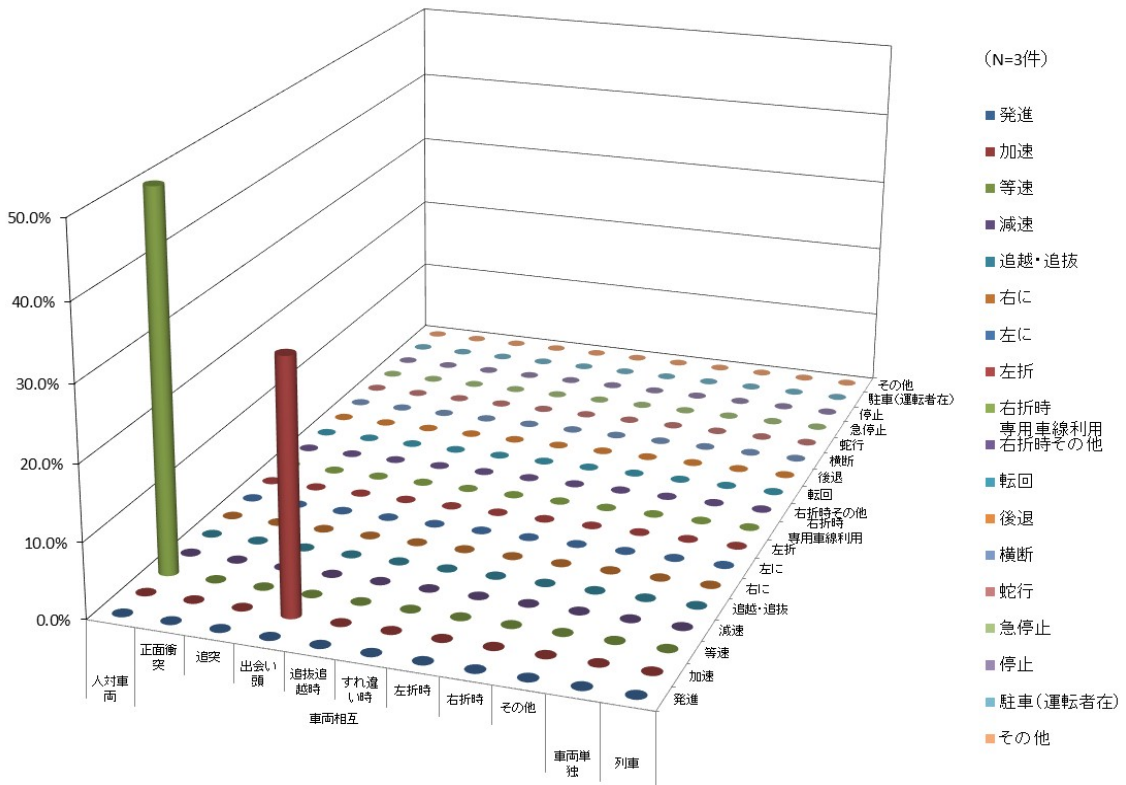
出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 54 貸切バスの事故類型別、行動類型別事故件数の構成比 (%) (平成 26 年)

表 44 貸切バスの事故類型別、行動類型死亡事故件数（件）（平成26年）

		貸切											
		人対車両	車両相互							車両単独	列車	合計	
			正面衝突	追突	出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時				その他
発進		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
直進	加速	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	等速	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	減速	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
追越・追抜		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
進路変更	右に	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	左に	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
左折		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
右折時	専用車線利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
転回		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
後退		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横断		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
蛇行		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急停止		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
停止		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
駐車(運転者在)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

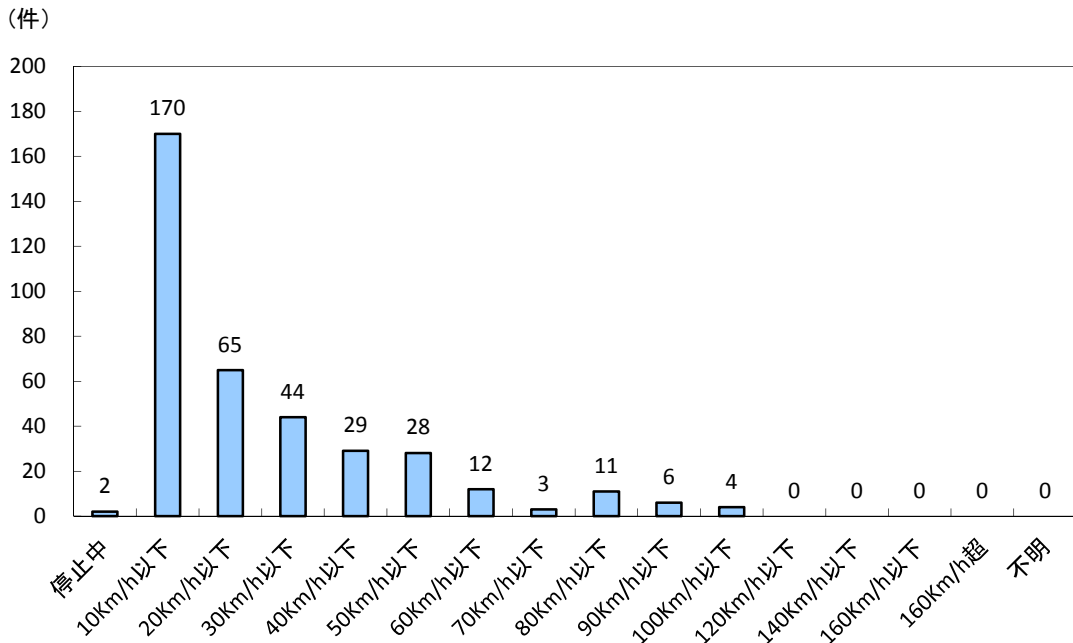


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 55 貸切バスの事故類型別、行動類型別死亡事故件数の構成比（%）（平成 26 年）

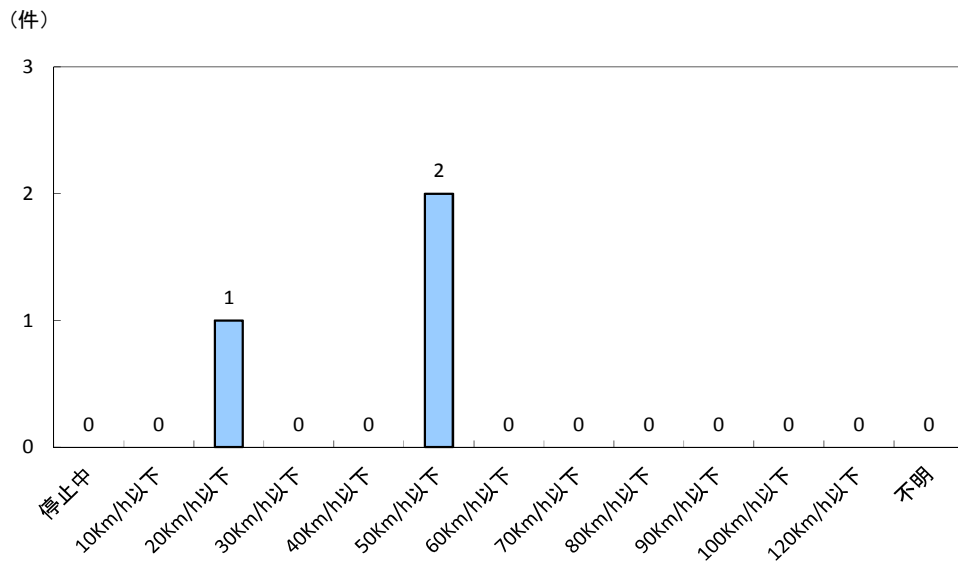
(10) 貸切バスの危険認知速度別の事故件数

平成26年の貸切バスの危険認知速度別の事故件数は10km/h以下で170件と最も多く発生している。次いで20km/h以下で65件、30km/h以下で44件発生している。



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 56 貸切バスの危険認知速度別の事故件数（平成26年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 57 貸切バスの危険認知速度別の死亡事故件数（平成26年）

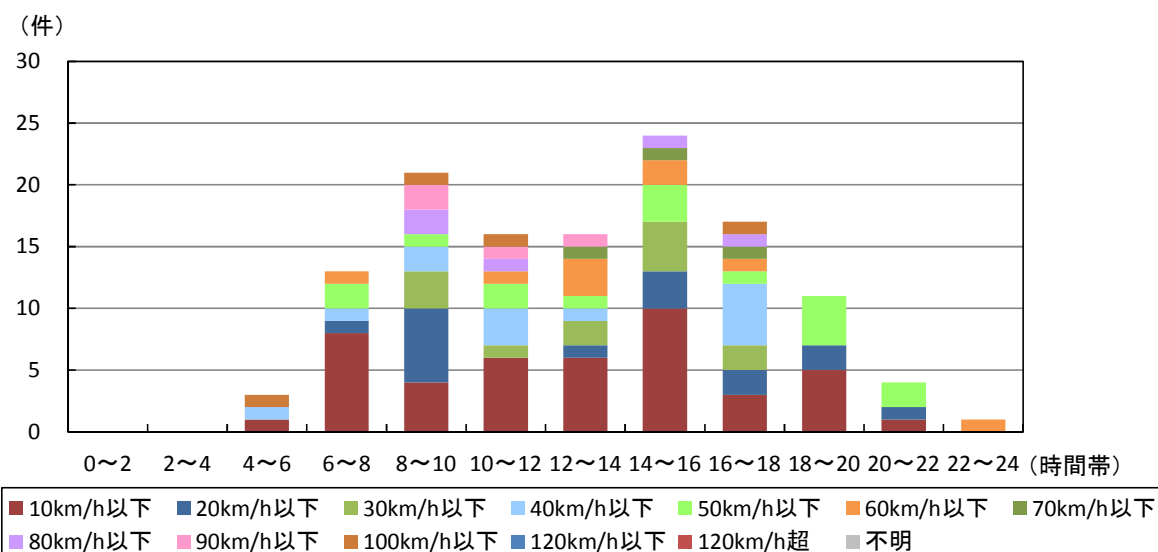
(11) 貸切バスの追突の事故件数の危険認知速度別発生時間帯分布

貸切バスの追突の事故件数の危険認知速度別発生時間帯分布をみると、8～10時と14～16時の時間帯に多く発生している。

表45 貸切バスの追突の事故件数の危険認知速度別発生時間帯分布（件）（平成26年）

危険認知速度	時 間 帯												合計
	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	
10km/h以下	0	0	1	8	4	6	6	10	3	5	1	0	44
20km/h以下	0	0	0	1	6	0	1	3	2	2	1	0	16
30km/h以下	0	0	0	0	3	1	2	4	2	0	0	0	12
40km/h以下	0	0	1	1	2	3	1	0	5	0	0	0	13
50km/h以下	0	0	0	2	1	2	1	3	1	4	2	0	16
60km/h以下	0	0	0	1	0	1	3	2	1	0	0	1	9
70km/h以下	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
80km/h以下	0	0	0	0	2	1	0	1	1	0	0	0	5
90km/h以下	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	4
100km/h以下	0	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	4
120km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
120km/h超	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	3	13	21	16	16	24	17	11	4	1	126

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」



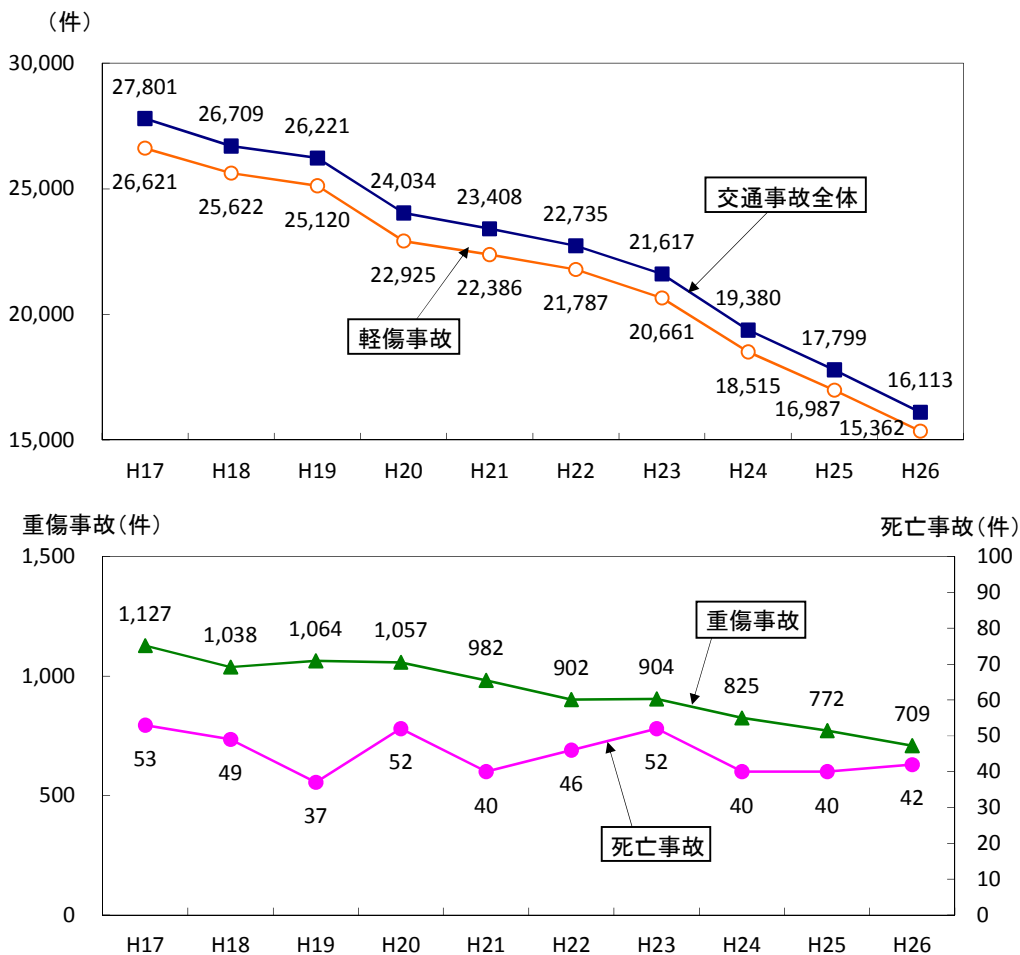
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図58 貸切バスの追突の事故件数の危険認知速度別発生時間帯分布（件）（平成26年）

3. タクシーの事故

(1) タクシーの事故件数、死傷事故件数の推移

タクシー事故件数は、減少傾向である。また、死亡事故件数については、37～53件で推移している。



出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 59 タクシーの全事故及び死傷事故件数の推移

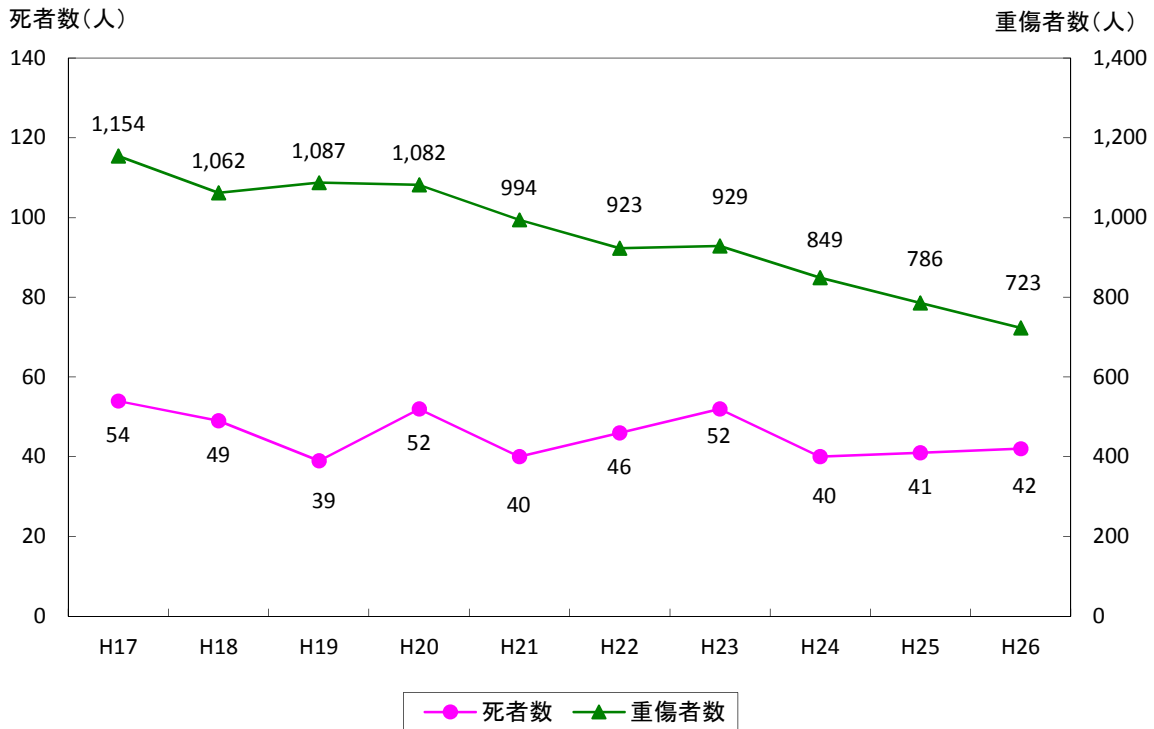
表 46 タクシーの事故件数の推移 (件)

年 \ 区分	死亡事故	重傷事故	軽傷事故	交通事故全体
H17	53	1,127	26,621	27,801
H18	49	1,038	25,622	26,709
H19	37	1,064	25,120	26,221
H20	52	1,057	22,925	24,034
H21	40	982	22,386	23,408
H22	46	902	21,787	22,735
H23	52	904	20,661	21,617
H24	40	825	18,515	19,380
H25	40	772	16,987	17,799
H26	42	709	15,362	16,113

出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(2) タクシー事故の死傷者数の推移

タクシー事故の重傷者数は平成24年から減少傾向、死者数は最近10年間は39～54人で推移している。



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 60 タクシー事故の死傷者数の推移

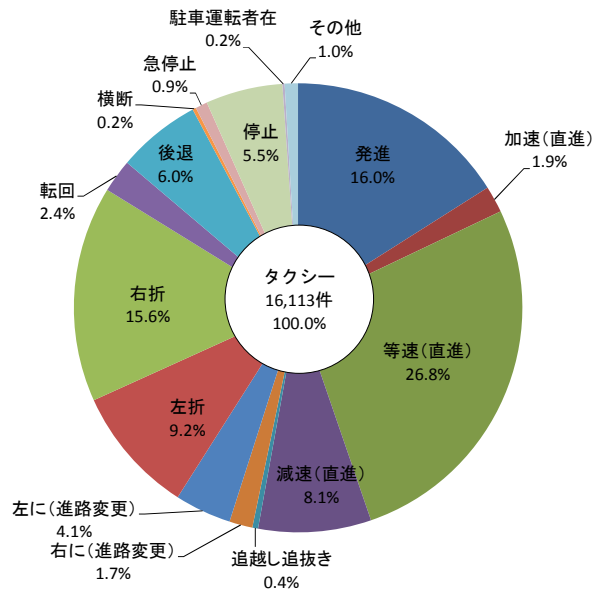
表 47 タクシー事故の死傷者数の推移（人）

区分 年	死者数	重傷者数	軽傷者数	死傷者合計
H17	54	1,154	31,167	32,375
H18	49	1,062	29,994	31,105
H19	39	1,087	29,815	30,941
H20	52	1,082	26,899	28,033
H21	40	994	25,963	26,997
H22	46	923	25,317	26,286
H23	52	929	24,167	25,148
H24	40	849	21,651	22,540
H25	41	786	19,992	20,819
H26	42	723	18,051	18,816

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(3) タクシーの行動類型別事故件数の割合

タクシーの行動類型別事故件数は、等速（直進）4,319件（26.8%）が最も多く、次いで発進2,582件（16.0%）、右折2,506件（15.6%）である。



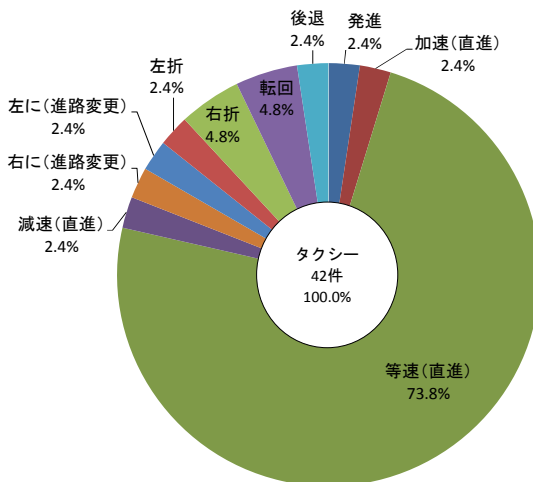
行動類型	件数	割合
発進	2,582 件	16.0%
加速(直進)	308 件	1.9%
等速(直進)	4,319 件	26.8%
減速(直進)	1,309 件	8.1%
追越し追抜き	65 件	0.4%
右に(進路変更)	272 件	1.7%
左に(進路変更)	657 件	4.1%
左折	1,485 件	9.2%
右折	2,506 件	15.6%
転回	384 件	2.4%
後退	973 件	6.0%
横断	39 件	0.2%
蛇行	1 件	0.0%
急停止	139 件	0.9%
停止	892 件	5.5%
駐車運転者在	26 件	0.2%
その他	156 件	1.0%

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 61 タクシーの行動類型別事故件数の割合（平成26年）

(4) タクシーの行動類型別死亡事故件数の割合

タクシーの行動類型別死亡事故件数は、等速（直進）31件（73.8%）が最も多い。



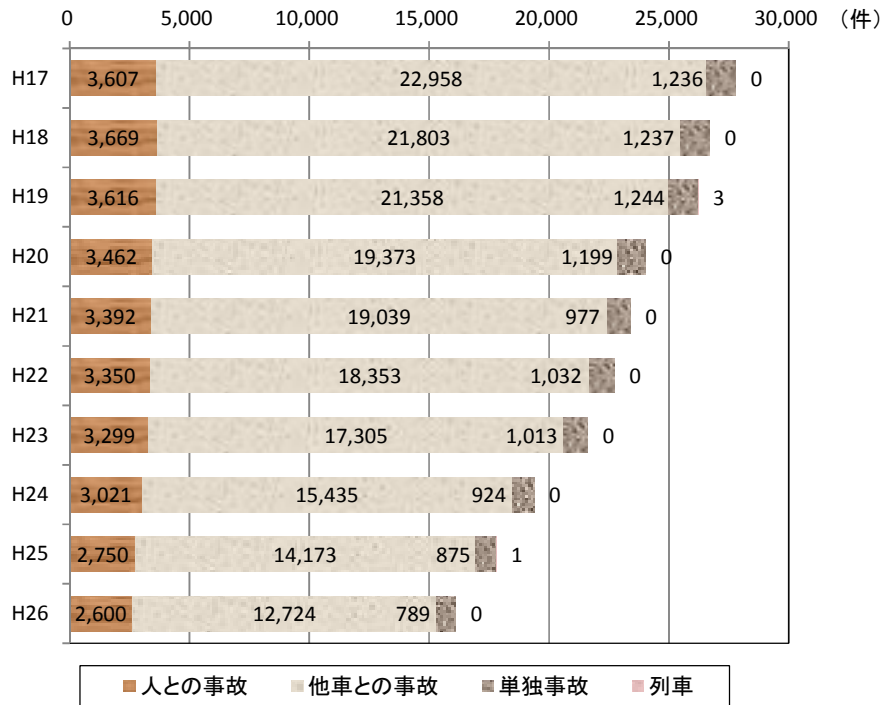
行動類型	件数	割合
発進	1 件	2.4%
加速(直進)	1 件	2.4%
等速(直進)	31 件	73.8%
減速(直進)	1 件	2.4%
追越し追抜き	0 件	0.0%
右に(進路変更)	1 件	2.4%
左に(進路変更)	1 件	2.4%
左折	1 件	2.4%
右折	2 件	4.8%
転回	2 件	4.8%
後退	1 件	2.4%
横断	0 件	0.0%
蛇行	0 件	0.0%
急停止	0 件	0.0%
停止	0 件	0.0%
駐車運転者在	0 件	0.0%
その他	0 件	0.0%

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 62 タクシーの行動類型別死亡事故件数の割合（平成26年）

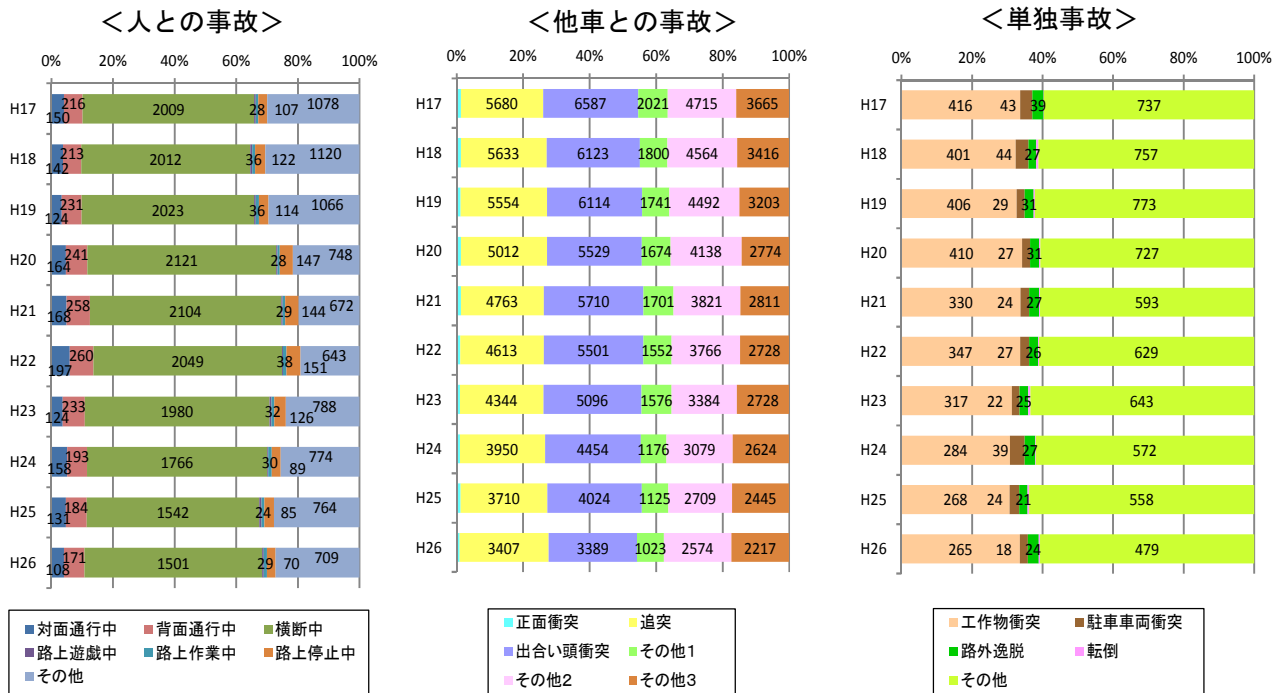
(5) タクシーの事故類型別事故件数の割合

平成26年のタクシーの事故は、他車との事故が12,724件で約8割を占めており、そのうち出会い頭衝突が3,389件と最も多く発生している。



出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 63 タクシーの事故類型別事故件数の割合



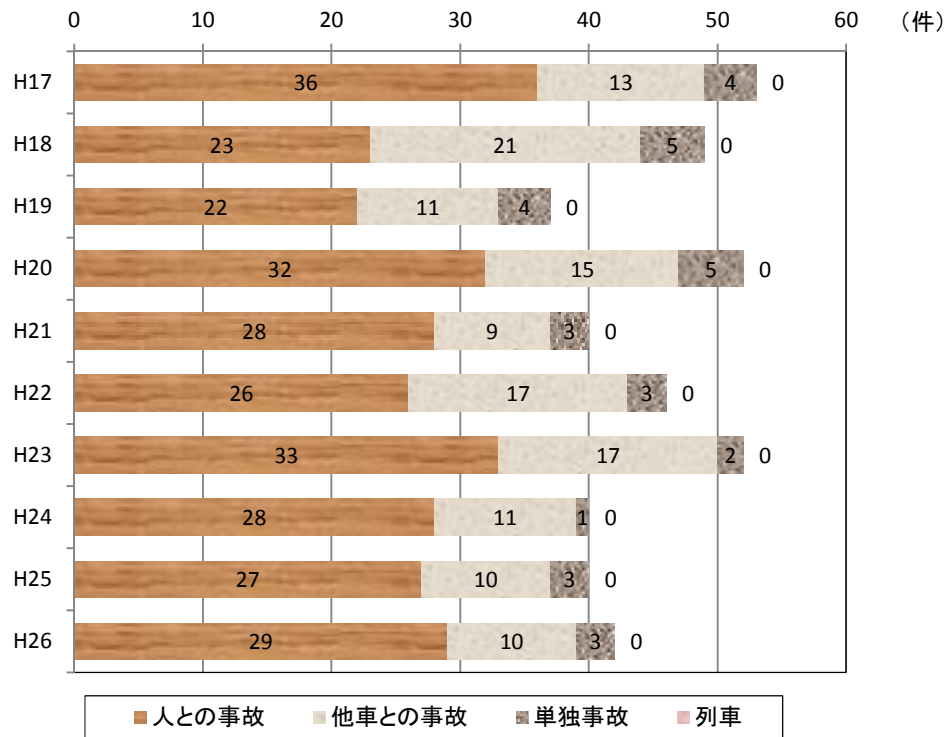
その他1・・・追越・追抜時衝突、進路変更時衝突
 その他2・・・すれ違い時衝突、左折衝突、右折時衝突
 その他3・・・横断時衝突、転回時衝突、後退時衝突、その他

出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 64 タクシーの事故類型別事故件数の内訳

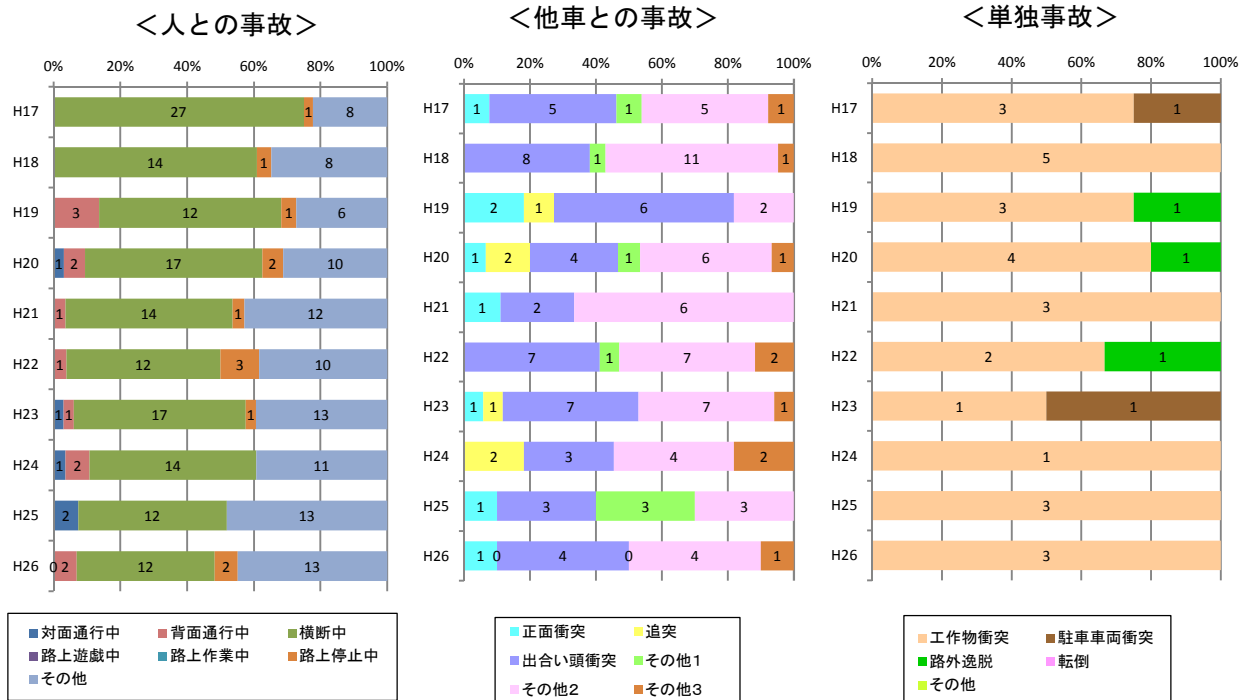
(6) タクシーの事故類型別死亡事故件数の割合

平成26年のタクシーの死亡事故は、人との事故が29件で約7割を占めており、そのうち、横断中の事故が12件となっている。



出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 65 タクシーの事故類型別死亡事故件数の割合



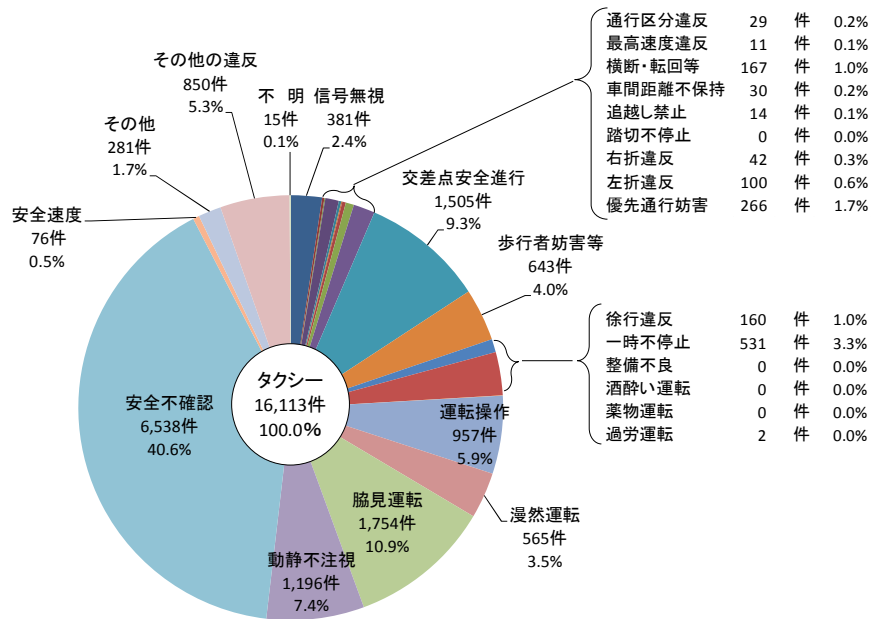
その他1・・・追越・追抜時衝突、進路変更時衝突
 その他2・・・すれ違い時衝突、左折衝突、右折時衝突
 その他3・・・横断時衝突、転回時衝突、後退時衝突、その他

出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 66 タクシーの事故類型別死亡事故件数の内訳

(7) タクシーの法令違反別の事故件数の割合

タクシーでは、「安全不確認」6,538件（40.6%）、「脇見運転」1,754件（10.9%）、「交差点安全進行」1,505件（9.3%）といった法令違反の事故が多い。

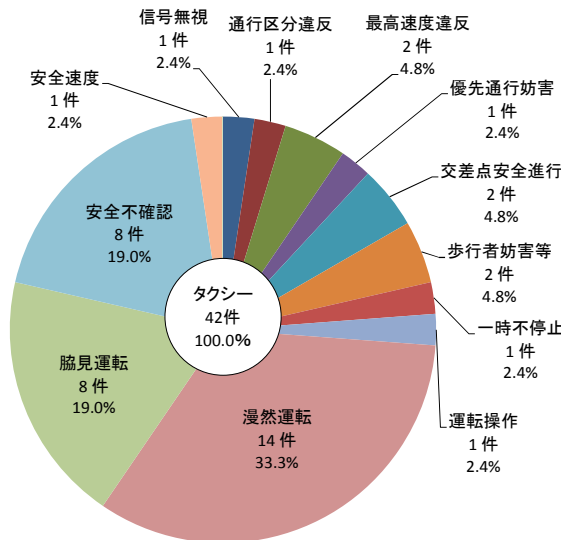


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 67 タクシーの法令違反別事故件数の割合（平成26年）

(8) タクシーの法令違反別の死亡事故件数の割合

タクシーでは、「漫然運転」14件（33.3%）、「安全不確認」8件（19.0%）、「脇見運転」8件（19.0%）といった法令違反の死亡事故が多い。

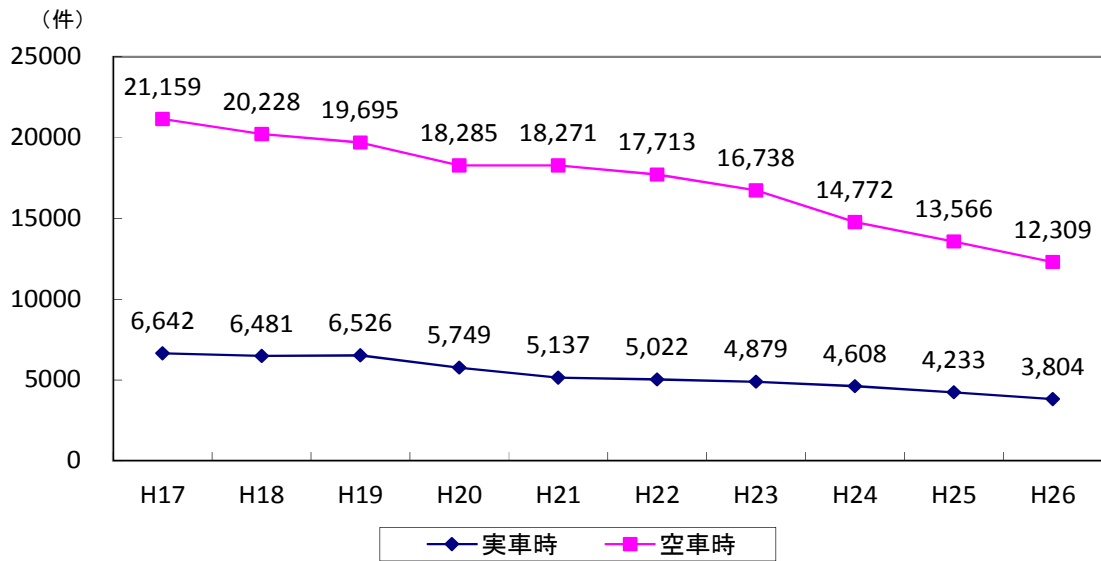


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 68 タクシーの法令違反別死亡事故件数の割合（平成26年）

(9) タクシーの事故件数（空車、実車）

タクシーの事故件数（空車時、実車時）は、空車時が実車時と比べて多く発生している。空車時は平成18年より、実車時は平成20年より減少している。



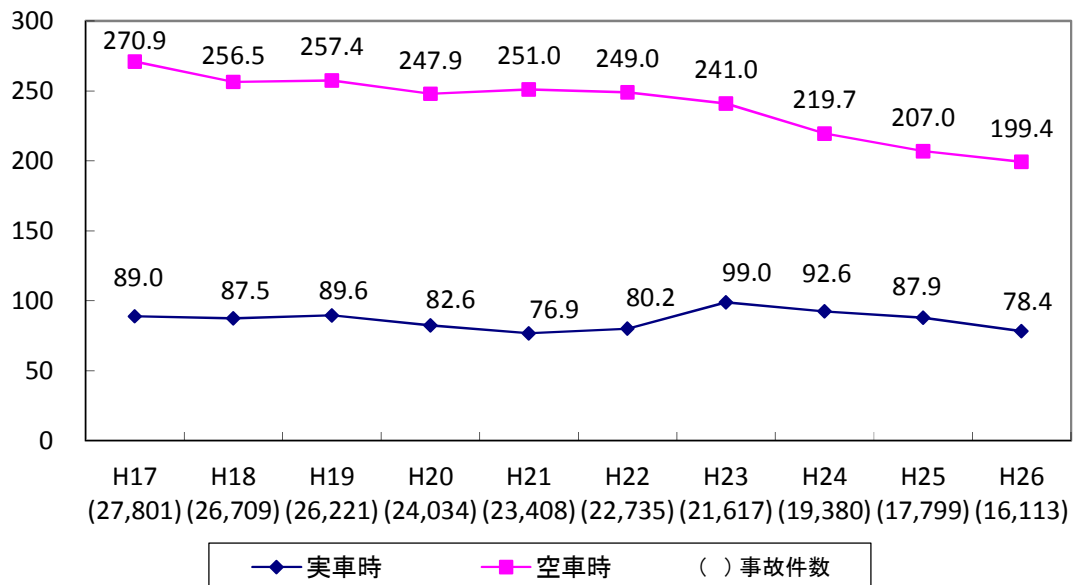
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」「自動車燃料消費量調査」

図 69 タクシーの事故件数（空車時、実車時）

(10) タクシーの走行距離 1 億キロあたりの事故件数（空車キロ、実車キロ）

タクシーの走行距離 1 億キロあたりの事故件数（空車キロ、実車キロ）は、空車時が実車時と比べて多く発生している。空車時、実車時ともに前年より減少しているが、実車時は平成21年の76.9件/億kmまで減少していない。

(空車時事故件数/億km)
(実車時事故件数/億km)



注：（ ）内の数字は空車時と実車時を合わせた事故件数，単位は件

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」「自動車燃料消費量調査」

図 70 タクシーの走行距離 1 億キロあたりの事故件数

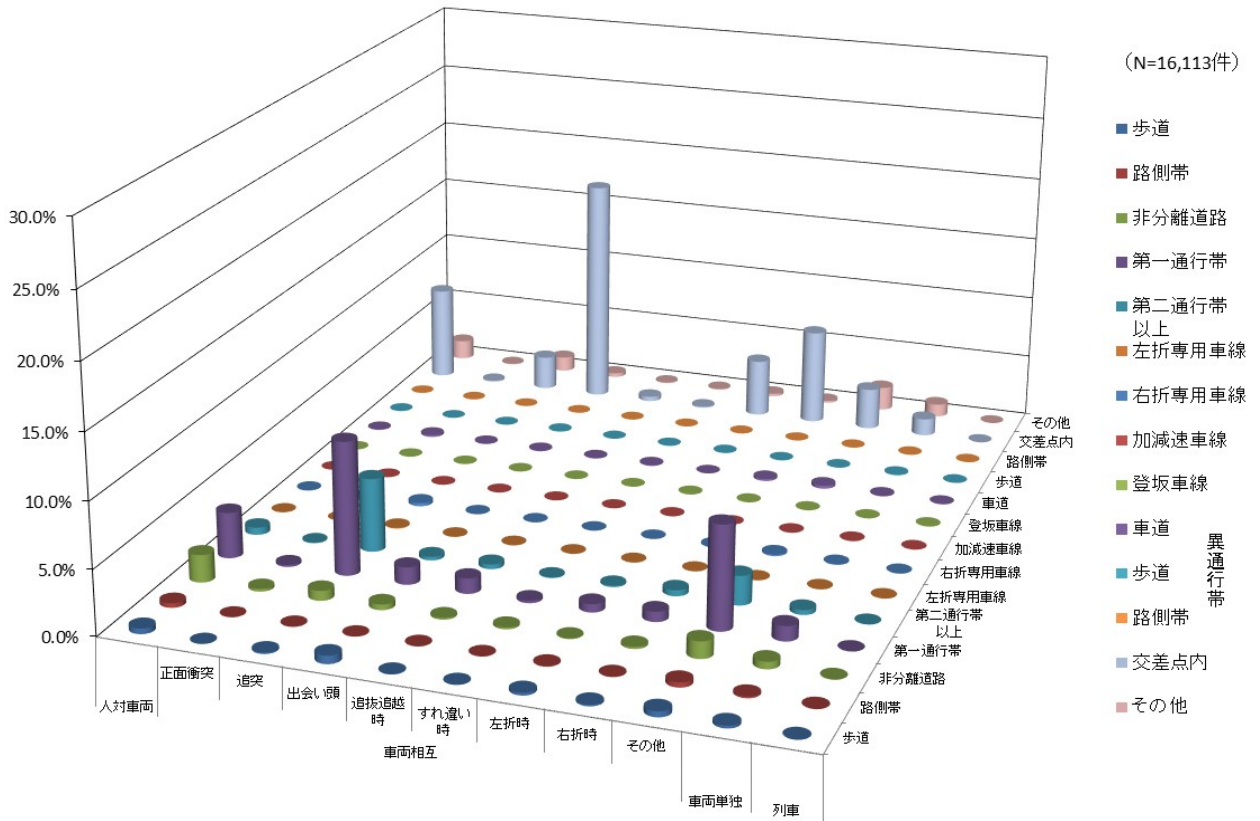
(11) タクシーの事故類型別、衝突地点別事故件数

タクシーの事故類型別、衝突地点別事故件数を表48に、死亡事故件数を表49に示す。

表 48 タクシーの事故類型別、衝突地点別事故件数（件）（平成26年）

		タクシー												
		合計												
		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計	
正面衝突	追突		出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他						
単路 (交差点付近を含む)	歩道	67	0	17	101	3	2	32	18	69	32	0	341	
	路側帯	56	2	5	2	5	2	9	5	61	19	0	166	
	非分離道路	341	33	122	69	22	23	8	26	210	89	0	943	
	第一通行帯	571	25	1,657	216	190	31	103	125	1,282	186	0	4,386	
	第二通行帯以上	91	8	919	45	58	9	16	73	364	59	0	1,642	
	左折専用車線	0	0	10	1	0	0	0	0	1	1	0	13	
	右折専用車線	6	1	42	2	1	0	0	7	17	3	0	79	
	加減速車線	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	3	
	登坂車線	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	異通行帯	車道	7	23	6	6	5	8	0	25	38	7	0	125
		歩道	3	0	1	5	0	0	2	1	3	6	0	21
路側帯		0	1	1	0	0	0	0	1	1	4	0	8	
交差点内		1,207	13	436	2,891	61	15	739	1,223	533	219	0	7,337	
その他		250	8	190	51	11	10	35	26	304	163	0	1,048	
合計		2,600	114	3,407	3,389	356	100	944	1,530	2,884	789	0	16,113	

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」



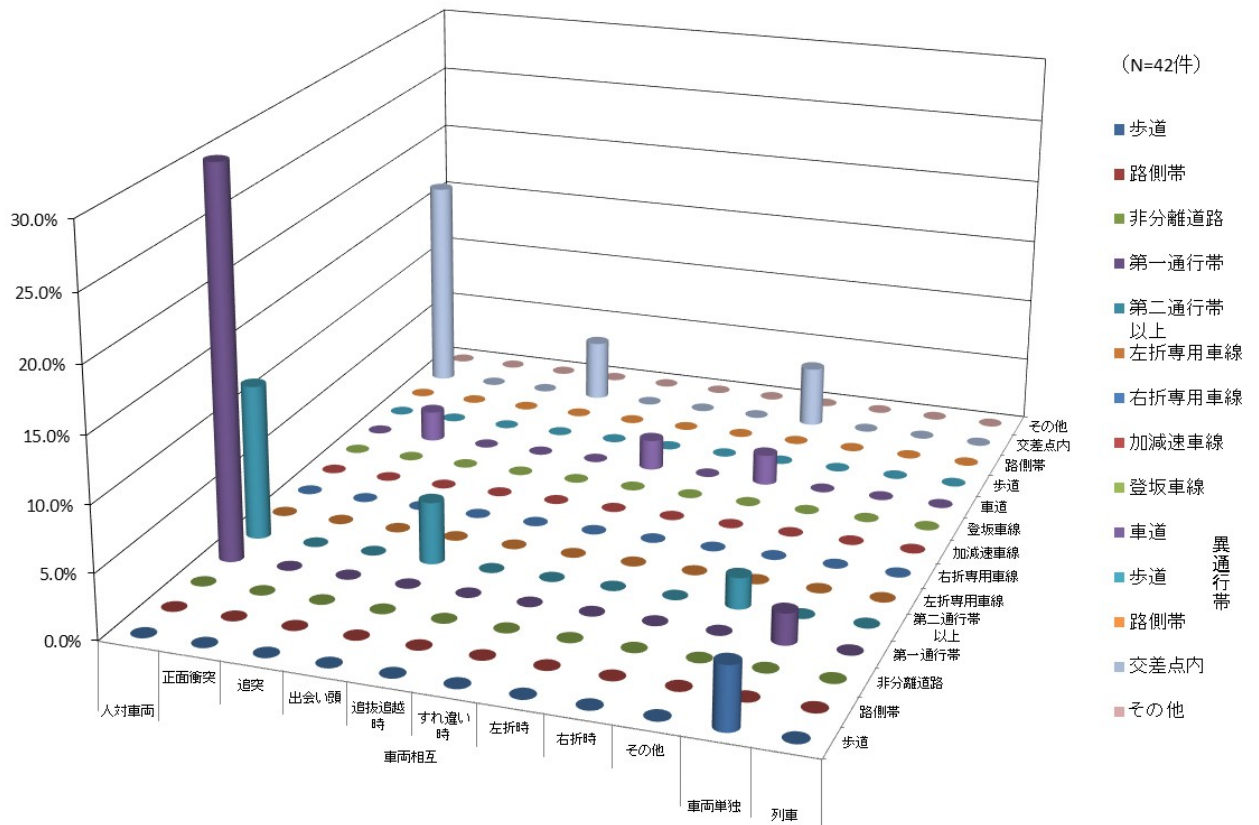
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 71 タクシーの事故類型別、衝突地点別事故件数の構成比（%）（平成 26 年）

表 49 タクシーの事故類型別、衝突地点別死亡事故件数（件）（平成26年）

		タクシー													
		合計													
		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計		
正面衝突	追突		出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他							
単路（交差点付近を含む）	歩道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	
	路側帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非分離道路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第一通行帯	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	18	
	第二通行帯以上	5	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	8	
	左折専用車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	右折専用車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	加減速車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登坂車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	異通行帯	車道	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3
	歩道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	路側帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	交差点内	7	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	11	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	29	1	0	4	0	1	0	3	1	3	0	42		

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 72 タクシーの事故類型別、衝突地点別死亡事故件数の構成比（%）（平成26年）

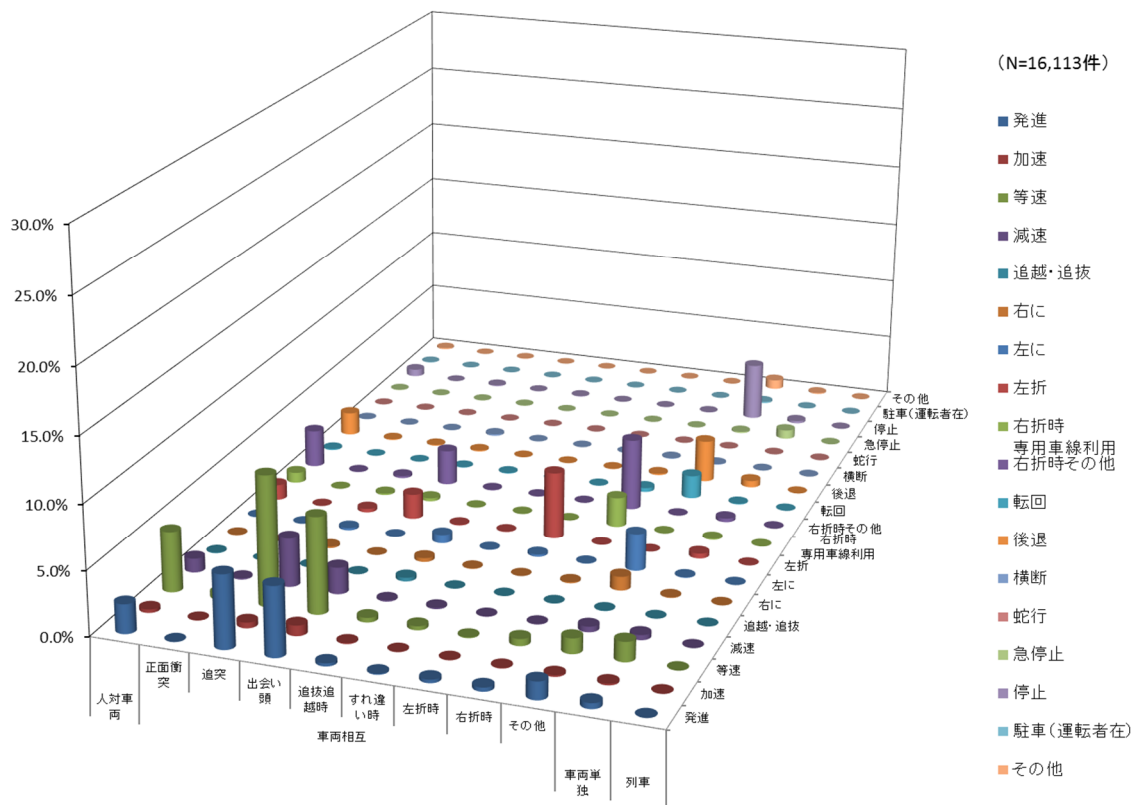
(12) タクシーの事故類型別、行動類型別事故件数

タクシーの事故類型別、行動類型別事故件数を表50に、死亡事故件数を表51に示す。

表 50 タクシーの事故類型別、行動類型別事故件数 (件) (平成26年)

		タクシー											
		合計											
		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
正面衝突	追突		出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他					
発進		366	2	915	867	37	13	41	49	222	70	0	2,582
直進	加速	42	4	70	129	12	3	3	7	19	19	0	308
	等速	762	71	1,634	1,212	57	49	10	86	191	247	0	4,319
	減速	177	15	614	333	15	15	5	4	69	62	0	1,309
追越・追抜		7	1	4	0	46	1	0	1	4	1	0	65
進路変更	右に	3	3	19	0	48	6	0	13	173	7	0	272
	左に	4	0	29	1	110	4	28	3	471	7	0	657
左折		195	1	46	319	8	4	850	0	0	62	0	1,485
右折時	専用車線利用	133	1	18	39	1	1	0	379	0	13	0	585
	その他	478	4	27	447	6	3	0	910	0	46	0	1,921
転回		14	0	0	5	8	0	2	51	295	9	0	384
後退		297	11	10	13	1	1	3	17	536	84	0	973
横断		2	0	1	19	1	0	2	6	7	1	0	39
蛇行		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
急停止		5	1	2	2	0	0	0	0	15	114	0	139
停止		94	0	13	3	6	0	0	4	741	31	0	892
駐車(運転者在)		5	0	1	0	0	0	0	0	17	3	0	26
その他		16	0	4	0	0	0	0	0	123	13	0	156
合計		2,600	114	3,407	3,389	356	100	944	1,530	2,884	789	0	16,113

出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」



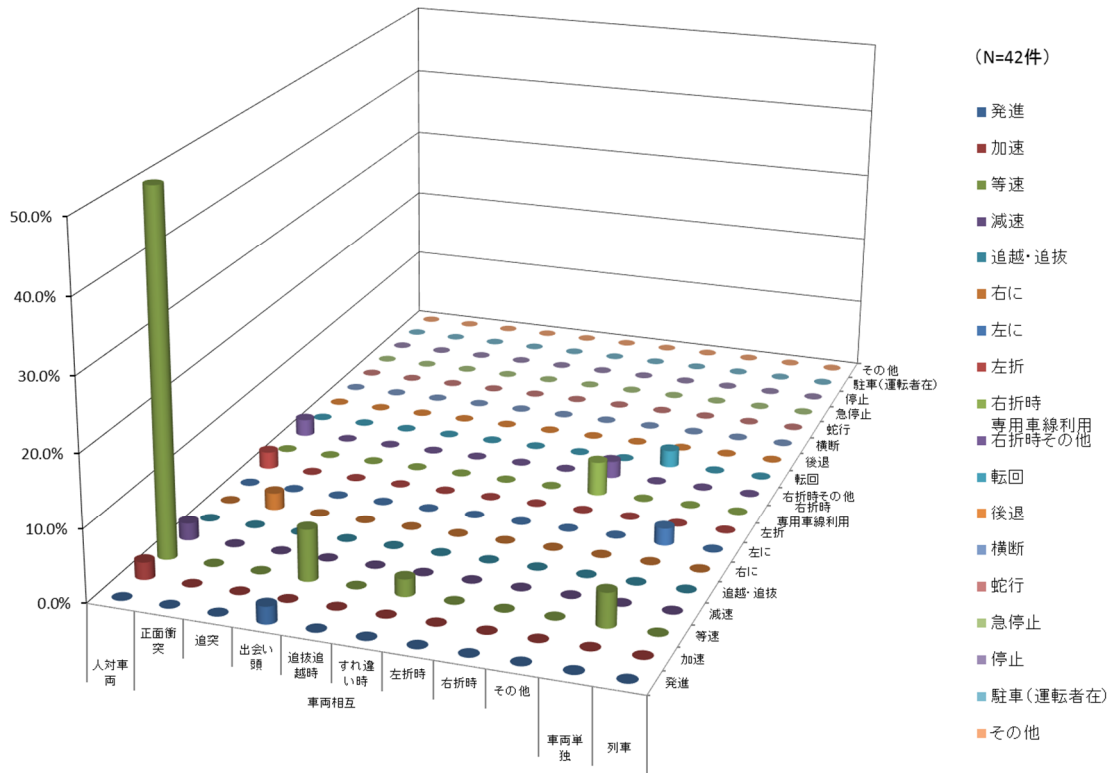
出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 73 タクシーの事故類型別、行動類型別事故件数の構成比 (%) (平成 26 年)

表 51 タクシーの事故類型別、行動類型死亡事故件数（件）（平成26年）

		タクシー											
		合計											
		人対車両	車両相互							車両単独	列車	合計	
正面衝突	追突		出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他					
発進		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
直進	加速	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	等速	25	0	0	3	0	1	0	0	0	2	0	31
	減速	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
追越・追抜		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
進路変更	右に	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	左に	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
左折		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
右折時	専用車線利用	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
	その他	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
転回		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
後退		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横断		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
蛇行		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急停止		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
停止		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
駐車(運転者在)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		29	1	0	4	0	1	0	3	1	3	0	42

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

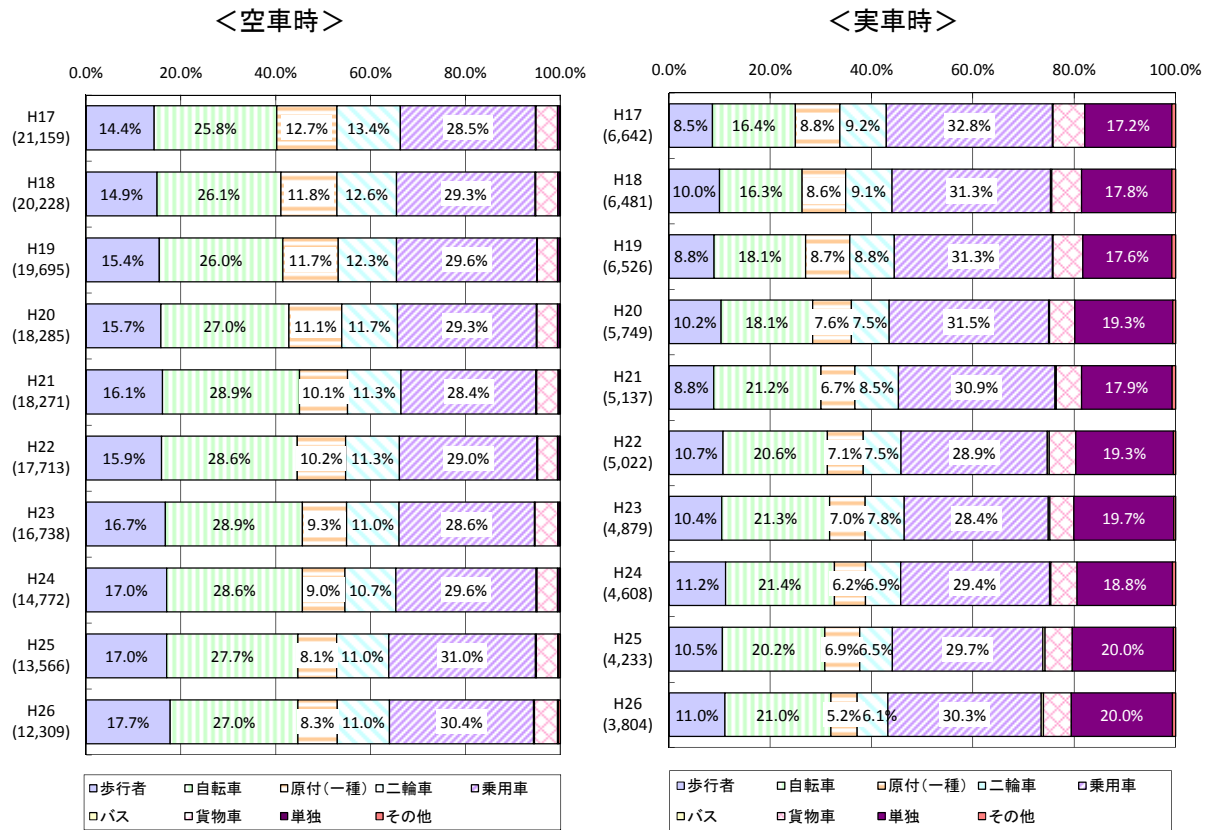


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 74 タクシーの事故類型別、行動類型別死亡事故件数の構成比（%）（平成 26 年）

(13) タクシーの事故の相手方の割合

実車時は、空車時に比べて単独の事故が圧倒的に多い。



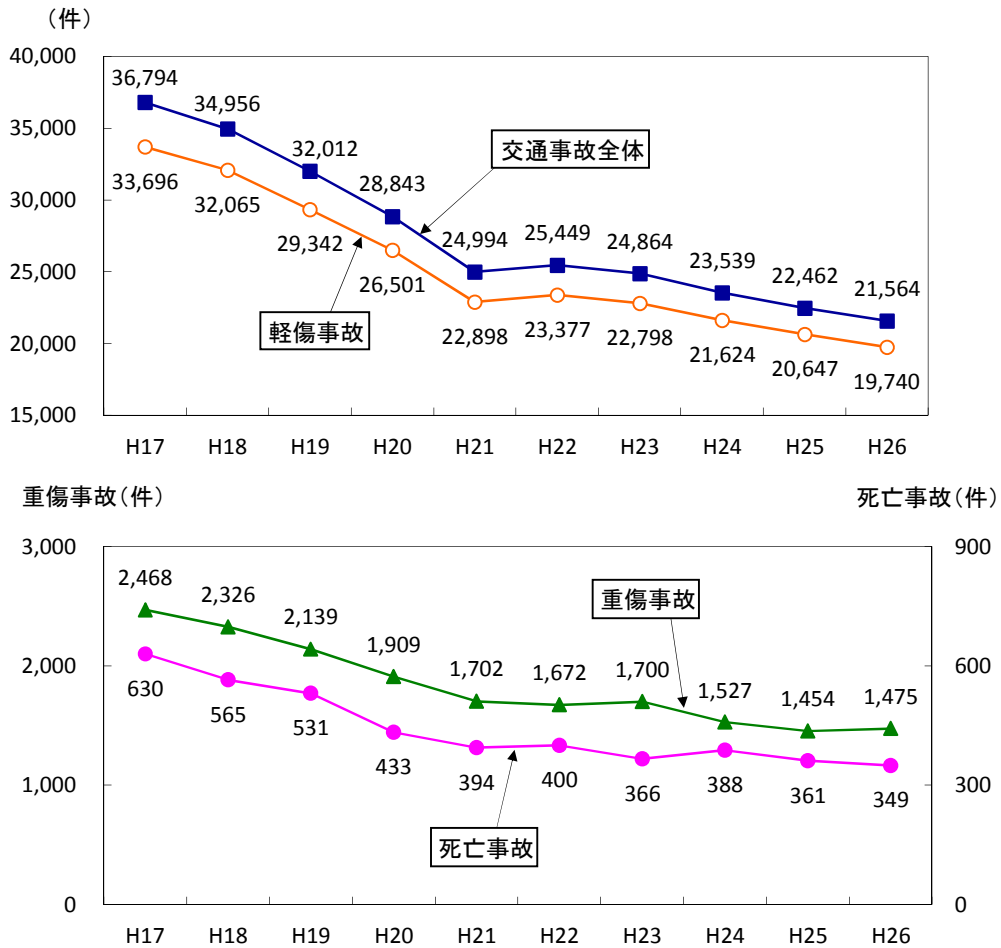
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 75 タクシーの事故の相手方の割合

4. トラックの事故

(1) トラックの事故件数、死傷事故件数の推移

平成26年のトラックによる事故件数は21,564件（対前年比4.0%減）であり、死亡事故は前年に比べ減少し、重傷事故は増加した。



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 76 トラックの全事故及び死傷事故件数の推移

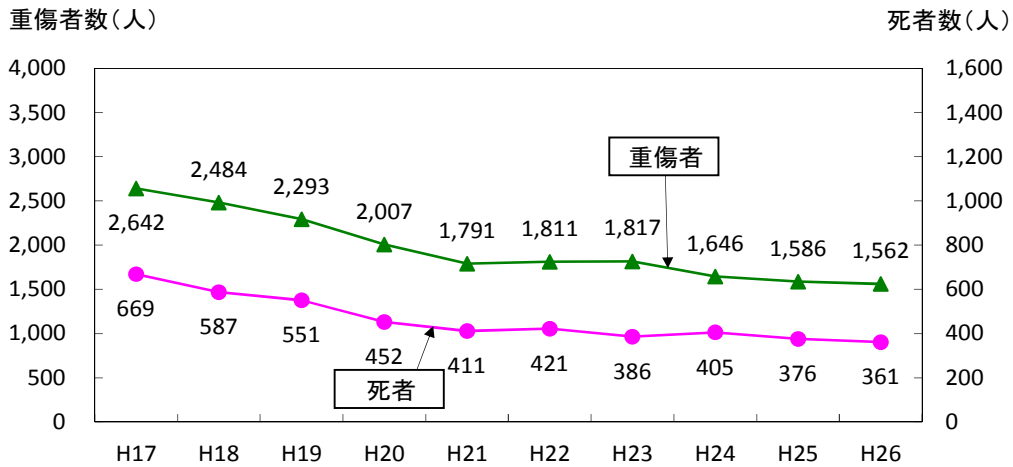
表 52 トラックの事故件数の推移（件）

年	死亡事故	重傷事故	軽傷事故	事故全体
H17	630	2,468	33,696	36,794
H18	565	2,326	32,065	34,956
H19	531	2,139	29,342	32,012
H20	433	1,909	26,501	28,843
H21	394	1,702	22,898	24,994
H22	400	1,672	23,377	25,449
H23	366	1,700	22,798	24,864
H24	388	1,527	21,624	23,539
H25	361	1,454	20,647	22,462
H26	349	1,475	19,740	21,564

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(2) トラック事故の死傷者数の推移

トラックの事故による死者、重傷者数の推移をみると、ともに平成18～21年は減少している。その後、死者数は平成23年、25年、26年に減少し、361人となった。重傷者数は、平成24年以降は再び減少し、平成26年は1,562人である。



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 77 トラック事故の死傷者数の推移

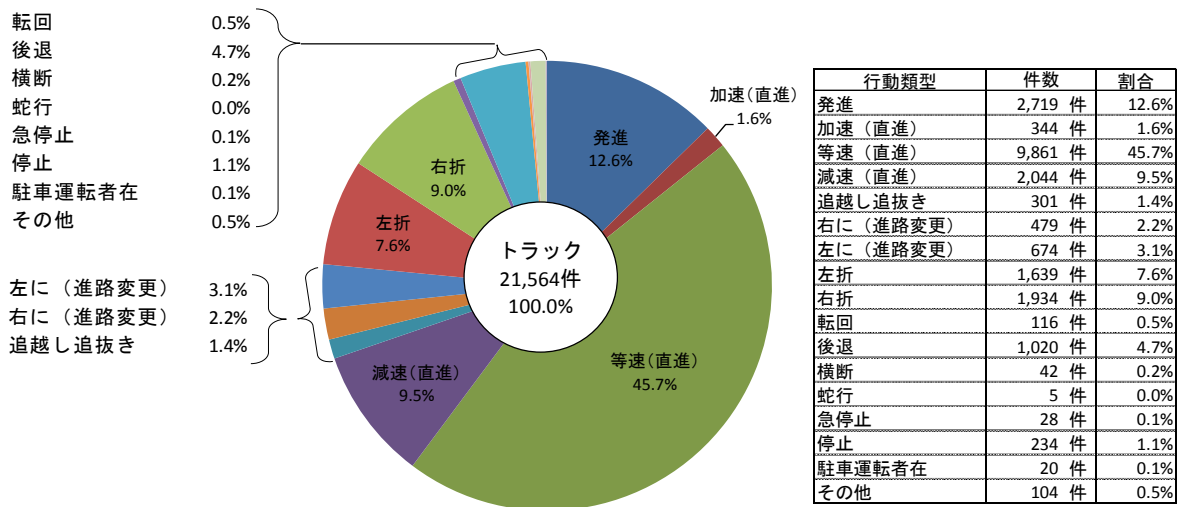
表 53 トラック事故の死傷者数の推移（人）

年	区分	死者数	重傷者数	軽傷者数	死傷者合計
H17		669	2,642	45,519	48,830
H18		587	2,484	43,185	46,256
H19		551	2,293	39,420	42,264
H20		452	2,007	35,052	37,511
H21		411	1,791	30,227	32,429
H22		421	1,811	31,171	33,403
H23		386	1,817	30,436	32,639
H24		405	1,646	28,824	30,875
H25		376	1,586	27,636	29,598
H26		361	1,562	26,499	28,422

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

(3) トラックの行動類型別事故件数の割合

トラックの行動類型別事故件数は、等速（直進）9,861件（45.7%）が最も多く、次いで発進2,719件（12.6%）と続いている。

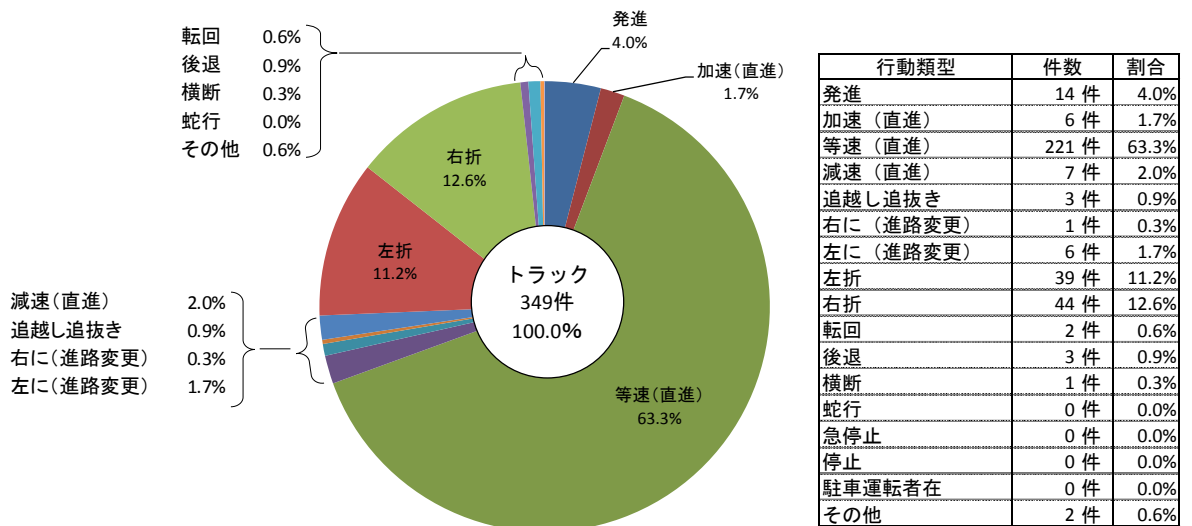


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 78 トラックの行動類型別事故件数の割合（平成26年）

(4) トラックの行動類型別死亡事故件数の割合

トラックの行動類型別死亡事故件数は、等速（直進）221件（63.3%）、右折44件（12.6%）、左折39件（11.2%）と続いている。

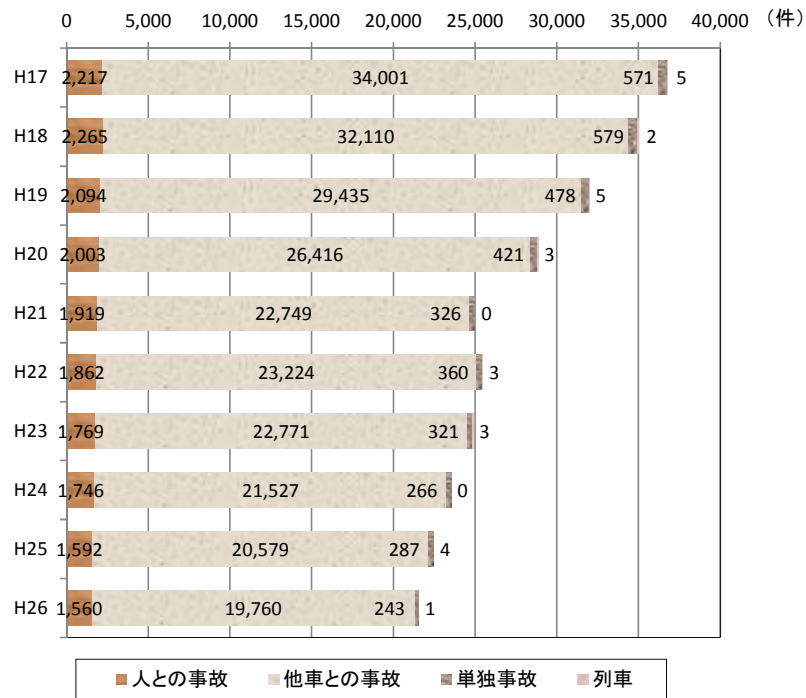


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 79 トラックの行動類型別死亡事故件数の割合（平成26年）

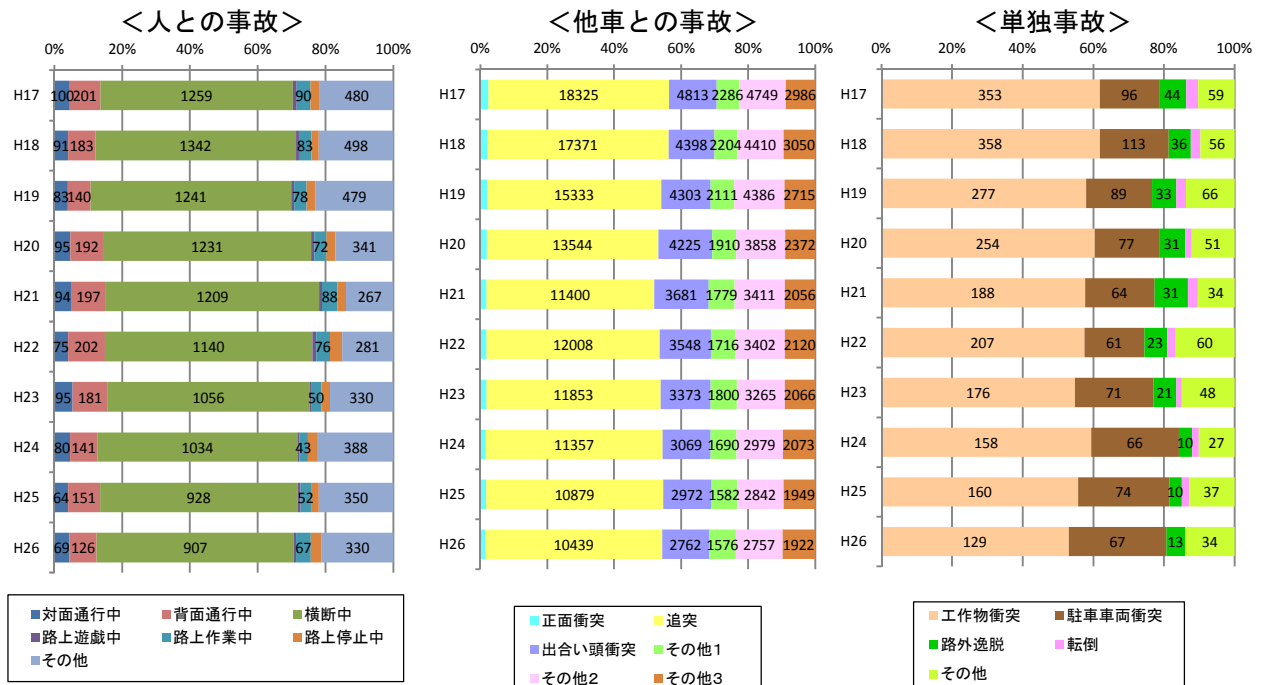
(5) トラックの事故類型別事故件数の割合

トラックの事故は、他車との事故が約9割を占めており、そのうち約53%は追突事故となっている。追突事故件数は平成23年以降、減少傾向にある。



出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 80 トラックの事故類型別事故件数の割合



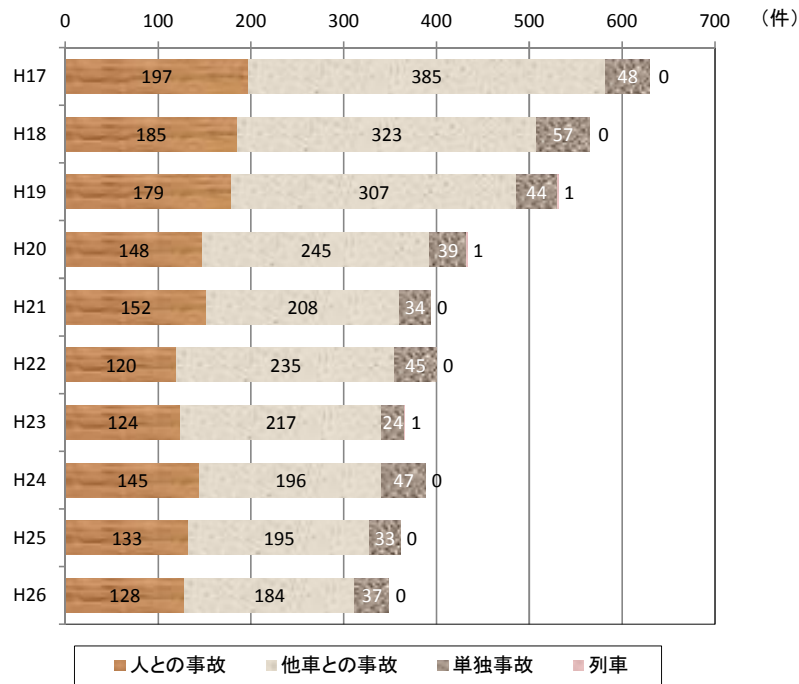
その他1・・・追越・追抜時衝突、進路変更時衝突
 その他2・・・すれ違い時衝突、左折衝突、右折時衝突
 その他3・・・横断時衝突、転回時衝突、後退時衝突、その他

出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 81 トラックの事故類型別事故件数の内訳

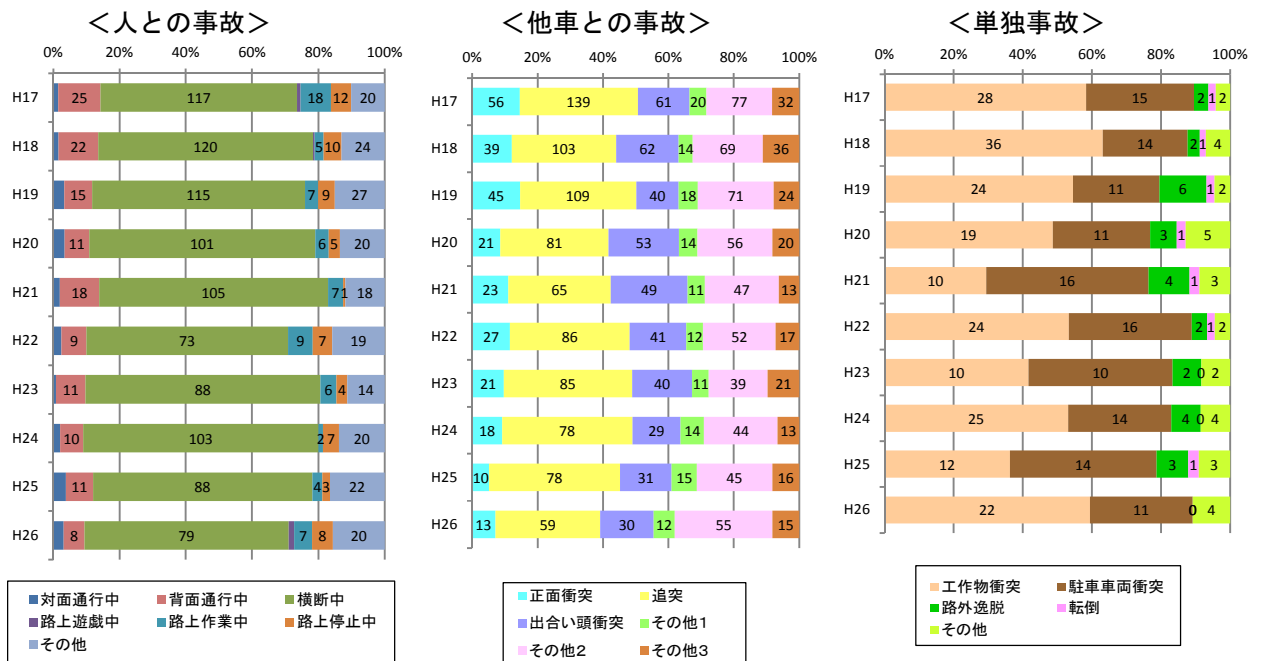
(6) トラックの事故類型別死亡事故件数の割合

トラックの死亡事故は、他車との事故が半数以上を占めており、そのうち追突が最も多く約3割を占めている。



出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 82 トラックの事故類型別死亡事故件数の割合



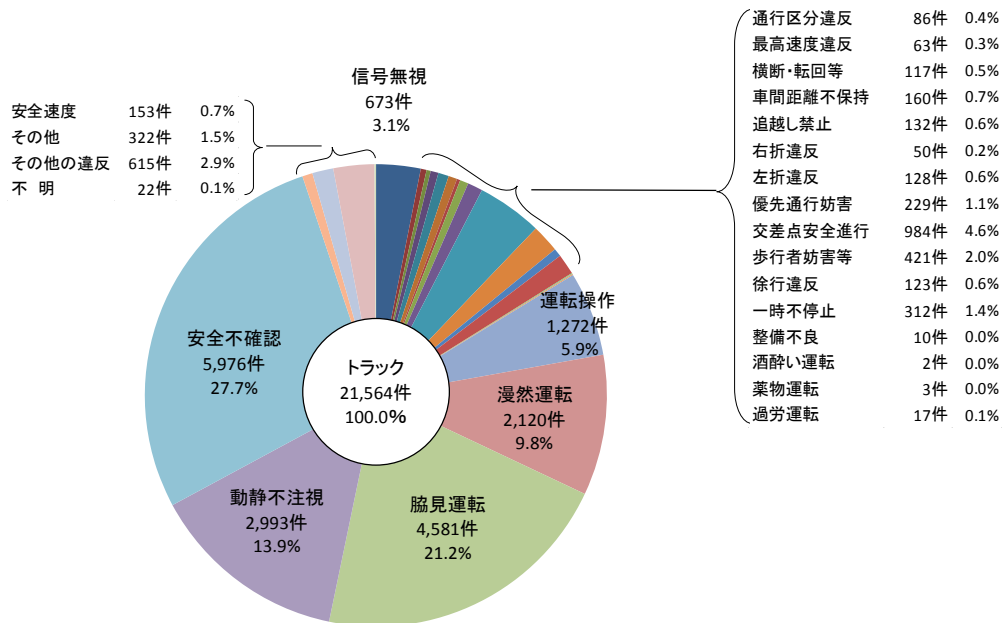
その他1・・・追越・追抜時衝突、進路変更時衝突
 その他2・・・すれ違い時衝突、左折衝突、右折時衝突
 その他3・・・横断時衝突、転回時衝突、後退時衝突、その他

出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 83 トラックの事故類型別死亡事故件数の内訳

(7) トラックの法令違反別の事故件数の割合

トラックでは、「安全不確認」5,976件（27.7%）、「脇見運転」4,581件（21.2%）、「動
静不注視」2,993件（13.9%）といった法令違反の事故が多い。

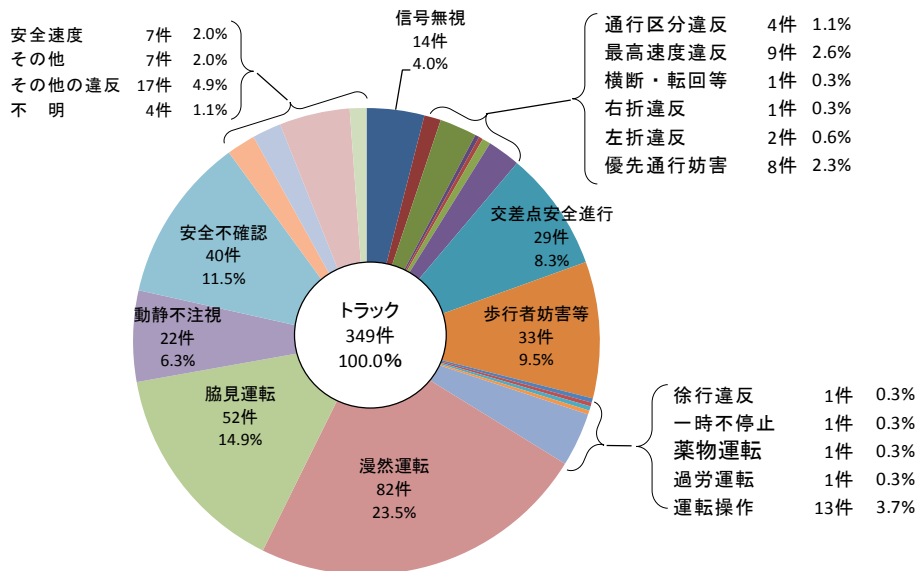


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 84 トラックの法令違反別の事故件数の割合（平成26年）

(8) トラックの法令違反別の死亡事故件数の割合

トラックでは、「漫然運転」82件（23.5%）、「脇見運転」52件（14.9%）、「安全不
確認」40件（11.5%）といった法令違反の死亡事故が多い。



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 85 トラックの法令違反別の死亡事故件数の割合（平成26年）

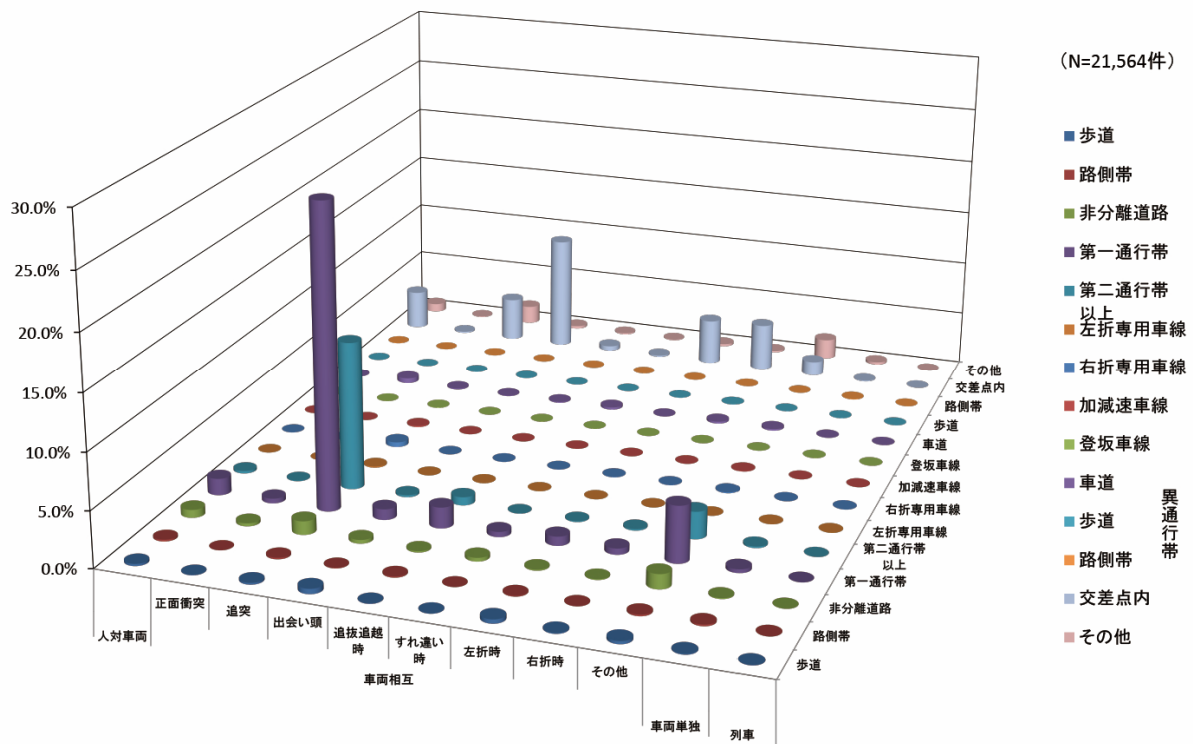
(9) トラックの事故類型別、衝突地点別事故件数

トラックの事故類型別、衝突地点別事故件数を表54に、死亡事故件数を表55に示す。

表 54 トラックの事故類型別、衝突地点別事故件数 (件) (平成26年)

		トラック											合計	
		合計												
		人対車両	車両相互								車両単独	列車		
正面衝突	追突		出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他						
単路 (交差点付近を含む)	歩道	41	3	34	99	4	2	78	14	55	14	0	344	
	路側帯	34	0	29	7	22	2	15	4	28	31	0	172	
	非分離道路	154	58	261	71	26	70	20	15	284	17	0	976	
	第一通行帯	323	91	5,847	206	403	100	177	119	1,086	70	0	8,422	
	第二通行帯以上	49	12	2,869	40	160	5	16	28	527	30	0	3,736	
	左折専用車線	0	0	22	0	3	0	1	0	0	0	0	26	
	右折専用車線	0	1	95	1	2	1	5	3	17	1	0	126	
	加減速車線	1	0	21	0	0	0	0	0	8	1	0	31	
	登坂車線	1	0	10	0	0	0	1	0	1	0	0	13	
	異通行帯	車道	7	101	19	9	19	46	6	40	32	2	0	281
		歩道	2	0	3	7	0	0	3	2	3	5	0	25
		路側帯	5	1	1	0	0	0	0	2	1	6	0	16
	交差点内		776	25	866	2,268	100	28	915	948	291	15	0	6,232
その他		167	12	362	54	24	15	46	30	402	51	1	1,164	
合計		1,560	304	10,439	2,762	763	269	1,283	1,205	2,735	243	1	21,564	

出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」



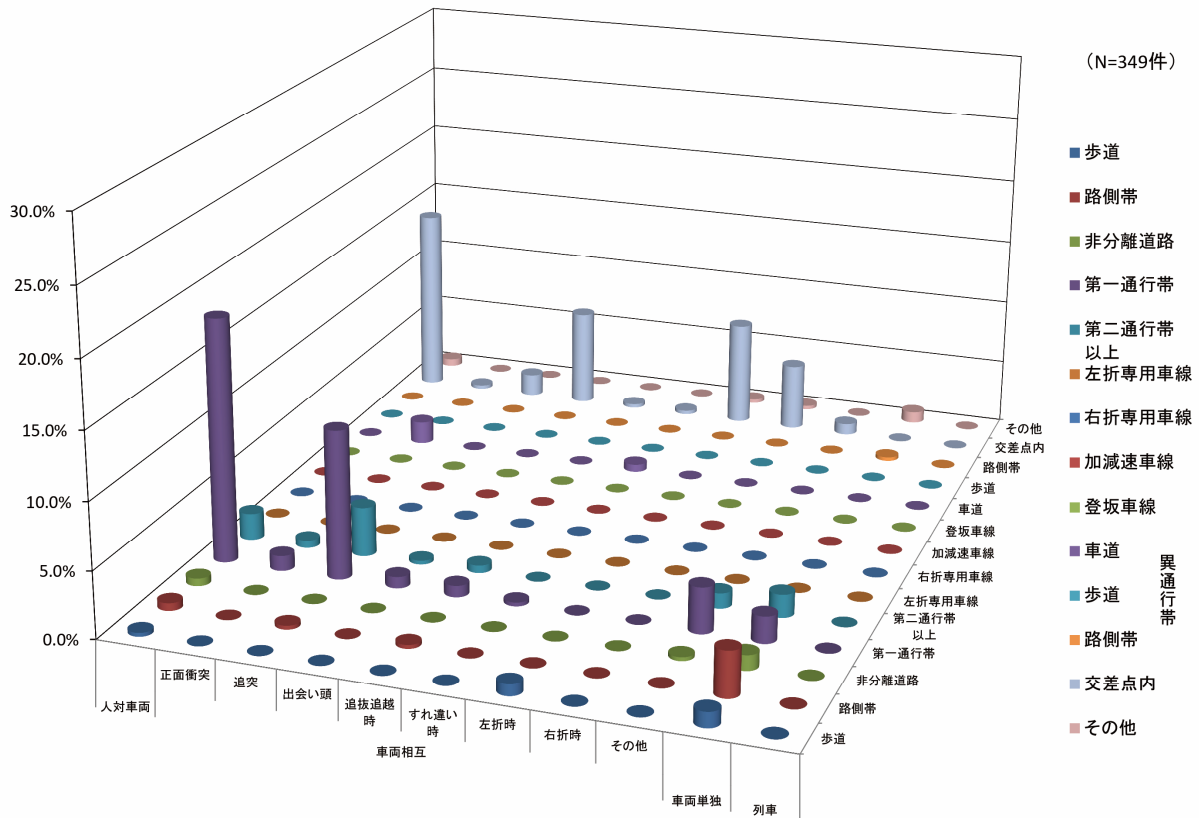
出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 86 トラックの事故類型別、衝突地点別事故件数の構成比 (%) (平成 26 年)

表 55 トラックの事故類型別、衝突地点別死亡事故件数（件）（平成26年）

		トラック											
		合計											
		人对車両	車両相互								車両単独	列車	合計
正面衝突	追突		出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他					
単路（交差点付近を含む）	歩道	1	0	0	0	0	0	3	0	0	4	0	8
	路側帯	2	0	1	0	1	0	0	0	0	12	0	16
	非分離道路	2	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	7
	第一通行帯	64	4	39	3	3	1	0	0	12	7	0	133
	第二通行帯以上	7	2	13	1	2	0	0	0	4	6	0	35
	左折専用車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	右折専用車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	加減速車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登坂車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	異通行帯	車道	0	6	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	歩道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	路側帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	交差点内	50	1	6	26	1	1	28	18	3	0	0	134
	その他	2	0	0	0	0	0	1	1	0	3	0	7
	合計	128	13	59	30	7	4	32	19	20	37	0	349

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 87 トラックの事故類型別、衝突地点別死亡事故件数の構成比（%）（平成 26 年）

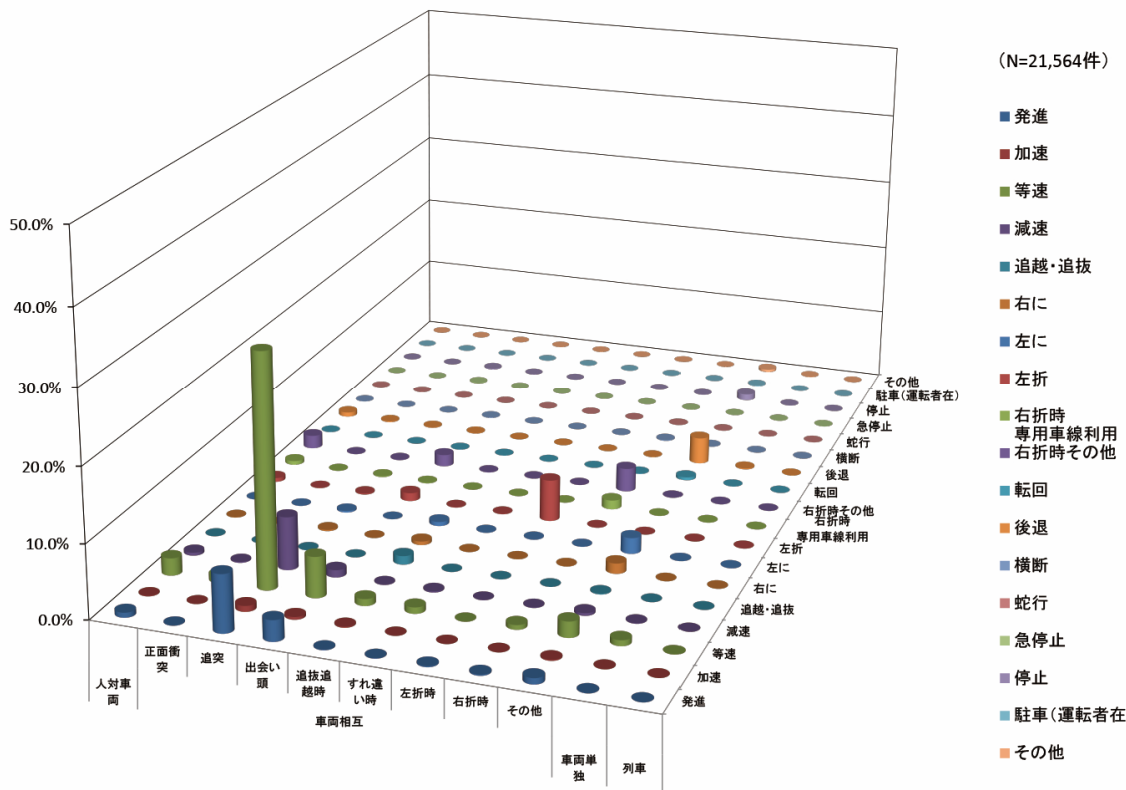
(10) トラックの事故類型別、行動類型別事故件数

トラックの事故類型別、行動類型別事故件数を表56に、死亡事故件数を表57に示す。

表 56 トラックの事故類型別、行動類型別事故件数（件）（平成26年）

		トラック											
		合計											
		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
正面衝突	追突		出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他					
発進		145	7	1,681	615	16	11	28	33	176	7	0	2,719
直進	加速	16	6	170	80	29	2	1	4	29	7	0	344
	等速	508	199	6,802	1,195	200	185	7	135	463	167	0	9,861
	減速	89	28	1,554	216	16	33	2	13	79	13	1	2,044
追越・追抜		6	4	8	1	254	1	0	4	23	0	0	301
進路変更	右に	5	10	37	1	105	3	2	10	304	2	0	479
	左に	6	2	47	1	122	8	12	3	471	2	0	674
左折		117	4	32	243	7	8	1,227	0	0	1	0	1,639
右折時	専用車線利用	117	3	26	14	2	2	0	268	0	0	0	432
	その他	399	8	14	356	8	11	0	700	0	6	0	1,502
転回		3	1	0	6	2	1	0	13	90	0	0	116
後退		135	26	19	16	0	1	1	2	792	28	0	1,020
横断		2	0	0	13	0	1	2	17	7	0	0	42
蛇行		0	2	0	0	0	1	0	0	1	1	0	5
急停止		0	1	21	2	0	0	1	0	3	0	0	28
停止		8	0	26	2	0	1	0	1	195	1	0	234
駐車(運転者在)		0	0	0	1	0	0	0	0	19	0	0	20
その他		4	3	2	0	2	0	0	2	83	8	0	104
合計		1,560	304	10,439	2,762	763	269	1,283	1,205	2,735	243	1	21,564

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」



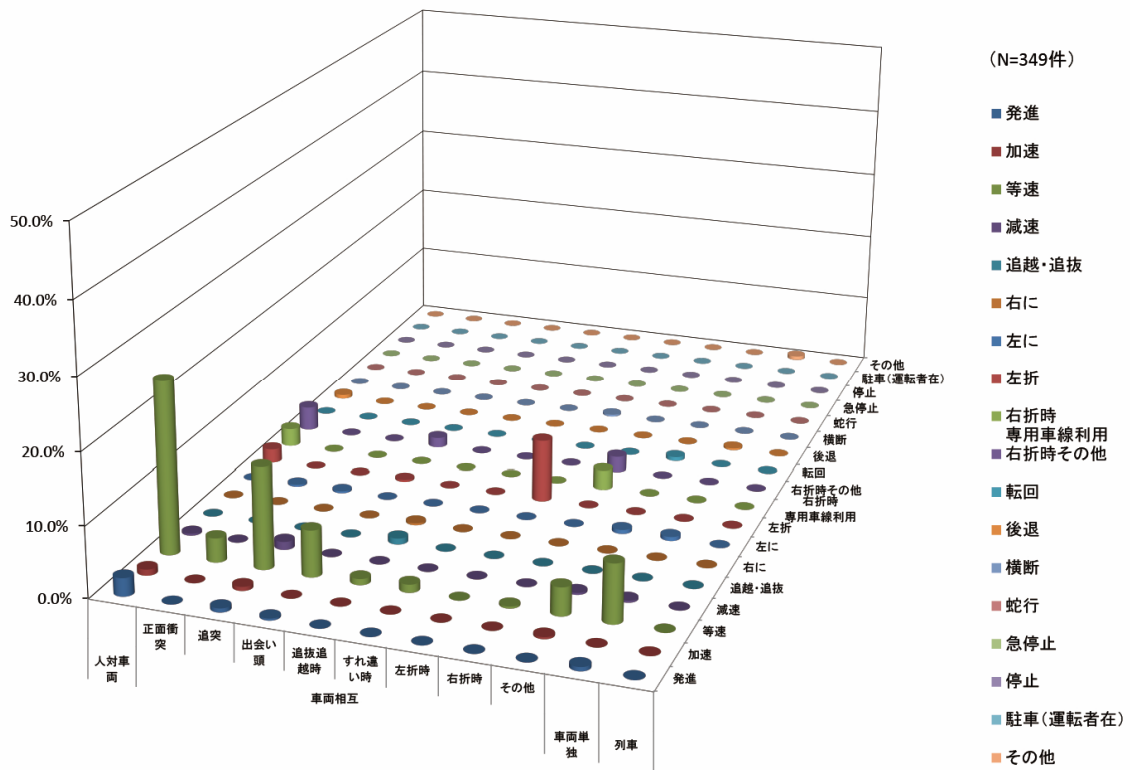
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 88 トラックの事故類型別、行動類型別事故件数の構成比（%）（平成 26 年）

表 57 トラックの事故類型別、行動類型別死亡事故件数（件）（平成26年）

		トラック											
		合計											
		人対車両	車両相互								車両単独	列車	合計
正面衝突	追突		出会い頭	追抜追越時	すれ違い時	左折時	右折時	その他					
発進		9	0	2	1	0	0	0	0	0	2	0	14
直進	加速	3	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	6
	等速	85	12	50	23	3	4	0	1	14	29	0	221
	減速	1	0	4	0	0	0	0	0	1	1	0	7
追越・追抜		0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3
進路変更	右に	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	左に	0	1	1	0	0	0	0	0	2	2	0	6
左折		7	0	0	1	0	0	31	0	0	0	0	39
右折時	専用車線利用	9	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	19
	その他	12	0	0	5	0	0	0	8	0	0	0	25
転回		0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
後退		2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
横断		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
蛇行		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急停止		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
停止		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
駐車(運転者在)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
合計		128	13	59	30	7	4	32	19	20	37	0	349

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

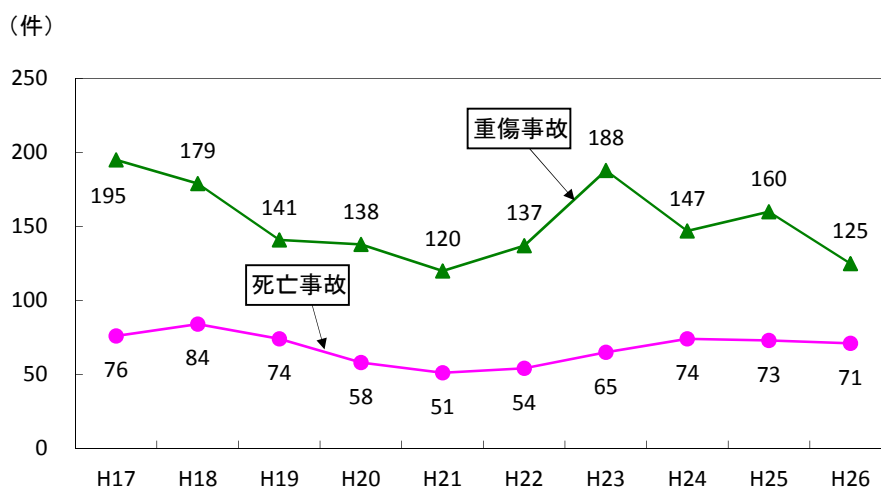


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 89 トラックの事故類型別、行動類型別死亡事故件数の構成比（%）（平成26年）

(11) トラックの高速道路における死亡・重傷事故件数の推移

トラックの高速道路における平成26年の死亡事故は前年と同程度、重傷事故は、平成23年に増加（188件）したが、平成24年（147件）は減少、平成26年は125件である。



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 90 トラックの高速道路における死亡・重傷事故件数の推移

(12) トラック追突の事故件数/死亡事故件数の危険認知速度別発生時間帯分布

トラックの追突事故における時間帯別危険認知速度別追突死亡事故件数をみると、0時～6時の危険認知速度が高い。交通量が少なく、スピードを出して運転できる環境が要因ではないかと推察される。

表 58 トラック追突の事故件数の危険認知速度別発生時間帯分布 (件) (平成26年)

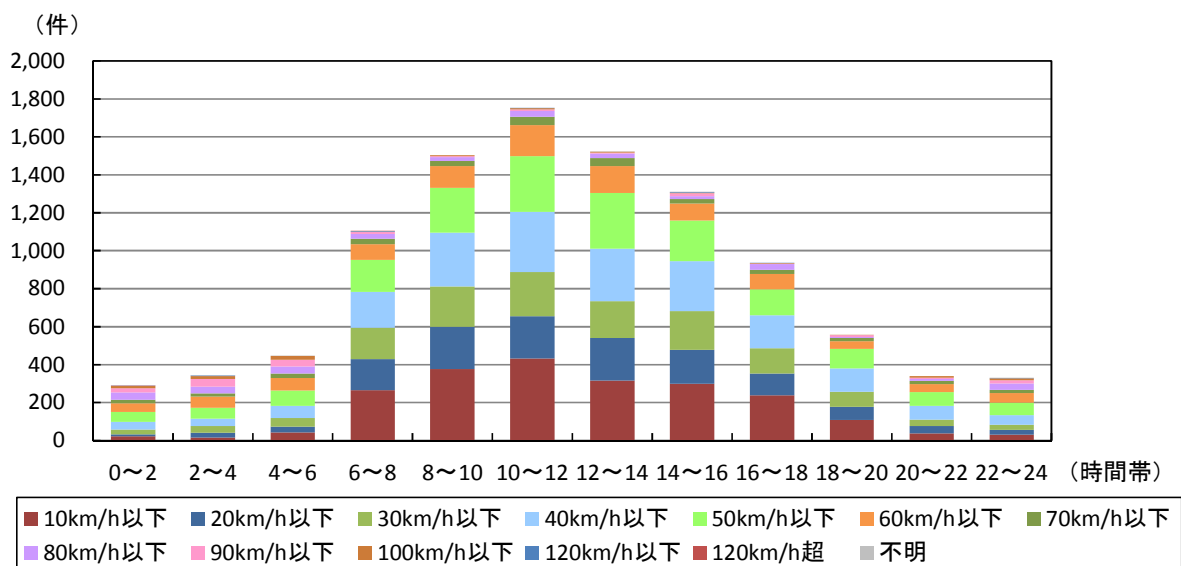
危険認知速度	時 間 帯												合計
	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	
10km/h以下	23	17	43	267	377	433	316	300	239	108	38	31	2,192
20km/h以下	11	24	30	161	223	222	224	177	114	70	38	25	1,319
30km/h以下	24	35	46	165	213	233	195	206	134	79	34	26	1,390
40km/h以下	40	39	64	190	282	316	277	262	174	124	74	53	1,895
50km/h以下	53	58	80	168	236	294	292	215	136	102	71	66	1,771
60km/h以下	45	58	68	83	115	163	142	89	82	41	42	50	978
70km/h以下	20	19	22	30	28	45	43	22	21	16	17	17	300
80km/h以下	38	34	37	24	19	31	22	17	30	7	10	33	302
90km/h以下	21	40	35	10	5	8	6	14	2	8	8	18	175
100km/h以下	12	16	20	2	4	7	5	5	3	2	8	8	92
120km/h以下	2	2	2	3	0	2	0	2	1	0	0	3	17
120km/h超	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
不明	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	1	6
合計	290	343	448	1,104	1,503	1,754	1,523	1,310	936	557	340	331	10,439

出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

表 59 トラック追突の死亡事故件数の危険認知速度別発生時間帯分布 (件) (平成26年)

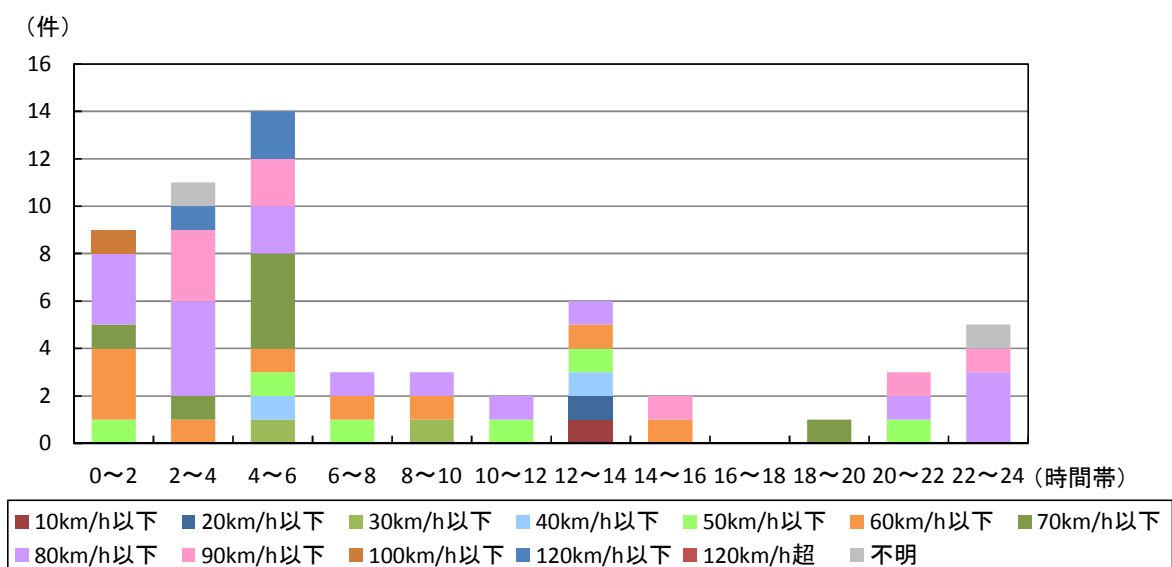
危険認知速度	時 間 帯												合計
	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	
10km/h以下	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
20km/h以下	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
30km/h以下	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
40km/h以下	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
50km/h以下	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	1	0	6
60km/h以下	3	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	9
70km/h以下	1	1	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	7
80km/h以下	3	4	2	1	1	1	1	0	0	0	1	3	17
90km/h以下	0	3	2	0	0	0	0	1	0	0	1	1	8
100km/h以下	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
120km/h以下	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
120km/h超	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
合計	9	11	14	3	3	2	6	2	0	1	3	5	59

出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」



出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

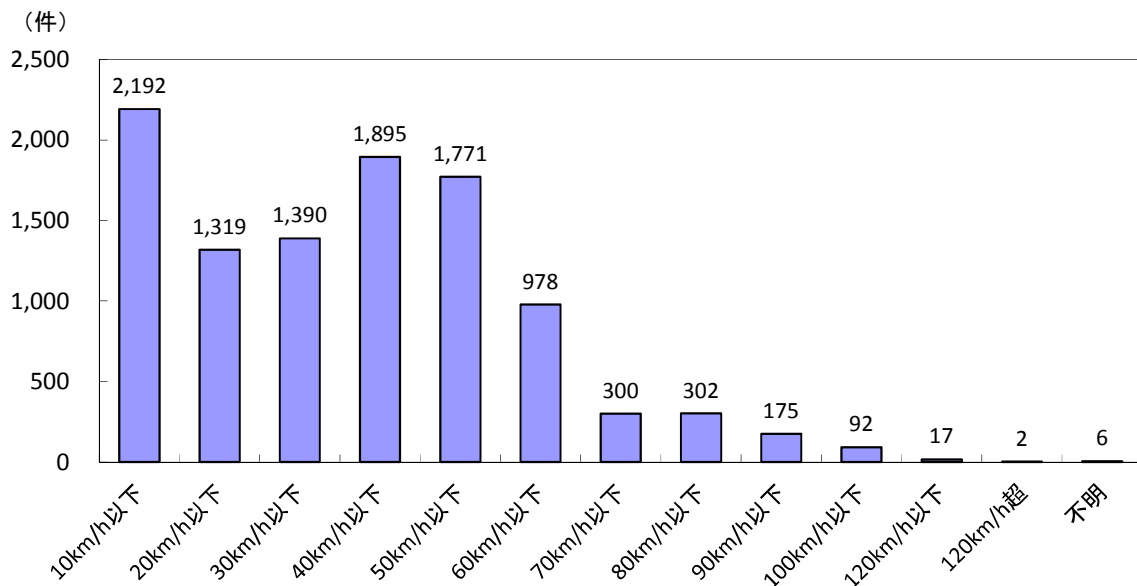
図 91 トラック追突の事故件数の危険認知速度別発生時間帯分布 (平成26年)



出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

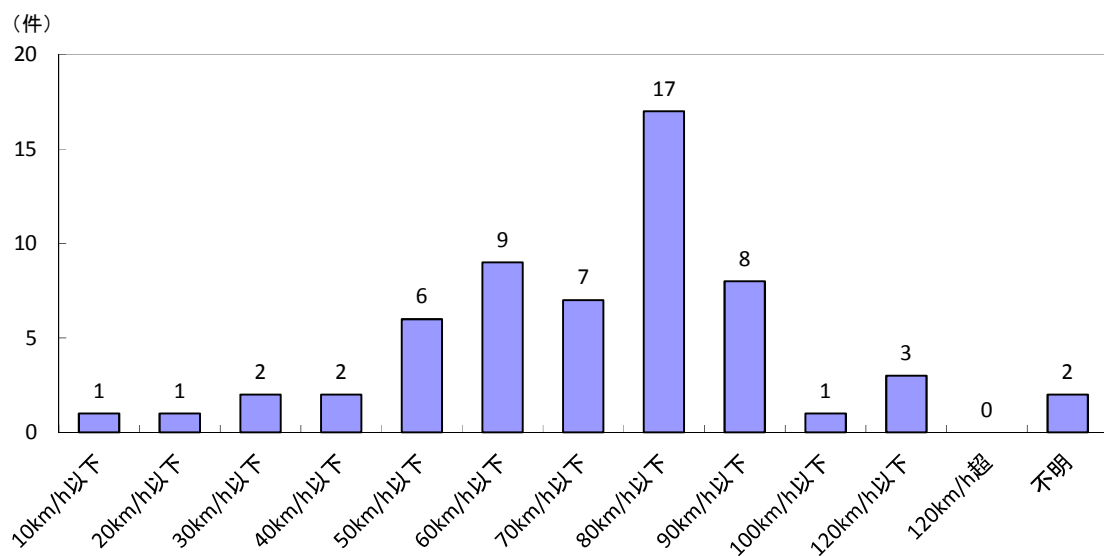
図 92 トラック追突の死亡事故件数の危険認知速度別発生時間帯分布 (平成26年)

トラックの追突事故における危険認知速度をみると、追突事故全体と比較して、追突死亡事故は、危険認知速度が高くなっている。



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 93 トラックの危険認知速度別の追突事故件数（平成26年）



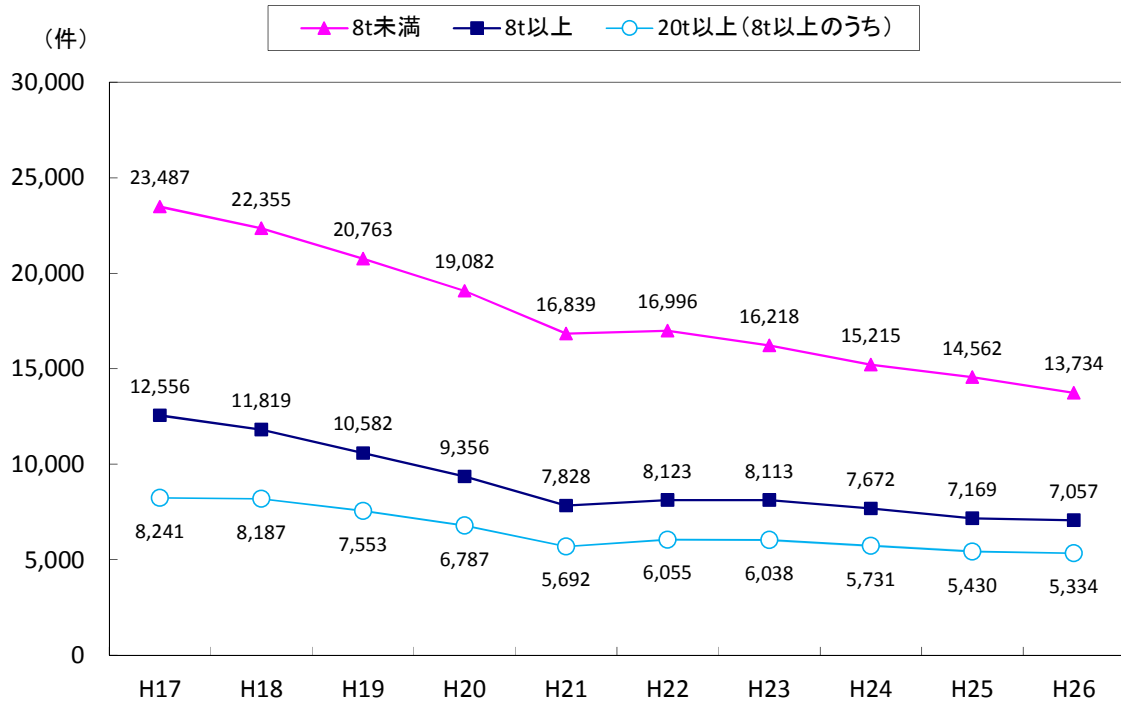
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

図 94 トラックの危険認知速度別の追突死亡事故件数（平成26年）

(13) トラックの車両総重量別の交通事故件数の推移

① 交通事故件数

トラックの事故における交通事故件数の推移を車両総重量別にみると、8トン未満、8トン以上ともに、平成21年までは減少し、平成22年に増加したが、平成23年以降は減少傾向にある。



出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
(一財)自動車検査登録情報協会「自動車保有車両数統計書」

図 95 トラックの車両総重量別交通事故件数の推移

表 60 車両総重量別交通事故件数の推移 (件)

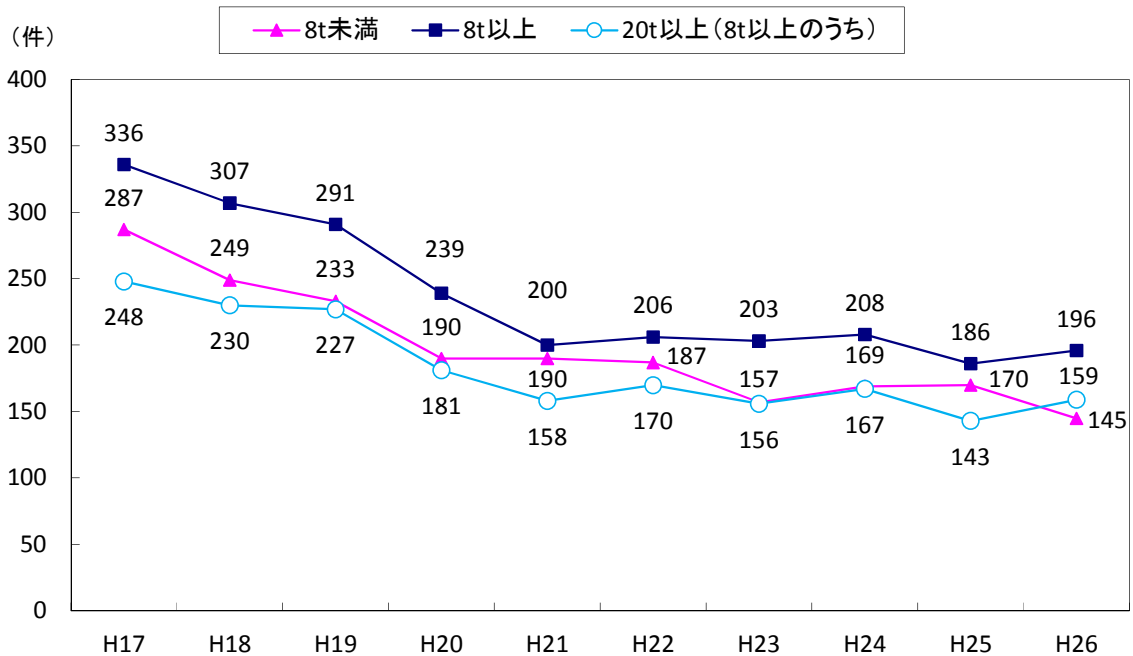
区分 年	交通事故件数			合計
	8t未満	8t以上	うち20t以上	
H17	23,487	12,556	8,241	36,043
H18	22,355	11,819	8,187	34,174
H19	20,763	10,582	7,553	31,345
H20	19,082	9,356	6,787	28,438
H21	16,839	7,828	5,692	24,667
H22	16,996	8,123	6,055	25,119
H23	16,218	8,113	6,038	24,331
H24	15,215	7,672	5,731	22,887
H25	14,562	7,169	5,430	21,731
H26	13,734	7,057	5,334	20,791

注：合計は車両総重量不明を除く

出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
(一財)自動車検査登録情報協会「自動車保有車両数統計書」

② 死亡事故件数

トラックの事故における死亡事故件数の推移を車両総重量別にみると、8トン未満の車両、8トン以上ともに平成18年～平成21年までは減少傾向にある。それ以降で対前年の減少幅が10%以上の年は、8トン未満の車両は平成23年、平成26年、8トン以上の車両は平成25年である。



出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
(一財)自動車検査登録情報協会「自動車保有車両数統計書」

図 96 トラックの車両総重量別死亡事故件数の推移

表 61 車両総重量別死亡事故件数の推移 (件)

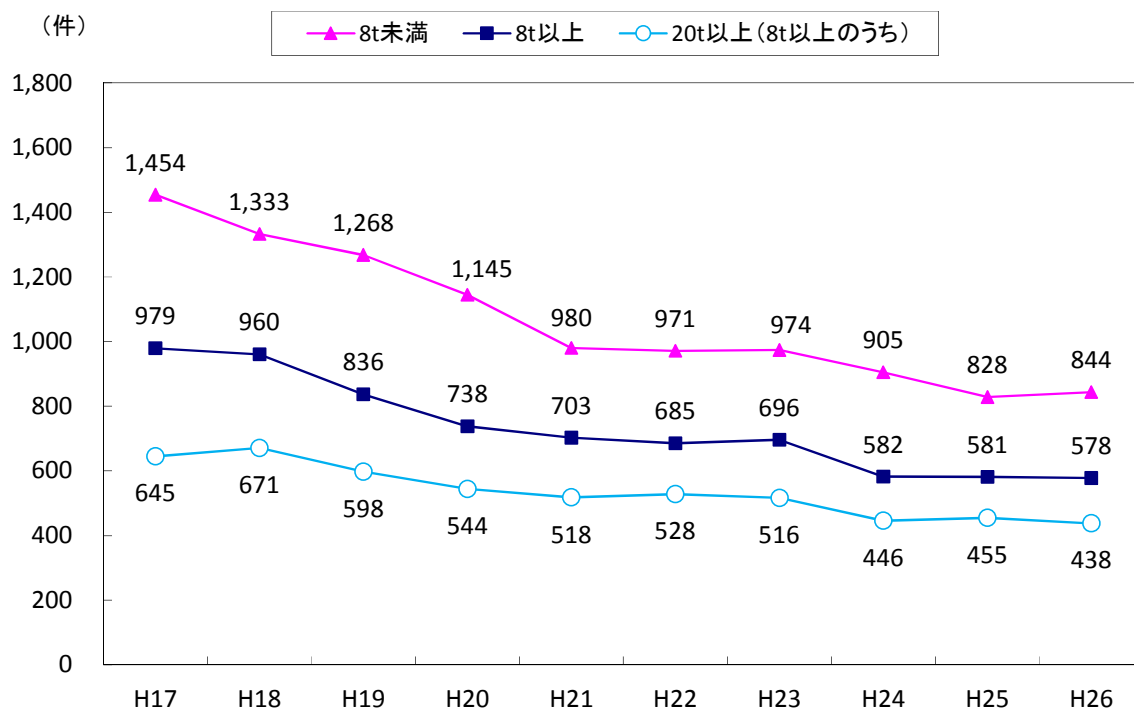
区分 年	死亡事故件数			合計
	8t未満	8t以上	うち20t以上	
H17	287	336	248	623
H18	249	307	230	556
H19	233	291	227	524
H20	190	239	181	429
H21	190	200	158	390
H22	187	206	170	393
H23	157	203	156	360
H24	169	208	167	377
H25	170	186	143	356
H26	145	196	159	341

注：合計は車両総重量不明を除く

出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
(一財)自動車検査登録情報協会「自動車保有車両数統計書」

③重傷事故件数

トラックの事故における重傷事故件数の推移を車両総重量別にみると、8トン未満の車両が多くなっている。前年に比べ8トン未満の車両は増加、8トン以上の車両は平成24年における前年からの減少幅が大きい、平成26年は増加している。



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
（一財）自動車検査登録情報協会「自動車保有車両数統計書」

図 97 トラックの車両総重量別重傷事故件数の推移

表 62 車両総重量別重傷事故件数の推移（件）

区分 年	重傷事故件数			合計
	8t未満	8t以上	うち20t以上	
H17	1,454	979	645	2,433
H18	1,333	960	671	2,293
H19	1,268	836	598	2,104
H20	1,145	738	544	1,883
H21	980	703	518	1,683
H22	971	685	528	1,656
H23	974	696	516	1,670
H24	905	582	446	1,487
H25	828	581	455	1,409
H26	844	578	438	1,422

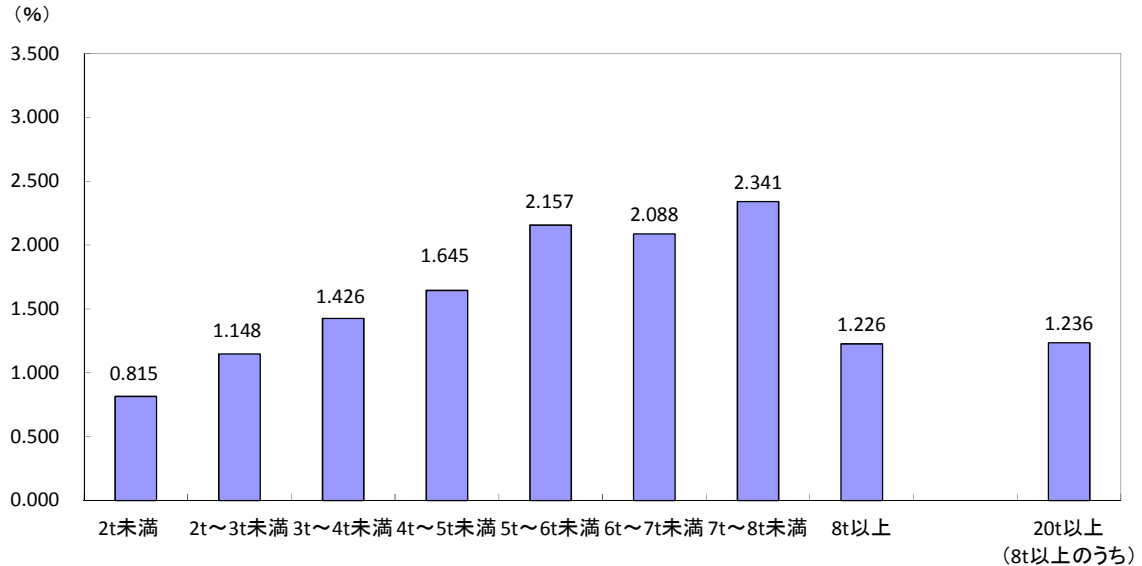
注：合計は車両総重量不明を除く

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
（一財）自動車検査登録情報協会「自動車保有車両数統計書」

(14) トラックの車両総重量別車両数あたりの交通事故発生率

① 交通事故発生率

トラックの車両総重量別車両数あたりの交通事故発生率は、7～8トン未満が最も高い。



注：軽トラックを除く

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
（一財）自動車検査登録情報協会「自動車保有車両数統計書」

図 98 トラックの車両総重量別車両数あたり交通事故発生率（平成26年）

表 63 トラックの車両総重量別車両数あたり交通事故件数、車両数、発生率（平成26年）

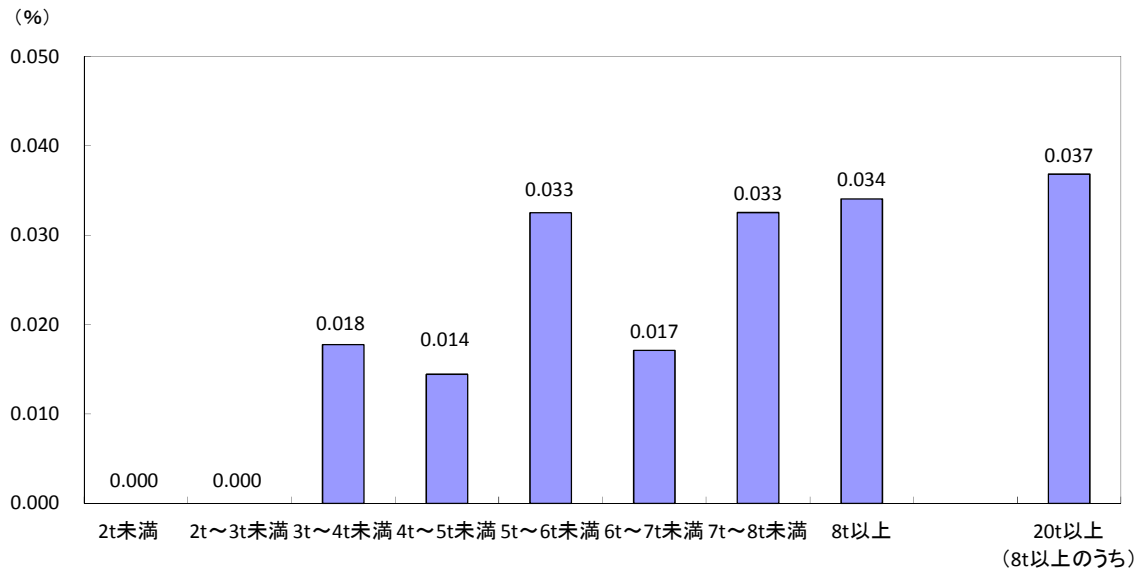
	事故件数(件)	車両数(事業用)(両)	発生率
2t未満	70	8,594	0.815%
2t～3t未満	137	11,936	1.148%
3t～4t未満	482	33,799	1.426%
4t～5t未満	1,483	90,134	1.645%
5t～6t未満	1,725	79,955	2.157%
6t～7t未満	976	46,754	2.088%
7t～8t未満	5,612	239,718	2.341%
8t以上	7,057	575,480	1.226%
うち20t以上	5,334	431,721	1.236%

注：軽トラックを除く

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
（一財）自動車検査登録情報協会「自動車保有車両数統計書」

② 死亡事故発生率

トラックの車両総重量別車両数あたりの死亡事故発生率は、20トン以上（8トン以上のうち）が最も高い。



注：軽トラックを除く

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
（一財）自動車検査登録情報協会「自動車保有車両数統計書」

図 99 トラックの車両総重量別車両数あたり死亡事故発生率（平成26年）

表 64 トラックの車両総重量別車両数あたり死亡事故件数、車両数、発生率（平成26年）

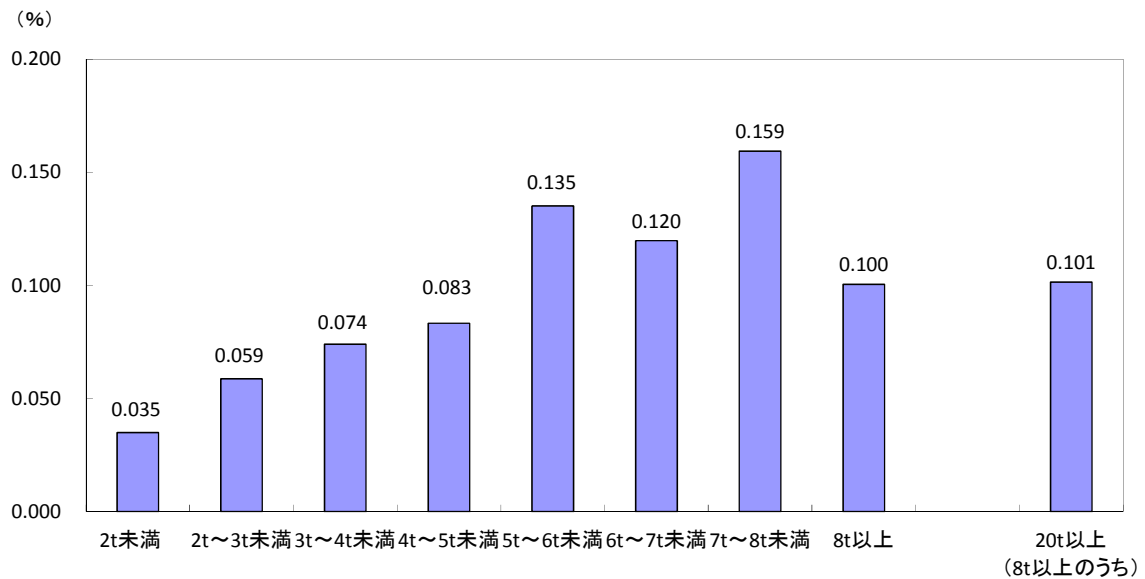
	死亡事故件数	車両数(事業用)(両)	発生率
2t未満	0	8,594	0.000%
2t~3t未満	0	11,936	0.000%
3t~4t未満	6	33,799	0.018%
4t~5t未満	13	90,134	0.014%
5t~6t未満	26	79,955	0.033%
6t~7t未満	8	46,754	0.017%
7t~8t未満	78	239,718	0.033%
8t以上	196	575,480	0.034%
うち20t以上	159	431,721	0.037%

注：軽トラックを除く

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
（一財）自動車検査登録情報協会「自動車保有車両数統計書」

③ 重傷事故発生率

トラックの車両総重量別車両数あたりの重傷事故発生率は、7～8トン未満が最も高い。



注：軽トラックを除く

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
（一財）自動車検査登録情報協会「自動車保有車両数統計書」

図 100 トラックの車両総重量別車両数あたり重傷事故発生率（平成26年）

表 65 トラックの車両総重量別車両数あたり重傷事故件数、車両数、発生率（平成26年）

	重傷事故件数	車両数(事業用)(両)	発生率
2t未満	3	8,594	0.035%
2t～3t未満	7	11,936	0.059%
3t～4t未満	25	33,799	0.074%
4t～5t未満	75	90,134	0.083%
5t～6t未満	108	79,955	0.135%
6t～7t未満	56	46,754	0.120%
7t～8t未満	382	239,718	0.159%
8t以上	578	575,480	0.100%
うち20t以上	438	431,721	0.101%

注：軽トラックを除く

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
（一財）自動車検査登録情報協会「自動車保有車両数統計書」

5. まとめ

平成 26 年中に全国で発生した事業用自動車の交通事故件数は 39,649 件であった。国土交通省及び関係業界において、平成 20 年から平成 30 年までの 10 年間で交通事故による死亡者数を半減（250 人以下）、人身事故件数を半減（3 万件以下）させること等を定めた「事業用自動車総合安全プラン 2009」（平成 21 年 3 月）の策定以降、一貫して減少を続け、平成 25 年に 4 万 3 千件まで削減することとしていた中間指標を達成した。

平成 26 年中に全国で発生した事業用自動車での交通事故死者数は 421 人であった。平成 20 年の交通事故死亡者数（517 人）からは減少しているものの、「事業用自動車総合安全プラン 2009」において定めている平成 25 年の中間指標（380 人）は平成 26 年も達成できなかった。

また、平成 26 年中の各業態における交通事故の特徴は以下のとおりであった。

○乗合バス

平成 26 年中に発生した乗合バスによる人身事故 1,578 件のうち、

- ・車内事故が最も多く全体の 35.0%（552 件）。このうち、42.2%（233 件）が発進時の事故となる。また、負傷者のうち、過半数以上（326 人）が高齢者（65 歳以上）であり、女性が男性の約 4 倍多い（男性 124 人、女性 488 人）。

また、平成 26 年中に発生した乗合バスによる死亡事故 14 件のうち、

- ・人対車両が最も多く全体の 50.0%（7 件）。このうち、発生地点では、第一通行帯と交差点内が 3 件と多い。

○貸切バス

平成 26 年中に発生した貸切バスによる人身事故 374 件のうち、

- ・追突事故が最も多く全体の 33.7%（126 件）。このうち、発生地点としては、第一通行帯が最も多く追突事故の 48.4%（61 件）となり、次に第二通行帯以上が 29.4%（37 件）となっている。

また、平成 26 年中に発生した貸切バスによる死亡事故 3 件のうち、

- ・人対車両が 2 件、出会い頭が 1 件となっている。

○タクシー

平成 26 年中に発生したタクシーによる人身事故 16,113 件のうち、

- ・出会い頭が最も多く全体の 21.0%（3,389 件）。このうち、交差点内での出会い頭事故が多く、出会い頭事故の 85.3%（2,891 件）を占める。
- ・次いで、追突事故が多く全体の 21.1%（3,407 件）。このうち、第一通行帯走行時の追突事故が多く、追突事故の 48.6%（1,657 件）を占める。
- ・空車時における事故が、全体の約 3/4（12,309 件）となる。

また、平成 26 年中に発生したタクシーによる死亡事故 42 件のうち、

- ・人対車両が最も多く全体の 69.0% (29 件)。このうち、横断中の人対車両が多く 12 件となっている。また、発生地点では、第一通行帯 (17 件)、交差点内 (7 件) での事故が多い。

○トラック

平成 26 年中に発生したトラックによる人身事故 21,564 件のうち、

- ・追突事故が最も多く全体の 48.4% (10,439 件)。このうち、6~18 時の昼の時間での追突事故が多く、全体の約 3/4 (8,130 件) を占め、ピークは 10~12 時で全体の 16.8% (1,754 件)。また、10km/h 以下の低速での事故が最も多く全体の 21.0% (2,192 件)、次いで 30~40km/h の中速での事故 (全体の 18.2% (1,895 件)) が多い。発生地点では、第一通行帯での追突事故が多く、追突事故の 56.0% (5,847 件)。
- ・出会い頭も多く発生しており、全体の 12.8% (2,762 件)。このうち、交差点内での出会い頭事故が多く、出会い頭事故の 82.1% (2,268 件) を占める。

また、平成 26 年中に発生したトラックによる死亡事故 349 件のうち、

- ・人対車両が最も多く全体の 36.7% (128 件)。このうち、発生地点としては、第一通行帯が最も多く人対車両事故の 50.0% (64 件) となり、次に交差点内が 39.1% (50 件) となっている。
- ・次に追突事故が多く全体の 16.9% (59 件)。このうち、0~6 時の深夜~明け方の時間帯での追突事故が多く、過半数を占める (34 件)。また、50km/h~90km/h の中速及び高速での事故が多く、追突事故の 79.7% を占める (47 件)。

参 考

平成15年～26年までの事業用自動車に関する主な施策及び出来事

	事業用自動車に関する主な施策及び出来事
平成15年	<ul style="list-style-type: none"> ・独立行政法人自動車事故対策機構発足 ・貨物自動車運送事業安全性評価事業（Gマーク制度）の開始（全国貨物自動車運送適正化実施機関） ・SAS対応マニュアル「「睡眠時無呼吸症候群」に注意しましょう！」の作成 ・大型トラックに速度抑制装置（スピードリミッター）の装着義務付け開始（道路運送車両法）
平成16年	<ul style="list-style-type: none"> ・酒気帯び検知拒否の罰則強化（道路交通法）
平成17年	<ul style="list-style-type: none"> ・「国際海上コンテナの陸上における安全輸送ガイドライン」の作成
平成18年	<ul style="list-style-type: none"> ・運輸安全マネジメント制度の開始 ・自家用有償旅客運送制度の創設（道路運送法） ・速度抑制装置（スピードリミッター）の装着に関する経過措置期間の終了（道路運送車両法）
平成19年	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年7月のバス車内事故防止キャンペーン開始（日本バス協会） ・中型自動車免許の新設（道路交通法） ・飲酒運転に対する罰則の強化（道路交通法） ・SAS対応マニュアル「「睡眠時無呼吸症候群」に注意しましょう！」の改訂
平成20年	<ul style="list-style-type: none"> ・米リーマンショック ・「トラック輸送の過労運転防止対策マニュアル」作成
平成21年	<ul style="list-style-type: none"> ・「事業用自動車総合安全プラン2009」の策定 ・事後的な監視体制の強化を目的として、新規許可事業者に対する早期の監査の実施とともに、監査の端緒となる事業者の対象を拡大 ・「映像記録型ドライブレコーダ活用手順書」作成 ・飲酒運転に対する基礎点数の引上げ（道路交通法施行令）
平成22年	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車運送事業者における先進安全自動車（ASV）の導入、運行管理の高度化及び社内安全教育の実施に対する支援制度の開始 「事業用自動車の運転者の健康管理マニュアル」の作成
平成23年	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の発生 ・点呼の際のアルコール検知器使用の義務化 ・貸切バス事業者安全性評価認定制度（セーフティバス）運用開始（日本バス協会） ・「乗合バスの車内事故を防止するための安全対策実施マニュアル」の作成
平成24年	<ul style="list-style-type: none"> ・関越自動車道における高速ツアーバス事故の発生 ・「自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う一般的な指導及び監督の実施マニュアル」の策定 ・「トラック追突事故防止マニュアル」の作成
平成25年	<ul style="list-style-type: none"> ・「高速・貸切バスの安全・安心回復プラン」の策定（高速ツアーバス等の新高速乗合バスへ移行等） ・過労運転防止のための先進的な取り組みに対する支援制度の開始 ・「国際海上コンテナの陸上における安全輸送マニュアル」の作成
平成26年	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸道における高速乗合バス事故の発生 ・「事業用自動車総合安全プラン2009」の見直しを実施 ・「事業用自動車の運転者の健康管理マニュアル」の改訂 ・「事業用自動車事故調査委員会」の設置